Canon

CDI-J323

PowerShot G9
カメラユーザーガイド



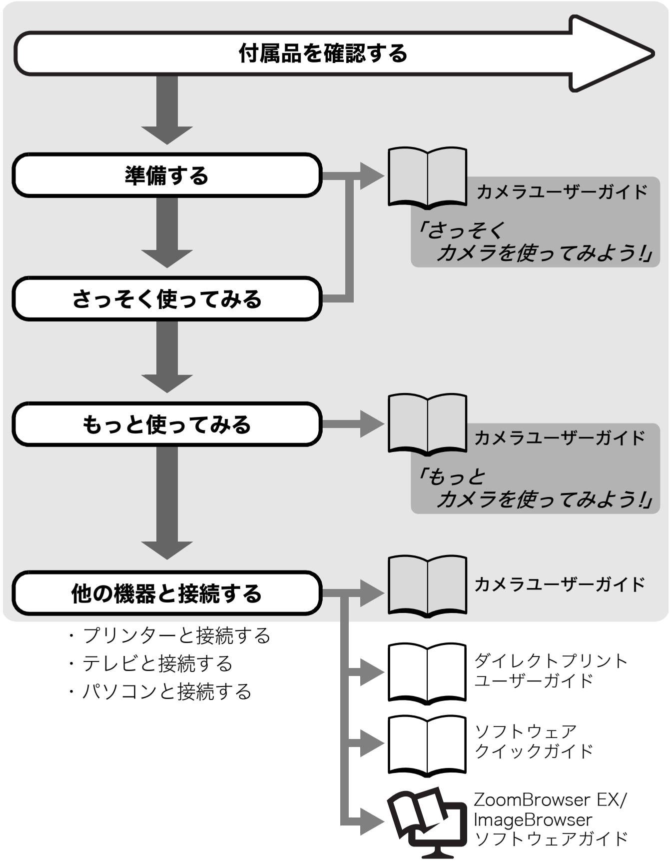
ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください（p.219 ～ 229）。

DiG!C III　CANON iMAGE GATEWAY　PictBridge　DIRECT PRINT　BUBBLE JET DIRECT　Exif Print　DPOF　CERTIFIED HI-SPEED USB

操作の流れと参照するガイド

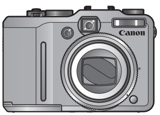
以下のガイドが用意されています。必要に応じてお読みください。

:本書

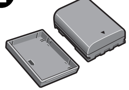


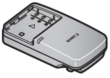
付属品の確認

パッケージには以下のものが入っています。万一、不足のものがありましたら、お手数ですがお買い求めの販売店までご連絡ください。

❶


カメラ本体

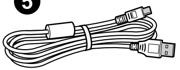
❷

バッテリーパック
NB-2LH
（端子カバー付き）

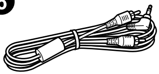
❸


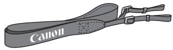
バッテリーチャージャー
CB-2LW

❹

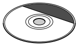
メモリーカード
（32MB）

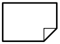
❺

インターフェースケーブル
IFC-400PCU

❻

AV ケーブル
AVC-DC300

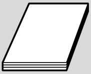
❼


ネックストラップ
NS-DC6

❽

Canon Digital Camera
Solution Disk

❾

保証書

❿ 取扱説明書一式



- カメラユーザーガイド
- ダイレクトプリントユーザーガイド
- ソフトウェアクイックガイド
- サポートガイド
- キヤノン純正アクセサリーご使用のお願い

付属のメモリーカードでは、このカメラの性能を十分に発揮できない場合があります。

このカメラでは、SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、マルチメディアカード、MMCplus カードと HC MMCplus カードをお使いになれます。このガイドでは、これらをカードと表記します。

目次

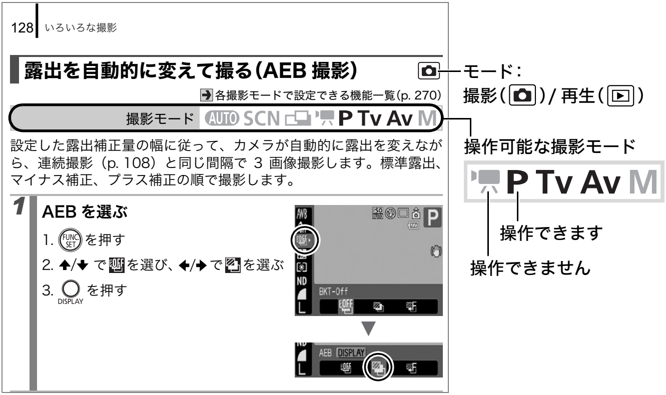
☆のページでは、このカメラの機能や操作をまとめて記載しています。

撮影時によく使う機能 70

モードダイヤルを使った撮影 86

いろいろな撮影 108

■本文中のマークについて



：カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。

：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

本書では、お買い上げ時の設定状態で説明しています。

必ずお読みください

試し撮り

必ず事前に試し撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。
万一、このカメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

ご注意

本体温度について

このカメラは、電源を入れたあと長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがありますが、故障ではありません。

液晶モニターについて

液晶モニターは､非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

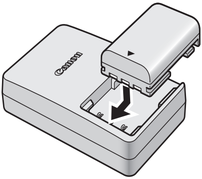
さっそく
カメラを使ってみよう!

- 準備する
- 静止画を撮る
- 静止画を見る
- 動画を撮る
- 動画を見る
- 消去する
- 印刷する
- パソコンに取り込む
- システムマップ

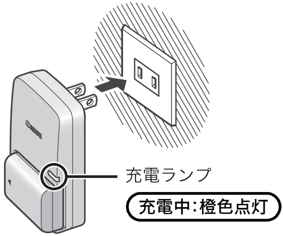
準備する

バッテリーを充電する

1. バッテリーを、バッテリーチャージャーにセットする

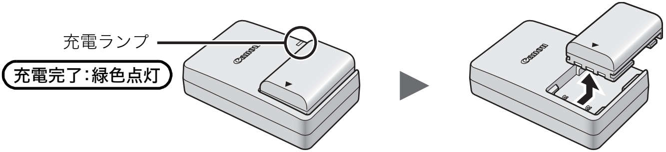


2. コンセントに差し込む



3. 充電が完了したら、バッテリーを取り外す

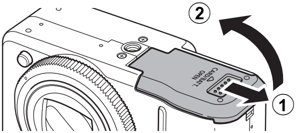
充電時間は、約 1 時間 45 分です。



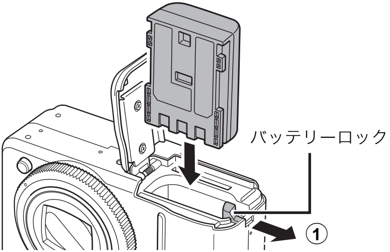
バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。

バッテリーを入れる

1. カバーをスライドして(①)開く(②)



2. バッテリーロックを矢印の方向に押しながら(①)、バッテリーがロックされるまで入れる

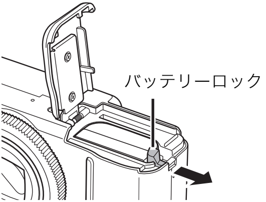


3. カバーを閉じ(①)、「カチッ」と音がするまでスライドする(②)



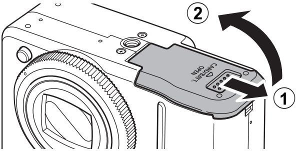
■ バッテリーを取り出すには

バッテリーロックを矢印の方向に押しながら取り出します。

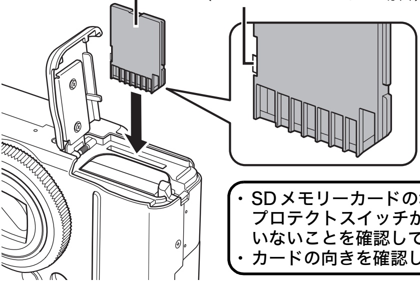


カードを入れる

1. カバーをスライドして(①)開く(②)

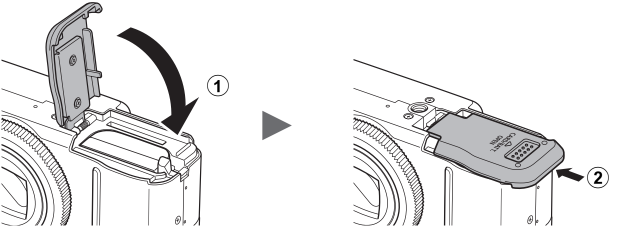


2. カードを「カチッ」と音がするまで差し込む



- SD メモリーカードの場合は、ライトプロテクトスイッチがロックされていないことを確認してください。
- カードの向きを確認してください。

3. カバーを閉じ(①)、「カチッ」と音がするまでスライドする(②)



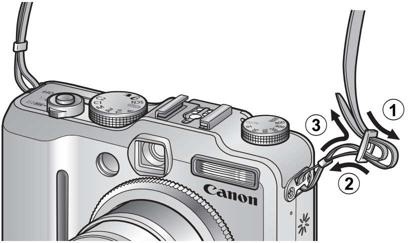
カードは、必ず正しい向きでカメラに入れてください。誤って逆に入れた場合、カメラがカードを認識しなかったり、カメラの故障の原因となることがあります。

■ カードを取り出すには

「カチッ」と音がするまで、指でカードを奥に押し込んで、放します。



■ ネックストラップの取り付けかた

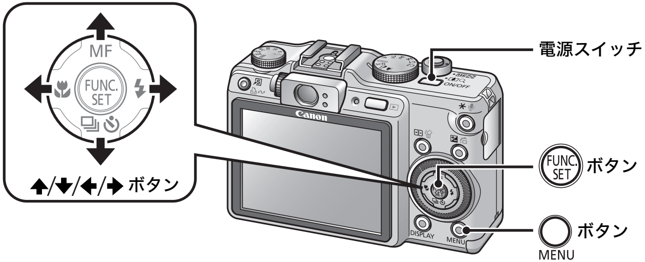


ストラップを引っ張っても止め具の部分でゆるまないことを確認してください。もう一方のストラップ取り付け部にも、同じようにストラップを取り付けます。

カメラをお使いになるときは、落下防止のため、ネックストラップの装着をおすすめします。

日付と時刻を設定する

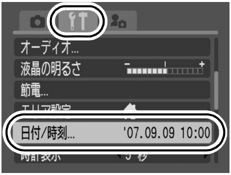
はじめて電源を入れたときは、日付 / 時刻の設定画面が表示されますので、手順 3 と手順 4 を行ってください。



1. 電源スイッチを押す

2. [日付 / 時刻]を選ぶ

1. MENU ボタンを押す
2. ◀/▶ ボタンで[(設定)]メニューを選ぶ
3. ▲/▼ ボタンで[日付 / 時刻]を選ぶ
4. FUNC./SET ボタンを押す



3. 年、月、日、時、分、表示順を選ぶ

1. ◀/▶ ボタンで項目を選ぶ
2. ▲/▼ ボタンで内容を設定する



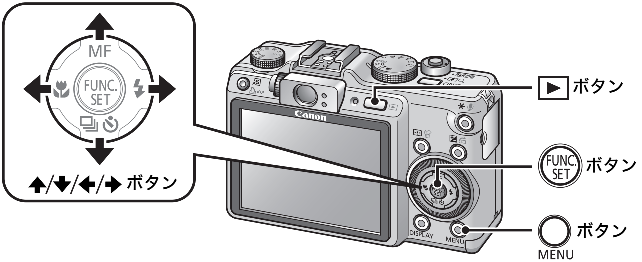
4. FUNC./SET ボタンを押す

5. MENU ボタンを押す

- カメラには、日付 / 時刻などの設定を保持するためのリチウム充電池が内蔵されています。充電されたバッテリーをカメラに入れておくか、AC アダプターキット ACK-DC20（別売）を使用すると、4 時間程度で充電されます。なお、カメラの電源が入っていなくても充電できます。
- バッテリーを取り出してから約 3 週間経過すると、設定した日付 / 時刻が解除される場合があります。再度、設定し直してください。

表示言語を切り換える

ご購入時は日本語に設定されていますので、変更の必要はありません。



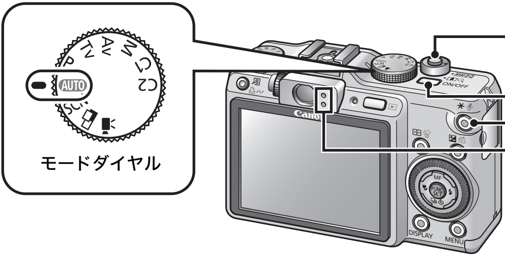
1. ▶（再生）ボタンを押す

2. FUNC. SET ボタンを押したまま、すぐに MENU ボタンを押す

3. ▲/▼ または ◀/▶ ボタンで表示したい言語を選ぶ

4. FUNC. SET ボタンを押す

静止画を撮る(AUTOオートモード)



1. 電源スイッチを押す

・起動音が鳴り、液晶モニターに起動画面が表示されます。
・もう一度電源スイッチを押すと、電源が切れます。

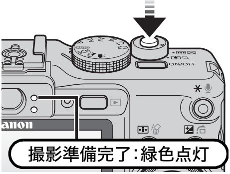
2. 撮影モードを選ぶ



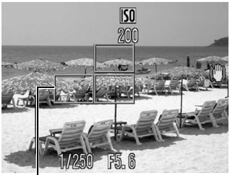
1. モードダイヤルを AUTO(オート)に合わせる

3. 被写体にカメラを向ける

4. シャッターボタンを浅く押して(半押し)、ピントを合わせる



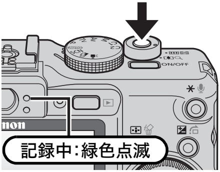
・ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2 回鳴り、ランプが緑色に点灯します(ストロボ発光時は橙色に点灯)。



AF フレーム

・ピントが合った位置に、AF フレームが緑色で表示されます。

5. そのままシャッターボタンを深く押して(全押し)、撮影をする



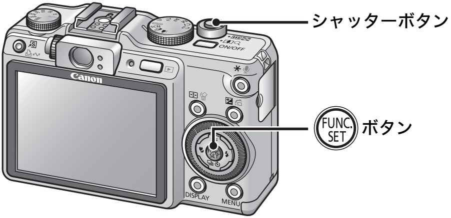
・シャッター音が鳴り、撮影されます。
・ランプが緑色に点滅し、カードに記録されます。

消音の設定について

(マイク)ボタンを押しながら電源を入れると、消音設定が[入]になり、警告音以外のすべての音が鳴らない設定になります。設定の変更は、設定メニューの[消音]で行います(p. 51)。

撮影直後に画像を確認する(レックレビュー)

撮影直後に約 2 秒間、液晶モニターに撮影した画像が表示されます。



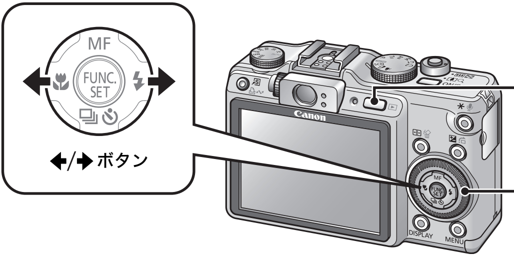
次の方法で撮影直後の画像を表示し続けることもできます。

- **撮影後、シャッターボタンを押し続ける**
- **撮影した画像が表示されている間に、FUNC. SET ボタンを押す**

  ピッと操作音が鳴ったことを確認してください。
  画像の表示中でも、シャッターボタンを押すと撮影ができます。

［(撮影)］メニューの［撮影の確認］で画像を表示する時間を変更できます。

静止画を見る



1. ▶（再生）ボタンを押す

最後に撮影した画像が表示されます。

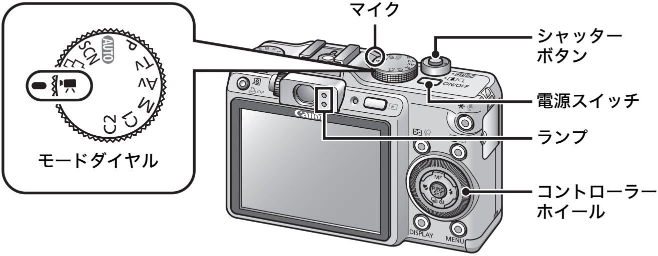
2. ←/→ボタンで見たい画像を表示する

- ← ボタンで前の画像、→ ボタンで次の画像を表示します。
- ボタンを押し続けると早く進みます。ただし、表示される画像は粗くなります。
- コントローラーホイールでも、画像を選べます。反時計回りに回すと前の画像、時計回りに回すと次の画像を表示します。



一度再生した場合には、最後に再生した画像が表示されます（再生レジューム）。また、カードを交換したり、パソコンでカード内の画像を編集した場合は、最新画像が表示されます。

動画を撮る（スタンダードモード）



1. 電源スイッチを押す

2. 撮影モードを選ぶ

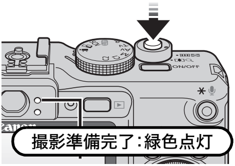
1. モードダイヤルを（動画）に合わせる
2. コントローラーホイールを回して（スタンダード）を選ぶ



3. 被写体にカメラを向ける

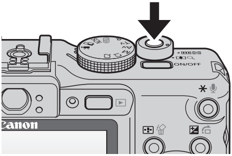
- 撮影中はマイクに触れないでください。
- シャッターボタン以外のボタンを押さないでください。ボタンを押す音も記録されてしまいます。

4. シャッターボタンを浅く押して(半押し)、ピントを合わせる



- ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ランプが緑色に点灯します。
- 露出、フォーカス、ホワイトバランスが自動設定されます。

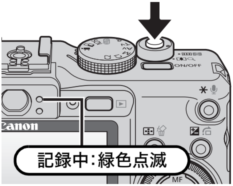
5. そのままシャッターボタンを深く押して(全押し)、撮影をする



- 撮影が開始されます。
- 撮影中は、液晶モニターに撮影時間と[●録画]が表示されます。

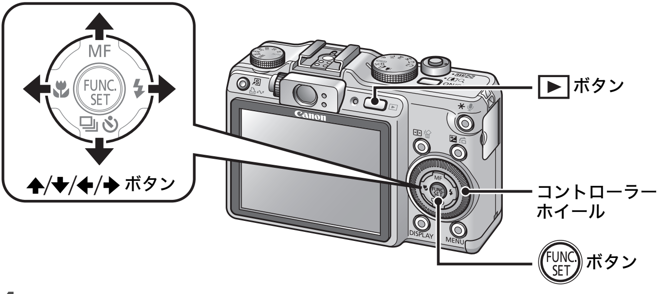


6. シャッターボタンを全押しして撮影を終了する



- ランプが緑色に点滅し、カードに記録されます。
- 最長記録時間を経過したときや、カメラ内部のメモリーやカード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

動画を見る



1. ▶（再生）ボタンを押す

2. ◀/▶ ボタンで動画を表示し、FUNC. SET ボタンを押す

・動画には SET 🎥 が表示されます。
・コントローラーホイールを回しても画像を表示できます。

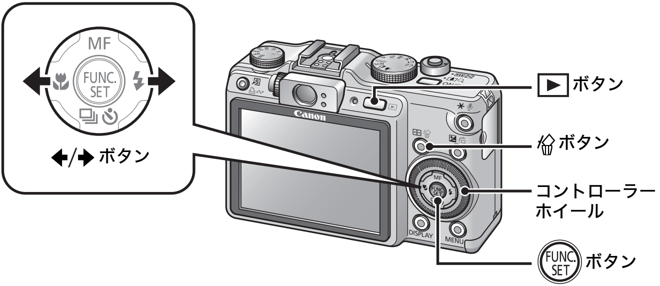


3. ◀/▶ ボタンで ▶（再生）を選び、FUNC. SET ボタンを押す

・動画が再生されます。
・再生中に FUNC./SET ボタンを押すと、再生の一時停止 / 再開ができます。
・▲/▼ ボタンで音量の調節ができます。



消去する



1. ▶（再生）ボタンを押す

2. ◀/▶ ボタンで消去したい画像を選び、ボタンを押す

コントローラーホイール回しても画像を選べます。

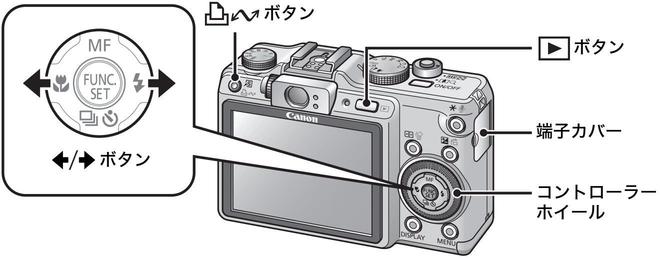
3. ［消去］が選択されていることを確認し、FUNC. SET ボタンを押す

消去を中止するときは、［キャンセル］を選びます。



消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。

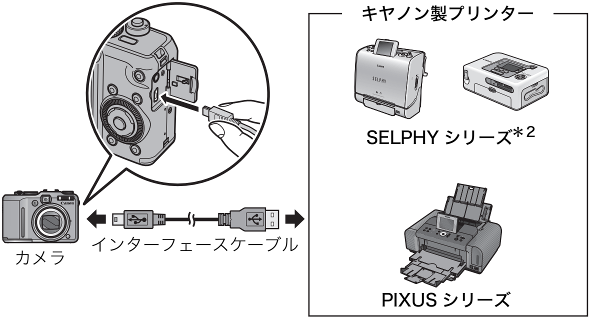
印刷する



1. カメラとカメラダイレクト対応プリンター*1を接続する

・カメラの端子カバーを開き、インターフェースケーブルを奥まで差し込みます。

・プリンターの接続方法は、プリンターに付属の使用説明書でご確認ください。



*1 このカメラは標準規格「PictBridge（ピクトブリッジ）」に対応していますので、キヤノン製プリンターだけでなく、キヤノン製以外の PictBridge 対応プリンターでも印刷できます。

*2 CP-10/CP-100/CP-200/CP-300 もお使いになれます。

2. プリンターの電源を入れる

3. カメラの▶(再生)ボタンを押し、電源を入れる



- ボタンが青色に点灯します。
- 正しく接続されると、液晶モニターにまたは、が表示されます（プリンターによって表示されるアイコンは異なります）。
- 動画の場合、SETが表示されます。

4. ←/→ ボタンで印刷したい画像を選び、ボタンを押す

- ボタンが青く点滅し、印刷が始まります。
- コントローラーホイールを回しても画像を選べます。

印刷後は、カメラとプリンターの電源を切り、インターフェースケーブルを取り外します。

パソコンに取り込む

用意するもの

- **カメラとパソコン**
- **カメラに付属の「Canon Digital Camera Solution Disk」**
- **インターフェースケーブル（必ずカメラに付属のケーブルをお使いください。）**

パソコンに必要なシステム構成

ソフトウェアは、以下の条件を満たすパソコンにインストールしてください。

■ Windows

OS	Windows Vista Windows XP Service Pack 2 Windows 2000 Service Pack 4
機種	上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていること
CPU	Windows Vista ： Pentium 1.3GHz以上 Windows XP / Windows 2000 ： Pentium 500MHz以上
RAM	Windows Vista ： 512MB以上 Windows XP / Windows 2000 ： 256MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ZoomBrowser EX ： 200MB以上 ・PhotoStitch ： 40MB以上 ●Canon Camera TWAIN Driver ： 25MB以上
ディスプレイ	1,024×768ドット High Color（16bit）以上

■ Macintosh

OS	Mac OS X（v10.3～v10.4）
機種	上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていること
CPU	PowerPC G3/G4/G5またはIntel プロセッサー
RAM	256MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ImageBrowser ： 300MB以上 ・PhotoStitch ： 50MB以上
ディスプレイ	1,024×768ドット 32,000色以上

画像を取り込む準備をする

必ずソフトウェアをインストールしてから、カメラとパソコンを接続してください。

1. ソフトウェアをインストールする

■ Windows

1. **Canon Digital Camera Solution Disk を CD-ROM ドライブにセットする**
2. **[おまかせインストール]をクリックする**
   表示されるメッセージにしたがって、インストールを進めます。



3. **インストールの終了後、[再起動]または[完了]をクリックする**
   インストールが終了すると、[再起動] または［完了］が表示されます。表示されたボタンをクリックします。



4. **通常のデスクトップの画面が表示されたら、CD-ROM を取り出す**

■ Macintosh

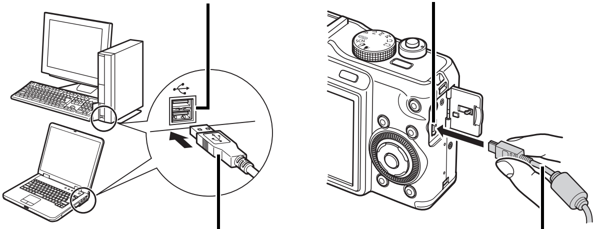
CD-ROM 内の をダブルクリックすると、右の画面が表示されます。［インストール］を選択し、表示されるメッセージにしたがって、インストールを進めます。



2. カメラとパソコンを接続する

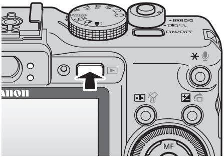
1. 付属のインターフェースケーブルで、パソコンの USB ポートとカメラの DIGITAL 端子を接続する

カメラの端子カバーを開き、インターフェースケーブルを奥まで差し込みます。



3. カメラとパソコンを通信できる状態にする

1. ▶(再生)ボタンを押し、電源を入れる



カメラの DIGITAL 端子からインターフェースケーブルを取り外すときは、必ず、コネクターの側面を持って取り外してください。

[デジタル署名が見つかりませんでした]と表示された場合は、[はい]をクリックしてください。接続が完了し、カメラとパソコンが通信できる状態になると、USB ドライバが自動的にパソコン内にインストールされます。

■ Windows

［Canon CameraWindow］を選び、
［OK］をクリックする



上記のウィンドウが表示されない場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］または［プログラム］▶［Canon Utilities］▶［CameraWindow］▶［CameraWindow］▶［CameraWindow］を選択します。

カメラウィンドウが表示されます。



これで、画像を取り込む準備ができました。
「カメラの操作で画像を取り込む」（p. 31）にお進みください（Windows 2000 を除く）。

Windows 2000 をお使いの場合は、パソコンの操作で画像を取り込みます。取り込み方法については「ソフトウェアクイックガイド」をご覧ください。

■ Macintosh

カメラとパソコンが通信できる状態になると、次のウィンドウが表示されます。表示されない場合は、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［CameraWindow］アイコンをクリックします。



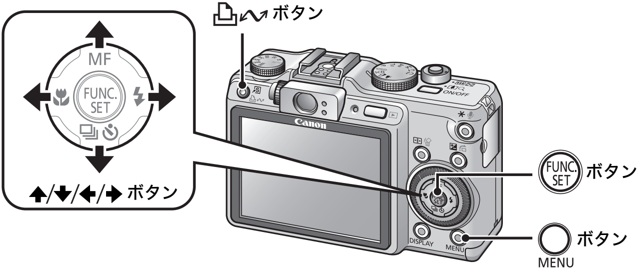
これで、画像を取り込む準備ができました。
「カメラの操作で画像を取り込む」（p. 31）にお進みください。

パソコンの操作での取り込み方法については、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

カメラの操作で画像を取り込む(ダイレクト転送)

初めてダイレクト転送で画像を取り込むときは、最初にソフトウェアをインストールしておいてください(p. 27)。

カメラの操作で画像を取り込めます(Windows 2000 を除く)。



	全画像	すべての画像をパソコンに取り込み、保存します。
	未転送画像	まだ取り込んでいない画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
	送信指定画像	送信指定した画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
	画像を選んで転送	画像を見ながら 1 画像ずつパソコンに取り込み、保存します。
	パソコンの背景	画像を見ながら、パソコンのデスクトップの背景にしたい画像を取り込みます。取り込んだ画像は、パソコンのデスクトップに背景として表示されます。

1. カメラの液晶モニターにダイレクト転送画面が表示されていることを確認する

- ボタンが青色に点灯します。
- ダイレクト転送画面が表示されない場合は、MENU ボタンを押してください。

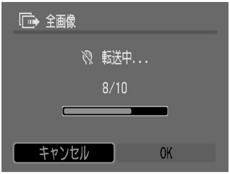


ダイレクト転送画面

■ [全画像]、[未転送画像]、[送信指定画像]のとき

2. ▲/▼ ボタンで、、のいずれかを選び、ボタンを押す

- 画像が取り込まれます。取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。
- 取り込みが終了するとダイレクト転送画面に戻ります。
- 取り込みを中止するときは、FUNC./SET ボタンを押します。



■ [画像を選んで転送]、[パソコンの背景]のとき

2. ▲/▼ボタンでまたはを選び、ボタン(または FUNC. SET ボタン)を押す

3. ◀/▶ ボタンで取り込みたい画像を選び、ボタンを押す

- 画像が取り込まれます。取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。



4. 取り込み後、MENU ボタンを押す

- ダイレクト転送画面に戻ります。

［パソコンの背景］で指定できるのは、JPEG 画像のみです。

ボタンで選択した項目は、カメラの電源を切っても記憶されます。次回、ダイレクト転送画面を表示したときは、前回設定した項目が選択されます。［画像を選んで転送］と［パソコンの背景］を選択していたときは、ただちに画像を選択する画面が表示されます。

カメラウィンドウの右下に表示される［×］をクリックすると、パソコンの画面に取り込まれた画像が表示されます。

■ Windows



ZoomBrowser EX

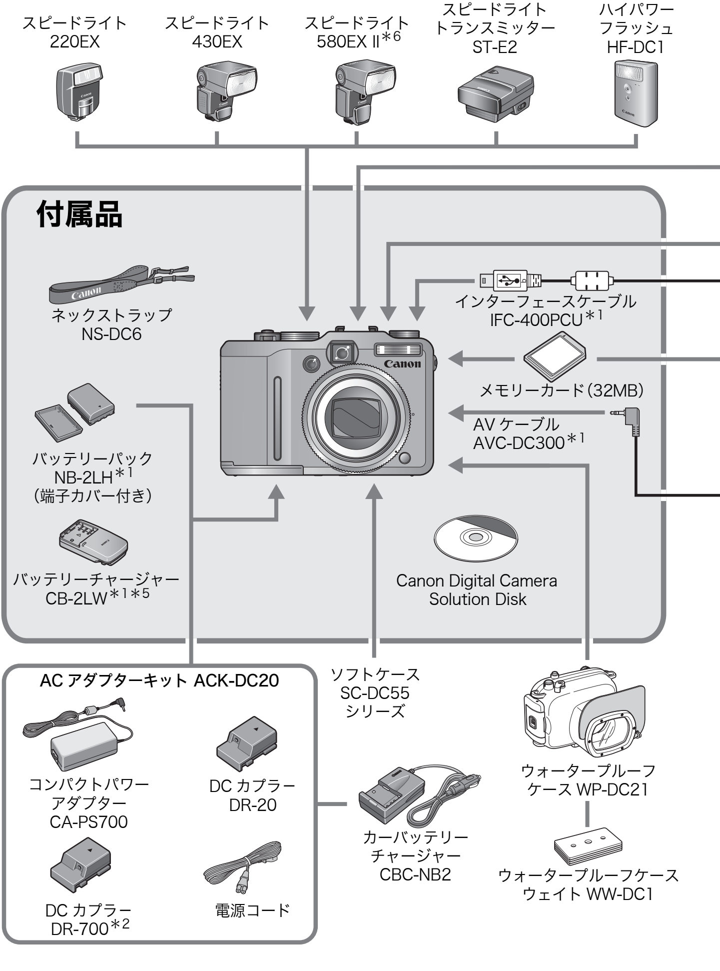
■ Macintosh

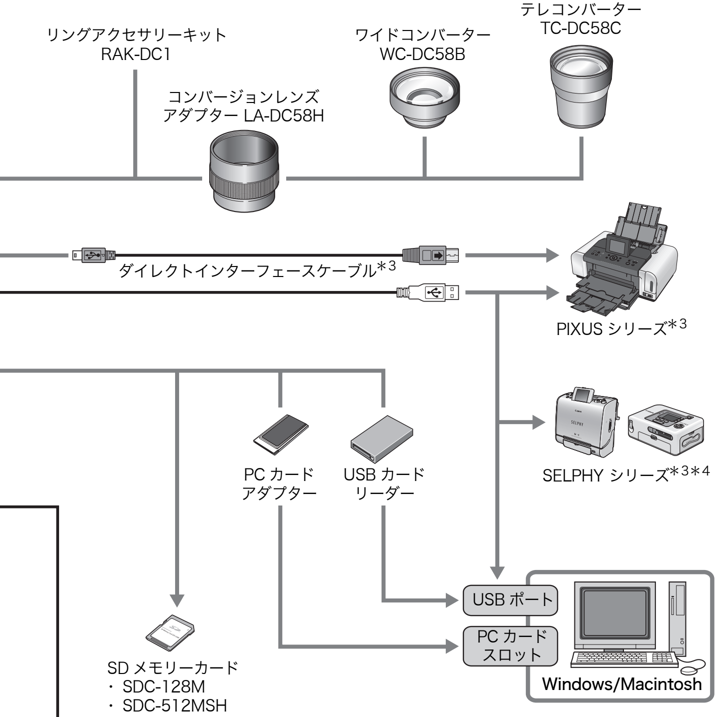


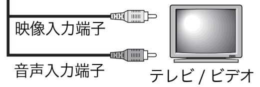
ImageBrowser

初期設定では、パソコンに取り込まれた画像は、撮影日ごとにフォルダに保存されます。

システムマップ


スピードライト
220EX
スピードライト
430EX
スピードライト
580EX II＊6
スピードライト
トランスミッター
ST-E2
ハイパワー
フラッシュ
HF-DC1
付属品
ネックストラップ
NS-DC6
インターフェースケーブル
IFC-400PCU＊1
メモリーカード（32MB）
AV ケーブル
AVC-DC300＊1
バッテリーパック
NB-2LH＊1
（端子カバー付き）
バッテリーチャージャー
CB-2LW＊1＊5
Canon Digital Camera
Solution Disk
AC アダプターキット ACK-DC20
コンパクトパワー
アダプター
CA-PS700
DC カプラー
DR-20
DC カプラー
DR-700＊2
電源コード
ソフトケース
SC-DC55
シリーズ
カーバッテリー
チャージャー
CBC-NB2
ウォータープルーフ
ケース WP-DC21
ウォータープルーフケース
ウェイト WW-DC1





*1 別売りも用意されています。
*2 PowerShot G9 では使用しません。
*3 PIXUS シリーズ /SELPHY DS シリーズのプリンターに接続するケーブルや、プリンターに関することは、プリンターに付属の使用説明書をご覧ください。
*4 CP-10/CP-100/CP-200/CP-300 もお使いになれます。
*5 バッテリーチャージャー CB-2LT もお使いになれます。
*6 スピードライト 580EX もお使いになれます。

アクセサリー(別売)

必要に応じてお買い求めのうえ、ご利用ください。
(アクセサリーは、諸事情により販売を終了することがあります。)

■ レンズ・レンズアダプター

- **コンバージョンレンズアダプター LA-DC58H**
  ワイドコンバーター、テレコンバーターをカメラに取り付けるためのアダプターです。
- **ワイドコンバーター WC-DC58B**
  カメラに取り付けると、カメラ本体の焦点距離の 0.75 倍で撮影できます。
- **テレコンバーター TC-DC58C**
  カメラに取り付けると、カメラ本体の焦点距離の2倍で撮影できます。

■ ストロボ

- **EOS 用スピードライト EX シリーズ**
  キヤノン EOS 用のスピードライトで、被写体に最適なストロボ光を与え、自然で鮮明な画像を撮影できます。
  ・スピードライト 220EX/430EX/580EX II *
  *スピードライト 580EX もお使いになれます。
- **スピードライトトランスミッター ST-E2**
  スレーブ設定されたスピードライト(220EX を除く)をワイヤレスで制御できます。
- **ハイパワーフラッシュ HF-DC1**
  被写体が遠すぎて内蔵ストロボが届かないときに、カメラに取り付けて使用する補助ストロボです。

■ 電源

- **バッテリーパック NB-2LH**
  充電式のリチウムイオン電池です。
- **バッテリーチャージャー CB-2LW**
  バッテリーパック NB-2LH 用の充電器です。

- **AC アダプターキット ACK-DC20**
  家庭用コンセントから電源を供給するためのキットです。カメラを長時間連続して使うときや、パソコンと接続するときには、この AC アダプターキットをお使いになることをおすすめします。
  ・コンパクトパワーアダプター CA-PS700
  ・DC カプラー DR-20
  ・DC カプラー DR-700（PowerShot G9 では使用しません）
  ・電源コード
- **カーバッテリーチャージャー CBC-NB2**
  自動車のシガーソケットから電源を取ってバッテリーを充電できます。

その他

- **SD メモリーカード**
  撮影した画像を記録するためのカードです。キヤノン製では 128MB、512MB の容量のカードがあります。
- **インターフェースケーブル IFC-400PCU**
  カメラとパソコン、またはカメラと SELPHY シリーズや PIXUS シリーズ*のプリンターを接続するケーブルです。
  *プリンターの使用説明書でご確認ください。
- **AV ケーブル AVC-DC300**
  カメラとテレビやビデオを接続するケーブルです。
- **ウォータープルーフケース WP-DC21**
  カメラに、このウォータープルーフケースを装着すると、雨天時や海辺、スキー場での撮影のほか、水深 40m 以内での水中撮影を楽しむことができます。
- **ソフトケース SC-DC55 シリーズ**
  カメラをキズやホコリから守ります。なお、革素材のため色落ちする場合がありますので、お取り扱いにご注意ください。
- **リングアクセサリーキット RAK-DC1**
  色の異なる 3 色のリングキットです。
  インターネット限定販売品です。購入するには、CANON iMAGE GATEWAY に会員登録（無料）する必要があります。

カメラダイレクト対応プリンター

以下のプリンターが用意されています。カメラとプリンターをケーブルで直接つないで、カメラのボタン操作だけで撮影した画像を印刷できます。

- **SELPHY シリーズ**
- **PIXUS シリーズ**

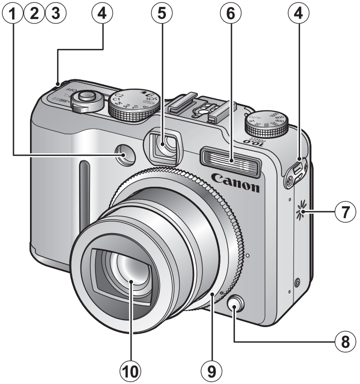
商品の詳細やお使いになれるアクセサリーについては、カメラユーザーガイド裏表紙に記載されているホームページや商品カタログでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合(例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など)に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

もっと
カメラを使ってみよう!

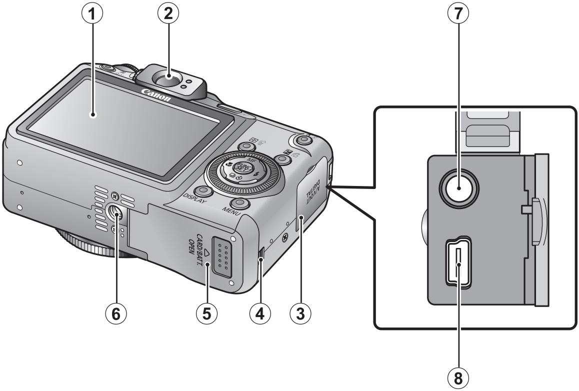
各部の名称

■ 前面



① AF 補助光投光部(p. 49)
② 赤目緩和ランプ(p. 110)
③ セルフタイマーランプ(p. 76)
④ ネックストラップ取り付け部(p. 13)
⑤ ファインダー窓(p. 41)
⑥ ストロボ(p. 74)
⑦ スピーカー
⑧ リング取り外しボタン(p. 233)
⑨ リング(p. 233)
⑩ レンズ

■ 背面



① 液晶モニター(p. 55)
② ファインダー接眼部
③ 端子カバー
④ DC カプラーケーブル用カバー(p. 231)
⑤ メモリーカードスロット / バッテリーカバー(p. 11、12)
⑥ 三脚ねじ穴
⑦ A/V OUT(映像 / 音声出力)端子(p. 200)
⑧ DIGITAL(デジタル)端子(p. 28)

ファインダーを使う

液晶モニターを非表示にし（p. 55)、ファインダーを使って撮影すると消費電力を抑えることができます。

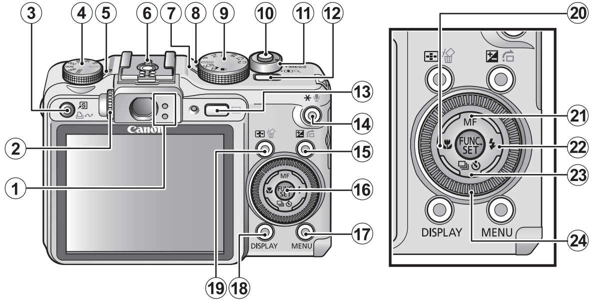
・ファインダーから被写体がはっきり見えるように、視度調整ダイヤル（p. 42）で調整してください。－ 3.0 ～＋ 1.0 $^{1}/_{m}$（dpt）の範囲で調整できます。

・ズーム位置によっては、ファインダー内にレンズの一部が見えます。

・ファインダーの視野率*は、約 80％です。

*実際に撮影される範囲に対して、ファインダーで確認できる範囲の比率です。

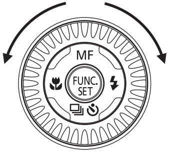
■ 操作部

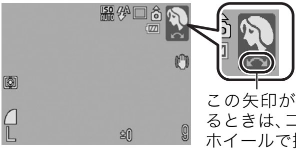


① ランプ(p. 44)
② 視度調整ダイヤル
③ (ショートカット)/ (イージーダイレクト)ボタン(p. 24、31、150)
④ ISO ダイヤル(p. 83)
⑤ ISO ランプ
⑥ アクセサリーシュー(p. 237)
⑦ 電源ランプ
⑧ マイク(p. 185、187)
⑨ モードダイヤル(p. 16、86)
⑩ シャッターボタン(p. 17)
⑪ ズームレバー(p. 70、157)
撮影時：(広角)/(望遠)
再生時：(インデックス)/(拡大)
⑫ 電源スイッチ(p. 16)
⑬ (再生)ボタン(p. 19)
⑭ ✱(AE ロック/FE ロック)/(マイク)ボタン(p. 125、127、185、187)
⑮ (露出)/(ジャンプ)ボタン(p. 132、161)
⑯ FUNC./SET(ファンクション/セット)ボタン(p. 46)
⑰ MENU(メニュー)ボタン(p. 47)
⑱ DISPLAY(ディスプレイ)ボタン(p. 55)
⑲ (AF フレーム選択)/(1画像消去)ボタン(p. 113、p. 23)
⑳ (マクロ)/←ボタン(p. 75)
㉑ MF(マニュアルフォーカス)/↑ボタン(p. 119)
㉒ (ストロボ)/→ボタン(p. 74)
㉓ (連写)/(セルフタイマー)/↓ボタン(p. 108、76)
㉔ コントローラーホイール(p. 43)

コントローラーホイール

コントローラーホイールは、反時計回りで ← ボタン、時計回りで → ボタンを押すのと同じ働きをします（機能によっては ↑/↓ ボタンの働きをする場合もあります）。
コントローラーホイールで、主に以下のことができます。





この矢印が表示されているときは、コントローラーホイールで操作します。

■ 撮影時の機能

- スペシャルシーンでのモード選択（p. 87）
- ⚡/❏/🕓/🌷での項目の選択（p. 74、108、76、75）
- FUNC. メニューでの項目選択（p. 48）
- 動画モードの選択（p. 99）
- スティッチアシストの方向選択（p. 97）
- **Tv** でのシャッタースピードの選択（p. 92）
- **Av** での絞り数値の選択（p. 94）
- **M** でのシャッタースピードと絞り数値の選択（p. 96）
- AF フレームの移動（p. 113）
- マニュアルフォーカスでのピント合わせ（p. 121）
- プログラムシフト（p. 126）
- 露出補正（p. 132）

■ 再生時の機能

- 画像選択（p. 19、157、158、161）
- 動画再生・編集時の各種操作（p. 22、166、168）
- 音声メモ、サウンドレコーダーの操作（p. 185、186）
- DPOF の印刷指定、送信指定の操作（p. 194、198）

■ 撮影時と再生時の機能

- メニューでの項目選択（p. 46、47）
- 世界時計のエリア選択（p. 65）
- 時計の表示色（p. 56）
- マイカメラコンテンツの登録操作（p. 202）

ランプの点灯 / 点滅について

以下の場合に、カメラのランプが点灯 / 点滅します。

- **上側のランプ**

  緑点灯：撮影準備完了
  緑点滅：インターバル（動画）撮影中 / 画像の記録 / 読み出し / 消去 / 転送（パソコン接続時）
  橙点灯：撮影準備完了（ストロボ発光）
  橙点滅：撮影準備完了（手ぶれ警告）

- **下側のランプ**

  黄点灯：マクロ撮影 / マニュアルフォーカス撮影 / AF ロック撮影
  黄点滅：ピントが合いにくいとき（電子音が 1 回鳴ります）

ランプが緑色に点滅しているときは、絶対に次のことを行わないでください。画像データが壊れることがあります。
- 振動や、衝撃を与える
- 電源を切ったり、メモリーカードスロット / バッテリーカバーを開ける

節電機能について

このカメラには、節電機能がついています。
次のようなときに電源が切れます。再度電源スイッチを押すと復帰します。

撮影時	約 3 分間、何も操作しないとき。節電機能が［切］でも、液晶モニターを表示して約1分間*何も操作しないと液晶モニターが消えます。（電源スイッチ以外のボタンを押すか、またはカメラの縦・横の向きを変えると復帰します。）
再生時 プリンター接続時	約 5 分間、カメラの操作を何もしないとき

*時間を変更できます。

- スライドショーで自動再生中およびパソコン接続時は、節電機能は働きません。
- 節電機能の設定を変更できます（p. 51）。

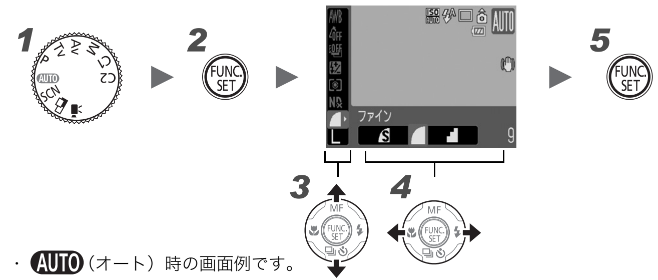
操作の基本

メニューの表示と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、印刷の設定、日付 / 時刻、電子音などのカメラの設定は、FUNC. メニューまたは撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニューを使って操作します。

■ (FUNC./SET) ボタン（FUNC. メニュー）

撮影時に、よく使う機能を設定します。



・AUTO（オート）時の画面例です。

1 **モードダイヤルを撮影したいモードに合わせる**

2 **(FUNC./SET) を押す**

3 **▲/▼ でメニュー項目を選ぶ**

撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。

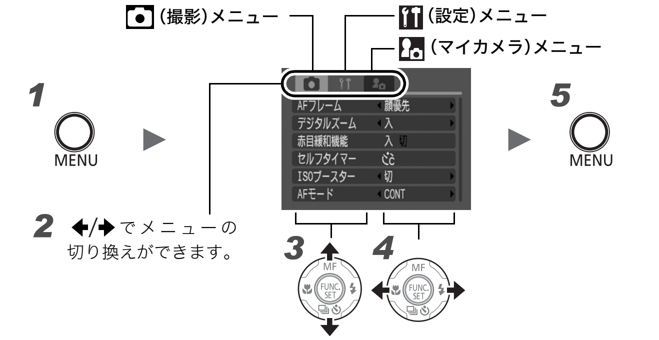
4 **◀/▶ で設定内容を選ぶ**

- 設定項目によっては、DISPLAY ボタンでさらに変更できます。
- 選択後、シャッターボタンを押してすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。
- コントローラーホイールを回しても選べます。

5 **(FUNC./SET) を押す**

■ MENU ボタン（撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー）

撮影 / 再生 / 印刷時の便利な機能を設定します。



・AUTO（オート）時の撮影メニューの画面例です。

1 MENU を押す

2 ←/→ でメニューを切り換える

・ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

・表示されるメニューは、次のとおりです。
撮影時：撮影 / 設定 / マイカメラ
再生時：再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラ

3 ↑/↓ でメニュー項目を選ぶ

・撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。

・コントローラーホイールを回しても選べます。

4 ←/→ で設定内容を選ぶ

「. . .」のある項目では、FUNC./SET ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度 FUNC./SET ボタンを押して設定内容を確定し、MENU ボタンを押してメニュー画面に戻ります。

5 MENU を押す

メニュー一覧と初期設定

巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧」もご覧ください。

FUNC. メニュー

ここに表示されているアイコンは、初期設定、（お買い上げ時の設定）を表します。

	項目	参照先
AWB	ホワイトバランス	p. 135
	マイカラー	p. 138
	ブラケット	p. 124、128
	ストロボ調光補正 / ストロボ発光量	p. 146、147
	測光方式	p. 133

	項目	参照先
ND	ND フィルター	p. 129
	圧縮率（静止画）	p. 78
1"	撮影間隔（動画：インターバル）	p. 104
L	記録画素数（静止画）	p. 78
640	記録画素数（動画）	p. 103

撮影メニュー

＊初期設定

項目	選択項目		内容 / 参照先
AF フレーム			p. 113
AUTO/SCN	顔優先＊ /AiAF/ 中央		
P/Tv/Av/M	アクティブ＊ / 顔優先 /AiAF		
ストロボ制御	発光モード	オート＊ / マニュアル	p. 145
	調光補正	−2～0＊～＋2	p. 146
	発光量	小＊ / 中 / 大	p. 147
	シンクロ設定	先幕＊ / 後幕	p. 148
	スローシンクロ	入 / 切＊	p. 111
	セーフティ FE	入＊ / 切	p. 149

デジタルズーム		p. 70
（静止画）	入* / 切 / テレコン 1.5x/ テレコン 2.0x	
（動画）	入* / 切（スタンダードモード時のみ）	
赤目緩和機能	入* / 切	p. 110
セルフタイマー	時間：0 〜 10 *、15、20、30 秒 枚数：1 〜 3 *〜 10 枚	p. 76
スポット測光枠	中央固定* /AF 枠連動	p. 133
セーフティシフト	入 / 切*	p. 93、95
ISO ブースター	切* / [プリント/共有] ボタン / 自動	p. 130
MF 拡大表示	入* / 切	p. 121
セーフティ MF	入* / 切	p. 122
AF モード	CONT * /SINGLE	p. 112
AF 補助光	入* / 切	p. 40
撮影の確認	切 / 2 *〜 10 秒 / ホールド	撮影直後に画像を表示する時間を設定できます（p. 18）。
レビュー情報	非表示* / 詳細表示 / ピント確認	p. 84
RAW ＋ L 記録	入 / 切*	p. 80
オリジナル保存	入 / 切*	p. 144
自動カテゴリー	入* / 切	撮影時、自動でカテゴリーに分類するかどうかを設定します*1。
手ぶれ補正		p. 81
（静止画）	入* / 撮影時 / 流し撮り / 切	
（動画）	入* / 切	
コンバータ	なし* / WC-DC58B /TC-DC58C	p. 236

情報表示設定	表示先	/ /	p. 57
	撮影情報	切*2/ 入*3	
	グリッドライン	切*2/ 入*3	
	3：2 ガイド	切*2 *3/ 入	
	ヒストグラム	切*2/ 入*3	
ショートカット登録	* ND WB AFL		p. 150
カスタム登録	C1/ C2		p. 106

*1 次のカテゴリーに分類されます。
（人物）：、、 または AF フレームモードの［顔優先］を選択し、顔が検知された画像
（風景）：、、
（イベント）：、、、、、、

*2 液晶モニター表示 1 の初期設定

*3 液晶モニター表示 2 の初期設定

再生メニュー

項目	参照先
スライドショー	p. 172
マイカテゴリー	p. 163
消去	p. 191
プロテクト	p. 188
赤目補正	p. 176
リサイズ	p. 183
レタッチマイカラー	p. 181
サウンドレコーダー	p. 186
回転	p. 170
送信指定	p. 198
再生効果	p. 171

印刷メニュー

項目	参照先
印刷	p. 194
印刷する画像を指定	
範囲で指定	
日付で指定	
マイカテゴリーで指定	
フォルダで指定	
すべての画像を指定	
すべての指定を解除	
印刷の設定	

設定メニュー 🔧

＊初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
消音	入 / 切＊	［入］にすると、警告音以外はすべて鳴りません。
音量	切/ 1 / 2＊/ 3 / 4 / 5	起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音、再生音の音量を調節します。ただし、[消音] が [入] になっていると設定できません。
起動音量		カメラ起動時の音量を調節します。
操作音量		シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音量を調節します。
セルフタイマー音		撮影の 2 秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。
シャッター音量		シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。
再生音量		動画再生時、音声メモまたはサウンドレコーダーの音量を調節します。
オーディオ		p. 105
マイク	オート＊ / マニュアル	録音音量の調節方法を設定します。
録音レベル	− 40 ～ 0 dB	録音音量を設定します。
ウィンドカット	入 / 切＊	風による雑音を低減します。
液晶の明るさ	− 7 ～ 0 ＊～＋ 7	◆/◆ ボタンで液晶モニターの明るさを調整します。 液晶モニター表示時は、画像の明るさを確認しながら調整できます。
節電		p. 45
オートパワーオフ	入＊ / 切	一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。
ディスプレイオフ	10 秒 /20 秒 /30 秒 / 1 分＊ / 2 分 / 3 分	カメラの操作をしないときに、自動的に液晶モニターを消す時間を設定します。

エリア設定	自宅* / 訪問先	p. 65
日付／時刻		p. 14
時計表示	0 ～ 5 *～ 10 秒 / 20 秒 /30 秒 /1 分 / 2 分 /3 分	p. 56
カードの初期化		物理フォーマットも設定できます(p. 69)。
画像番号	通し番号* / オートリセット	p. 155
フォルダ作成		p. 153
新規作成	チェックをつけると設定できます。	次の撮影時にフォルダを作成します。
自動作成	切* / 毎日 / 月曜～日曜 / 毎月	自動作成する時刻も設定できます。
縦横自動回転	入* / 切	p. 151
距離表示	m/cm * / ft/in	MFインジケーターの距離表示の単位を設定します（p. 121）。
レンズ収納時間	1 分* /0 秒	レンズの収納タイミングを設定します(撮影モードから再生モードへの切り換え時)。
言語		p. 15
ビデオ出力方式	NTSC * /PAL	p. 200
印刷接続方式	自動* /	下記参照*1
初期設定		p. 68

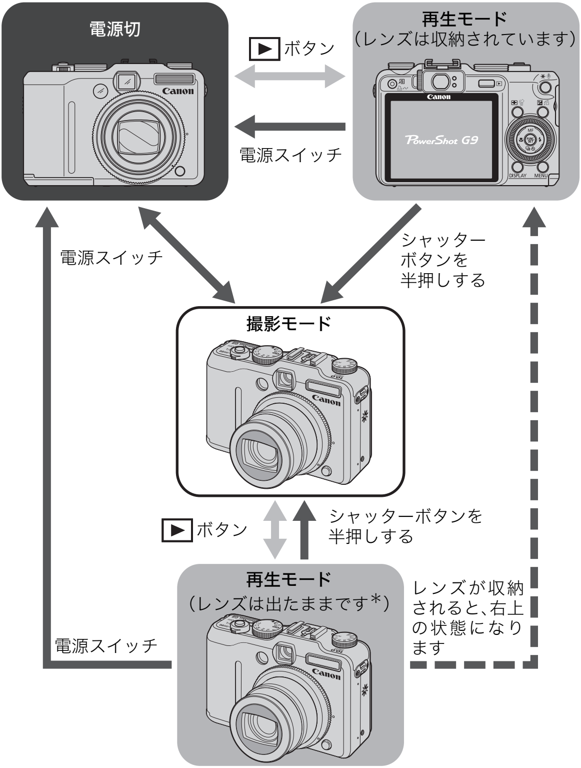
*1 プリンターとの接続方式を変更できます。通常、設定を変更する必要はありませんが、W（ワイド）で撮影した画像を、キヤノンコンパクトフォトプリンター SELPHY CP750/CP740/CP730/CP720/CP710/CP510 でワイドサイズ用紙全面に印刷するときは、を選択してください。この設定は電源を切っても記憶されますので、W 以外の画像サイズを印刷するときは、［自動］に戻してください（ただし、プリンター接続中は変更できません）。

マイカメラメニュー

＊初期設定

項目	内容	参照先
セット	起動画面、起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音に共通するテーマを選びます。	
起動画面	電源を入れたときの起動画面を選びます。	
起動音	電源を入れたときの起動音を選びます。	
操作音	シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音を選びます。	p. 201
セルフタイマー音	セルフタイマー撮影で撮影の2秒前をお知らせする音を選びます。	
シャッター音	シャッターボタンを全押ししたときの音を選びます（動画撮影時には鳴りません）。	
設定内容	（切）/ 1 ＊ / 2 / 3	

撮影モード / 再生モードを切り換える



＊［🔧］メニューの［レンズ収納時間］で時間を変更できます (p. 52)。

液晶モニターの表示を切り換える

1 DISPLAY を押す

・DISPLAY ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

撮影モードのとき（撮影）

液晶モニター表示1＊1（情報表示なし）
↓
液晶モニター表示2＊1＊2（情報表示あり）
↓
液晶モニター非表示
（→ 液晶モニター表示1 に戻る）

再生モードのとき（再生）

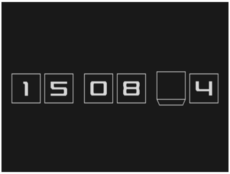
情報表示なし
↓
簡易表示
↓
詳細表示
↓
フォーカスチェッカー表示（静止画のみ）
（→ 情報表示なし に戻る）

＊1 表示内容は変更できます（p. 57）。
＊2 初期設定は、撮影情報、グリッドライン、ヒストグラム（**P**、**Tv**、**Av**、**M**のみ）を表示

・撮影の設定を変更したときは、液晶モニターの設定に関係なく約 6 秒間撮影情報が表示されます。

- 液晶モニターの表示 / 非表示の設定は、電源を切っても保持されます。
- **SCN**（スポーツ、水中、水中マクロ）や連写、動画のとき、液晶モニターは消せません。
- 拡大表示時（p. 157）、インデックス再生時（p. 158）は、詳細表示やフォーカスチェッカー表示に切り換わりません。

時計を表示する



現在の日付と時刻を 5 秒間*表示する方法が、2 通りあります。

＊初期設定

① FUNC./SET ボタンを押しながら、電源を入れる

② 撮影 / 再生モード時に FUNC./SET ボタンを 1 秒以上押す

・カメラを横にすると時計を表示し、縦にすると時計 / 日付を表示します。

・時計の表示中に ◆/◆ ボタンを押すと、表示色を変更できます。

・時計の表示時間が経過するか、次の操作のためにボタン操作をすると時計表示が終了します。

・時計の表示時間は、［ ］メニューで変更できます（p. 52）。

・インデックス再生時（p. 158）は、時計を表示できません。

液晶モニターの明るさを切り換える

次の 2 つの方法があります。

- **設定メニューで変更する（p. 51）**
- **「LCD ブースター」機能で変更する**

  DISPLAY ボタンを 1 秒以上押すと、設定メニューで選択されている明るさにかかわらず、最大の明るさに変更できます*。

  ・元の明るさに戻すとき：再度、DISPLAY ボタンを 1 秒以上押す

  ・次回電源を入れたとき：設定メニューで選択されている明るさで表示される

＊すでに、設定メニューで最大の明るさに設定されている場合は、変更できません。

「ナイトビュー」機能について

暗い場所での撮影時は、被写体の明るさに合わせて、カメラが自動的に液晶モニターに表示される画像の明るさを調節するため*、暗い場所でも構図を決めやすくなります。

＊液晶モニターにノイズが表示されたり、表示される被写体の動きがややぎこちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。なお、液晶モニターに表示される画像の明るさと、実際に撮影される画像の明るさは異なります。

情報の表示内容を設定する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN *1 *2 P Tv Av M

*1［撮影情報］のみ表示できます。
*2［3：2 ガイド］は表示できません。

液晶モニターに表示される情報を設定できます。

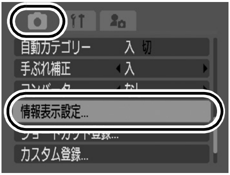
表示先 (1/2/非表示)	液晶モニターの 3 つの表示状態（表示 1/ 表示 2/ 非表示）を設定できます。3 つの表示状態は、DISPLAY ボタンを押すと切り換えられます（p. 55)。
撮影情報	撮影情報を表示します（p. 59)。
グリッドライン	画面を 9 分割したラインを表示します。被写体の水平や垂直を確認できます（p. 59)。
3：2 ガイド	印刷範囲（縦横比 約 3：2）を確認できます*。印刷されない領域はグレーになります（p. 59)。 ＊記録される画像の縦横比は、通常画面と同じ 4:3 となります。
ヒストグラム	撮影モード：P/Tv/Av/M ヒストグラムを表示します（p. 59)。

初期設定では、DISPLAYボタンを押すたびに次のように切り換わります。

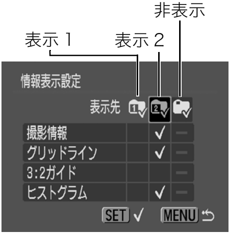
- 1 → 2 → 非表示
  - 1：情報表示なし
  - 2：情報表示あり（撮影情報、グリッドライン、ヒストグラム）
  - 非表示：液晶モニター非表示

1 [情報表示設定]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [撮影]メニューから、▲/▼ で[情報表示設定]を選ぶ
3. FUNC. SET を押す



2 [表示先]を選ぶ



1. ▲/▼ または ◀/▶ で 、 、 のいずれかを選ぶ

・DISPLAY ボタンを押したときの液晶モニターの表示状態を設定します。
・表示状態を切り換えたくない場合は、▲/▼ または ◀/▶ ボタンで選び、FUNC./SET ボタンを押して ⊘ をつけます（ / / ）。
・設定に入ったときの液晶モニターの表示先に ⊘ をつけることはできません。

3 設定する



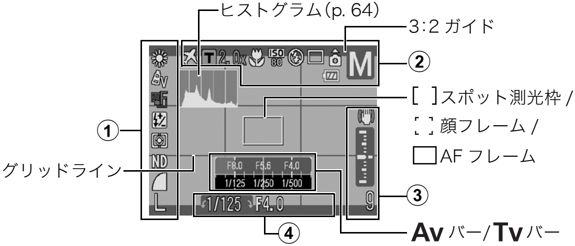
1. ▲/▼ または ◀/▶ で選んだ表示先に表示させたい項目を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押して、✓ をつける
3. (MENU) を押す

・表示したい項目がグレーになっていても設定はできます。ただし、お使いの撮影モードによっては表示できない場合があります。

シャッターボタンを半押しして情報表示設定画面から撮影画面に戻ると、設定内容は保存されません。

液晶モニターに表示される情報

撮影情報（撮影モードのとき）



①	ホワイトバランス		p. 135
	マイカラー		p. 138
	ブラケット		p. 128、124
	ストロボ調光補正 / ストロボ発光量		p. 146、147
	測光方式		p. 133
	ND フィルター	ND	p. 129
	圧縮率（静止画）		p. 78
	撮影間隔（動画）	1" 2"（ 選択時）	p. 104
	記録画素数（静止画）	L M1 M2 M3 S W RAW	p. 78、79
	記録画素数（動画）	1024 640 640LP 320 160	p. 99
	手ぶれ警告	（赤）	p. 61
②	エリア設定		p. 65
	ズーム倍率 / デジタルテレコン	T	p. 70
	マクロモード		p. 75
	ISO 感度*1	ISO AUTO ISO HI ISO 80 ISO 100 ISO 200 ISO 400 ISO 800 ISO 1600 ISO 3200（ISO 80・・・ISO 1600、ISO 3200）	p. 83
	ストロボ		p. 74

②	ドライブモード		p. 108、76
	縦横自動回転		p. 151
	撮影モード	AUTO … P Tv Av M C1 C2	p. 86
	バッテリー残量表示	（赤）	p. 225
	録画（動画撮影中）	[●録画]（赤）	p. 20、99
③	MF インジケーター		p. 121
	手ぶれ補正		p. 81
	適正露出指標 / 露出レベルマーク		p. 96
	ウィンドカット*2		p. 105、186
	マイク（マニュアル）*2		
	フォルダ作成通知		p. 153
	静止画：記録可能画像数 動画：記録可能時間 / 記録時間		p. 254、255
④	露出シフトバー		p. 102
	AE ロック /FE ロック		p. 125、127
	シャッタースピード*1	15 ～ 1/2500	p. 92、96
	絞り数値*1	F2.8 ～ F11	p. 94、96
	露出補正	-2 ･･･ +2	p. 132
	AF ロック	MF / AFL	p. 119
	マニュアルフォーカス	MF	p. 121

*1 シャッターボタンを半押しすると表示されます。ただし、ストロボ発光時はカメラが自動的に最適条件に再設定するため、再生情報の表示と異なる場合があります。
*2 動画、サウンドレコーダー時に表示されます。

ランプが橙色に点滅し、手ぶれ警告アイコン（ ）が表示された場合は、光量不足でシャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。以下の方法で撮影してください。
- 手ぶれ補正を［切］以外に設定する（p. 81）
- ISO 感度を上げる（p. 83）
- ISO ブースターを設定する（p. 130）
- ストロボを （発光禁止）以外に設定する（p. 74）
- 三脚などでカメラを固定する

再生情報（再生モードのとき）

■ 簡易表示

①　②　③



①	絞り込み再生		p. 161
②	バッテリー残量表示	（赤）	p. 225
	再生画像番号 / 総画像数		—
	フォルダ番号 - 画像番号		p. 153、155
③	圧縮率（静止画）		p. 78
	記録画素数（静止画）	L M1 M2 M3 S W RAW RAW + L XS	p. 78
	動画	AVI	—
	赤目補正 / レタッチマイカラー / リサイズした画像		p. 176、181、183
	WAVE タイプの音声		p. 185
	プロテクト情報		p. 188
	撮影日時		—

■ 詳細表示



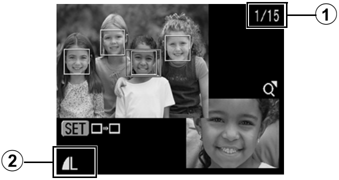
ヒストグラム（p. 64）

①	自動カテゴリー / マイカテゴリー		p. 163
②	撮影モード	AUTO … P Tv Av M	p. 86
	測光方式		p. 133
	ISO 感度	ISO 80 ・・・ ISO 3200	p. 83
③	シャッタースピード	15 ～ 1/2500	p. 92、96
	インターバル（動画）	1" 2"	p. 104
	記録画素数 / フレームレート（動画）	1024 640 640 LP 320 160 L30 L15	p. 103
	絞り数値	F2.8 ～ F11	p. 94、96
④	露出補正	-2 ・・・ +2 ＊1	p. 132
	ストロボ調光補正	-2 ・・・ +2 ＊2	p. 146
	ストロボ発光量		p. 147
⑤	ホワイトバランス	AWB …	p. 135
	ND フィルター	ND	p. 129
	マイカラー / ワンポイントカラー / スイッチカラー	V N Se BW P L D B G R C A S	p. 138、140
	レタッチマイカラー	V N Se BW P L D B G R	p. 181
	赤目補正		p. 110

⑤	AF ロック / マニュアルフォーカス	MF	p. 119、121
	マクロモード	（マクロアイコン）	p. 75
⑥	ファイルサイズ		p. 256
⑦	記録画素数（静止画）		p. 78
	記録時間（動画）		p. 255

＊1 AEB 撮影と露出補正を併用した場合は、「－ 4 ～＋ 4」の値が表示されます。
＊2 外付けストロボ使用時は、「－ 3 ～＋ 3」の値が表示されます。

■ フォーカスチェッカー表示



①	再生画像番号 / 総画像数		—
②	圧縮率（静止画）	（圧縮率アイコン）	p. 78
	記録画素数（静止画）	L M1 M2 M3 S W RAW RAW + L XS	p. 78

画像によっては、以下の情報を表示することがあります。

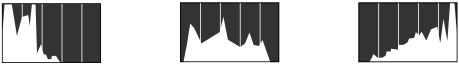
♪?	WAVE タイプ以外の音声ファイル、または、認識できないファイルがついています。
⚠	DCF（p. 250）の規格と異なる構造を持つ JPEG 画像です。
?	記録画素数が認識できない画像です。

- 他のカメラで撮影した画像は、情報が正しく表示されないことがあります。
- 高輝度警告について
  以下のとき、撮影画像に露出オーバー部分があると、その個所が点滅表示されます。
  - 撮影直後に、液晶モニター（情報表示あり）で画像を確認したとき
  - 再生モードで詳細表示にしたとき

ヒストグラムについて

ヒストグラムは、画像の明るさを判断する目安となるグラフです。グラフが左に寄るほど暗い画像になり、右に寄るほど明るい画像になります。暗いほうに偏っているときは、露出をプラス側に補正し、明るいときはマイナス側に補正して撮影します（p. 132）。

ヒストグラム例



暗い画像　普通の明るさの画像　明るい画像

世界時計を設定する

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておくと、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付 / 時刻を設定しなおす必要がなく便利です。

自宅 / 訪問先のエリアを設定する

1 [エリア設定]を選ぶ



1. MENU を押す
2. ←/→ で[ ]メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[エリア設定]を選ぶ
4. FUNC. SET を押す

2 (自宅)を選ぶ



1. ↑/↓ で を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

・初めてお使いになる場合には、右の画面が表示されていることを確認し、FUNC./SET ボタンを押します。

3 自宅エリアを選ぶ



1. ←/→ で自宅エリアを選ぶ
2. FUNC. SET を押す

・サマータイムを設定する場合は、↑/↓ ボタンで を選び、設定します。時刻は 1 時間プラスされます。

4 (訪問先)を選ぶ

1. ▲/▼ で を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す



5 訪問先エリアを選ぶ

1. ◀/▶ で訪問先エリアを選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す

・手順 3 と同様に、サマータイムを設定できます。

自宅エリアからの時差



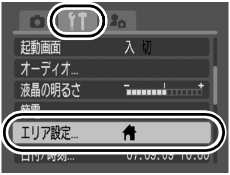
6 (自宅)を選ぶ

1. ▲ で[自宅 / 訪問先]を選ぶ
2. ◀/▶ で を選ぶ
3. (MENU) を押す



訪問先の日付に切り換える

1 [エリア設定]を選ぶ



1. MENU を押す
2. ←/→ で[設定]メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[エリア設定]を選ぶ
4. FUNC./SET を押す

2 ✈(訪問先)を選ぶ



1. ←/→ で✈を選ぶ
2. MENU を押す

- 訪問先のエリアを変更する場合は、FUNC./SET ボタンを押します。
- 訪問先の日付に切り換えると、液晶モニターに✈が表示されます。

自宅のエリア選択をしないと、訪問先は設定できません。

訪問先が選択されているときに、日付 / 時刻の変更を行うと、自宅の日時も自動的に変更されます。

設定を初期状態に戻す

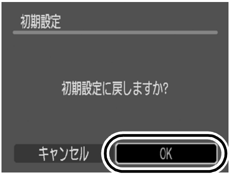
1 [初期設定]を選ぶ

1. MENU を押す
2. ←/→ で[ ]メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[初期設定]を選ぶ
4. FUNC. SET を押す



2 設定する

1. ←/→ で[OK]を選ぶ
2. FUNC. SET を押す



- **C1**/ **C2** の登録内容を初期設定状態に戻す場合は、モードダイヤルを **C1**または **C2** にして操作します。
- パソコン接続時、プリンター接続時は初期状態に戻せません。
- 以下の設定は、初期状態に戻りません。
  - 撮影モード
  - [ ] メニューの［エリア設定］、［日付 / 時刻］、［言語］、［ビデオ出力方式］の設定（p. 52）
  - ISO 感度（p. 83）
  - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ（p. 136）
  - ［ワンポイントカラー］（p. 141）と［スイッチカラー］（p. 142）で取り込んだ色
  - 新しく登録したマイカメラコンテンツ（p. 202）

カードを初期化する

新しいカードをお使いになるときや、カード内の画像だけでなく他のデータもすべて消去したいときは、カードを初期化します。

- 初期化すると、カードに記録された画像（プロテクト画像も含む）だけでなく、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- 🎙のアイコンが画面に表示されているときは、サウンドレコーダーのデータが残っています。十分に確認してから、初期化してください。

1 [カードの初期化]を選ぶ

1. MENU を押す
2. ←/→ で[ ]メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[カードの初期化]を選ぶ
4. FUNC. SET を押す

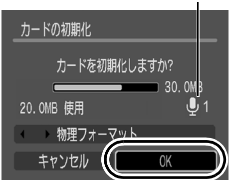


2 設定する

1. ←/→ で[OK]を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

・物理フォーマットをする場合は、↑ ボタンで［物理フォーマット］を選び、←/→ ボタンでチェックをつけます。
・物理フォーマットの場合、初期化中に FUNC./SET ボタンを押すと、中止できます。中止した場合でも、そのカードは問題なくお使いになれますが、データはすべて消去されます。

サウンドレコーダーのデータ(p. 186)がある場合に表示されます。



物理フォーマットについて
カードへの記録 / 読み出し速度が低下したと思われる場合などは、［物理フォーマット］を選択することをおすすめします。なお、カードによっては、物理フォーマットに 2 ～ 3 分かかる場合があります。

撮影時によく使う機能

光学ズームで撮る

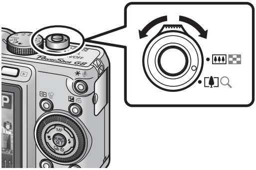
各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

35mm フィルム換算で、35 ～ 210mm（焦点距離）の範囲で画角を調節できます。ズーム操作中は、ズームバーが表示されます。

1 ズームレバーを 側、または 側に押す

- **広角**：被写体が小さくなります。
- **望遠**：被写体が大きくなります。



デジタルズーム / デジタルテレコンで撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN* * P Tv Av M

＊SCN：、、では設定できません。
＊：デジタルテレコンは設定できません。

光学ズームと組み合わせて、拡大して撮影できます。
焦点距離（35mm フィルム換算）と特長は次のとおりです。

<table>
<tr><th>選択項目</th><th>焦点距離</th><th>特長</th></tr>
<tr><td>入</td><td>35 ～ 840mm</td><td>光学ズームとデジタルズームの組み合わせで、最大約 24 倍に拡大して撮影できます。動画はスタンダードモード時のみ設定できます。</td></tr>
<tr><td>切</td><td>35 ～ 210mm</td><td>デジタルズームを使わずに撮影します。</td></tr>
<tr><td>テレコン 1.5x</td><td>52.5 ～ 315mm</td><td rowspan="2">デジタルズームが選択項目の倍率に固定され、焦点距離が望遠側に移動します。
同じ画角の撮影では、[入] や [切] のときに比べ、より速いシャッタースピードが利用でき、手ぶれしにくくなります。</td></tr>
<tr><td>テレコン 2.0x</td><td>70 ～ 420mm</td></tr>
</table>

- 液晶モニターが消えているときは、設定できません。
- W（ワイド）、RAW（ロウ）のときは、設定できません。

デジタルズームで撮る

1 [デジタルズーム]を選ぶ



1. MENU を押す
2. [ ]メニューから、▲/▼ で[デジタルズーム]を選ぶ

2 設定する



1. ◀/▶ で[入]を選ぶ
2. MENU を押す

3 ズームレバーを 側に押し、撮影する

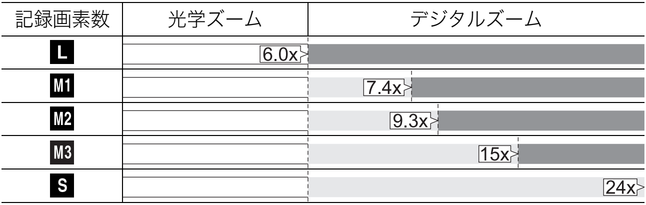
・液晶モニターに、光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率が表示されます。
・記録画素数によっては、画像が粗くなります。このとき、画像が粗くなる倍率は青色で表示されます。
・ 側へ押すと、倍率が下がります。



セーフティズームについて

設定された記録画素数に応じて、画質が劣化しない倍率まで一時停止することなく光学ズームからデジタルズームに移行できます（セーフティズーム）。画質劣化のない最大ズーム倍率で が表示されます（ を除く）。

セーフティズーム倍率



＜ズームバーの表示色＞

・白　：光学ズーム（画質劣化しない領域）

・黄色：デジタルズーム（画質劣化しない領域）

・青色：デジタルズーム（画質劣化する領域）

デジタルテレコンで撮る

デジタルズームを使って、テレコンバーター（望遠撮影するためのレンズ）の機能を実現したものが、デジタルテレコンです。

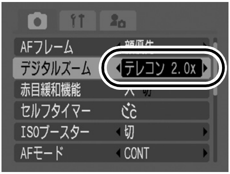
1 [デジタルズーム]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ]メニューから、▲/▼ で[デジタルズーム]を選ぶ



2 設定する

1. ◀/▶ で[テレコン 1.5x]または[テレコン 2.0x]を選ぶ
2. MENU を押す



3 ズームレバーで画角を調節し、撮影する

・液晶モニターに T が表示されます。
・記録画素数によっては、画像が粗くなります（T と倍率が青色で表示されます）。



ストロボを使って撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

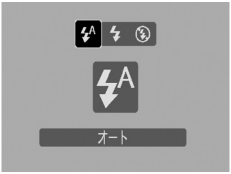
撮影モード AUTO SCN* P Tv Av M

* では設定できません。

1 を押す

1. ◆/◆ でストロボのモードを変更する

：[オート]
：[常時発光]
：[発光禁止]



手ぶれ警告アイコン（）が表示されたときは、三脚などでカメラを固定して撮影することをおすすめします。

至近距離（マクロ）で撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 270）

撮影モード AUTO SCN* P Tv Av M

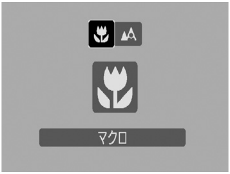
* 、、、 では設定できません。

花や小さなものなどに近付いて大きく撮れます。被写体に最も近付いたときの撮影範囲（撮影距離）は、最も広角側で 28 × 20mm（レンズ先端から 1cm）です。

1 を押す

1. ←/→ で を選ぶ

・ズーム操作中にズームバーが表示されます。マクロモードでピントが合わないズーム領域には黄色いバーが表示され、 はグレー表示になり、通常撮影と同じ撮影範囲になります。





解除のしかた： ボタンを押し、←/→ で （通常）を選ぶ

- マクロモードでは、液晶モニターを使って撮影してください。ファインダーを使うと、撮影範囲がずれます。
- マクロモードで撮影するときにストロボを使うと、画像の周辺部が暗くなることがあります。

セルフタイマーを使って撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN*1 *2 *2 P Tv Av M

*1 、 、 では は設定できません。
*2 は設定できません。

撮影の開始時間や撮影枚数を設定して撮影できます。

	10 秒：シャッターボタンを押してから、10 秒後に撮影します。 ・撮影の 2 秒前になるとセルフタイマー音が速く鳴り*、セルフタイマーランプの点滅も速くなります。
	2 秒：シャッターボタンを押してから、2 秒後に撮影します。 ・シャッターボタンを押すと同時にセルフタイマー音が速く鳴り*、2 秒後に撮影されます。
	カスタム：セルフタイマーの開始時間（0 〜 10、15、20、30 秒後）や撮影枚数（1 〜 10 枚）を変更して撮影できます。 ・［時間］が 2 秒以上の場合、セルフタイマー音は撮影の 2 秒前から速く鳴り始めます*。［枚数］で複数画像を設定したときは、1 画像目の撮影時のみセルフタイマー音が鳴ります。

* マイカメラコンテンツの設定により異なります。

1 を押す

1. ▲/▼ でセルフタイマーモードを変更する



2 撮影する

・シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが点滅（赤目緩和機能設定時は、撮影の 2 秒前から点灯）します。

解除のしかた：を選ぶ

撮影開始時間と撮影枚数を変更する（Ｃ）

1 [セルフタイマー]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [●]メニューから、▲/▼ で[セルフタイマー]を選ぶ
3. FUNC./SET を押す



2 設定する

1. ▲/▼ で[時間]または[枚数]を選び、◀/▶ で設定内容を変更する
2. FUNC./SET を押す
3. MENU を押す



[枚数] が 2 枚以上の場合、次のようになります。
- 1 画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。
- ストロボが発光するときは、撮影間隔が長くなります。
- カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなることがあります。
- カードの容量がいっぱいになると自動的に撮影を終了します。

記録画素数 / 圧縮率を変更する（静止画）

➔ 各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 270）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

1 記録画素数を選ぶ

1. FUNC. SET を押す
2. ▲/▼ で L を選び、◀/▶ で記録画素数を変更する
3. FUNC. SET を押す



2 圧縮率を選ぶ

1. FUNC. SET を押す
2. ▲/▼ で ◢ を選び、◀/▶ で圧縮率を変更する
3. FUNC. SET を押す



■ 記録画素数を選ぶときの目安

記録画素数				用途
L ラージ	12M	4000 × 3000	大きい	A2 サイズ程度に印刷するとき
M1 ミドル 1	8M	3264 × 2448	↕	A3 サイズ程度に印刷するとき
M2 ミドル 2	5M	2592 × 1944		A4 サイズ程度に印刷するとき
M3 ミドル 3	2M	1600 × 1200		L 判やはがきサイズに印刷するとき
S スモール	0.3M	640 × 480	小さい	電子メールで画像を送るとき、またはより多くの画像を撮影するとき
W ワイド	4000 × 2248		ワイドサイズの用紙に印刷するとき（縦横比 16：9 の画像を確認でき、記録されない領域は、液晶モニター上に黒帯が表示されます。）	
RAW ロウ	4000 × 3000		p. 79	

▒ ：おおよその記録画素数を示しています。「M」は、Megapixel の略です。

■圧縮率を選ぶときの目安

圧縮率		用途
スーパーファイン	きれい	より良い画質で撮影するとき
ファイン	↕	通常の撮影をするとき
ノーマル	普通	より多くの画像を撮影するとき

● カードの種類と記録可能画像数 / 時間（目安）（p. 254）
● 1 画像の容量（目安）（p. 256）

画像タイプを変更する

➔各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

このカメラでは、JPEG 画像と RAW 画像を記録できます。

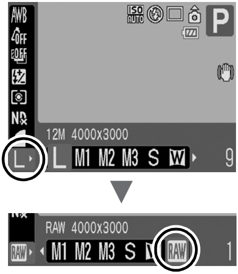
JPEG 画像（L / M1 / M2 / M3 / S / W）
最適な画質になるようにカメラ内で画像処理を行うとともに、カードに多くの画像を記録できるように、ファイルサイズを圧縮します。ただし非可逆圧縮方式のため、圧縮前と完全に同一のデータを復元することはできません。設定方法は「記録画素数 / 圧縮率を変更する（静止画）」（p. 78）でご確認ください。

RAW 画像（RAW）
撮像素子から出力されたデータをデジタル変換してそのまま記録した「生データ」です。そのため、画質劣化がほとんどなく、JPEG より高品位な画像が得られます。付属のソフトウェア（ZoomBrowser EX/ ImageBrowser）を使わないとパソコンで見ることができませんが、画質劣化することなく幅広い画像調整を行うことができます。また、付属のソフトウェアの現像処理機能により、調整結果を反映した、使用目的に最適な JPEG 画像、TIFF 画像などを生成することができます。なお、RAW で撮影した画像は、ダイレクトプリントや印刷指定（DPOF）を行うことはできません。

Windows XP で RAW 画像および同時記録された JPEG 画像を取り込む場合は、必ず付属のソフトウェアをお使いください。

1 RAW を選ぶ

1. FUNC. SET を押す
2. ▲/▼ で L を選び、◀/▶ で RAW を選ぶ
3. FUNC. SET を押す



RAW 画像と JPEG 画像を同時に記録する

入	1 回の撮影で RAW 画像（RAW）と JPEG 画像（L / ラージ・ファイン）の 2 つの画像が記録されます。画像として完成している L も記録されますので、付属のソフトウェアを使わなくてもパソコンで見たり、印刷したりすることができます。なお、この 2 つの画像は同じ画像番号で同じフォルダに保存されますので、画像番号に付いている画像タイプ（拡張子）で判別してください。RAW の画像タイプは「CR2」、L の画像タイプは「JPG」です。
切	RAW 画像でのみ記録します。

1 [RAW + L 記録]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [📷]メニューから、▲/▼ で [RAW + L 記録]を選ぶ



2 設定する

1. ◀/▶ で[入]または[切]を選ぶ
2. MENU を押す



手ぶれ補正を設定する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN * P Tv Av M

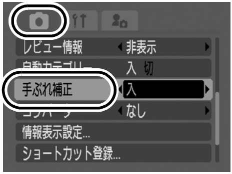
＊［入］のみ設定できます。

レンズシフト式手ぶれ補正を使うと、遠くの被写体を大きくして撮影したいときや、薄暗い場所でストロボを発光せずに撮影するときでも手ぶれを抑えた撮影ができます。

入	常時、手ぶれを補正します。液晶モニターで手ぶれ補正の効果を確認できるため、構図を決めたり、ピント合わせがしやすくなります。
撮影時	シャッターがきれる瞬間のみ手ぶれを補正します。［入］に設定した場合に被写体によっては感じることのある、液晶モニター上の不自然な揺れを気にせずに撮影できます。
流し撮り	カメラが上下方向にぶれたときにだけ、手ぶれを補正します。横方向に動いているものを、カメラで追いかけて撮影するときにおすすめします。

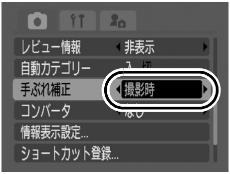
1 [手ぶれ補正]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [●]メニューから、▲/▼ で[手ぶれ補正]を選ぶ



2 設定する

1. ◆/◆ で[入]、[撮影時]、[流し撮り]、[切]のいずれかを選ぶ
2. MENU を押す



液晶モニターのアイコン表示

［入］	［撮影時］	［流し撮り］	撮影メニューの［コンバータ］の設定	参照先
			なし	—
			WC-DC58B	p. 236
			TC-DC58C	

- シャッタースピードが遅くなる撮影では、手ぶれを補正しきれないことがあります。三脚を使って撮影してください。
- 手ぶれが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- ［流し撮り］は、カメラを横に構えてお使いください（カメラを縦に構えると補正を行いません）。
- ［撮影時］または［流し撮り］に設定後、動画を撮影する場合は［入］に設定変更されます。

ISO 感度を変更する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN* P Tv Av M

* ISO 3200 のみ設定できます。

暗いところで手ぶれを抑えたり、被写体ぶれを抑えるためにシャッタースピードを速くしたいとき、あるいはストロボをオフにして撮影したいときには、ISO 感度を上げます。

撮影モード / ISO 感度	AUTO	SCN ISO 3200	P	Tv	Av	M
AUTO	○	–	○	○	○	–*2
HI	○	–	○	–*1	–*1	–*2
ISO 80	–*1	–	○	○	○	○
ISO 100	–*1	–	○	○	○	○
ISO 200	–*1	–	○	○	○	○
ISO 400	–*1	–	○	○	○	○
ISO 800	–*1	–	○	○	○	○
ISO 1600	–*1	–	○	○	○	○
ISO 3200	–	○*3	–	–	–	–

○: 設定可
*1 ISO 感度が AUTO に設定されます。
*2 ISO 感度が 80 に設定されます。
*3 ISO 3200 の設定方法（p. 86）

1 ISO ダイヤルで ISO 感度を選ぶ

・設定可能な ISO 感度を選ぶと、ISO ランプが橙色に点灯します。
・ISO AUTO（オート）を選ぶと、撮影時の明るさに応じて画質を優先した最適な感度に設定されます。暗いところでは自動的に感度が上がるためシャッタースピードが速めになり、手ぶれが低減されます。
・ISO HI（高感度オート）*を選ぶと、ISO AUTO よりも感度が高めに設定されます。そのため、シャッタースピードがより速めになり、同じシーンを撮影しても ISO AUTO に比べ、手ぶれや被写体ぶれが低減されます。

＊ISO AUTO に比べて撮影画像にノイズが増えることがあります。

- SCN（ISO 3200 を除く）、、のときは、ISO AUTO しか選べません。
- ISO AUTO または ISO HI に設定した場合、シャッターボタンを半押ししたときや再生情報には、カメラが自動的に設定した ISO 感度が表示されます。
- 高い ISO 感度で撮影する場合には、カメラが自動的にノイズを低減する処理を行います。

ピントや人物の表情を確認する（フォーカスチェッカー）

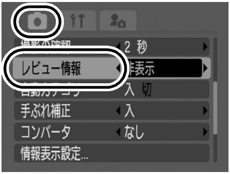
➔ 各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 270）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

撮影した画像のピントが確認できます。また、AF フレームモードを［顔優先］（p. 113）で撮影したときは、顔の大きさに合わせた枠が表示されますので、顔の表情や目を閉じていないかなども、かんたんに確認できます。
なお、あらかじめ［ ］メニューの［撮影の確認］で、［ホールド］に設定することをおすすめします。

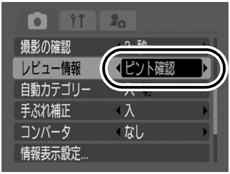
1 [レビュー情報]選ぶ

1. MENU を押す
2. [●] メニューから、▲/▼ で[レビュー情報]を選ぶ



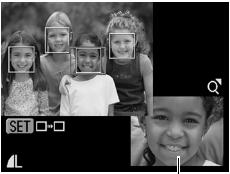
2 設定する

1. ◀/▶ で[ピント確認]を選ぶ
2. MENU を押す



3 撮影する

・撮影した画像が表示されます。
・枠が次のとおりに表示されます。



橙色の枠内表示

枠の色	内容
橙	右下に表示された画像の範囲を表示します。
白	ピントの合った位置に表示されます（AF フレーム）。

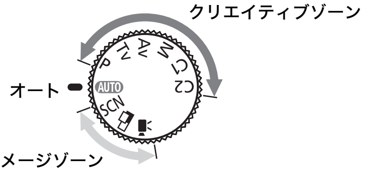
・橙色の枠は、表示倍率の変更、表示位置の移動、表示フレームの切り換えができます（p. 160）。

解除のしかた：シャッターボタンを半押しする

- 画像の表示中に、🗑ボタンを押すと画像を消去できます（p. 23）。
- 再生モードでも、ピントの確認ができます（p. 159）。

モードダイヤルを使った撮影

モードダイヤル



■ オート

AUTO：カメラまかせで撮影できます（p. 16）。

■ イメージゾーン

撮影状況に応じた撮影モードを選択すると、最適な撮影ができるように、カメラが自動的に設定を行います。

SCN：スペシャルシーン

- ：ポートレート
- ：風景
- ：夜景
- ：スポーツ
- ：ナイトスナップ
- ：キッズ&ペット
- ：パーティー / 室内
- ：新緑 / 紅葉
- ：スノー
- ：ビーチ
- ：打上げ花火
- ：水族館
- ：水中
- ：ISO 3200
- ：ワンポイントカラー
- ：スイッチカラー

：スティッチアシスト（p. 97）

：動画（p. 20、99）

■ クリエイティブゾーン

シャッタースピードや絞り数値を選択するなど、思いどおりのさまざまな撮影ができます。

P：プログラム AE で撮る（p. 91）
Tv：シャッタースピードを決めて撮る（p. 92）
Av：絞りを決めて撮る（p. 94）
M：自由にシャッタースピード / 絞りを決めて撮る（p. 96）
C1、C2：カスタム登録する（p. 106）

撮影シーンに合わせて撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

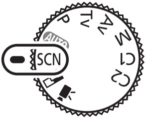
撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

撮影状況に応じた撮影モードを選択すると、最適な撮影ができるように、カメラが自動的に設定を行います。

SCN(スペシャルシーン)

撮影シーンに最適な撮影ができます。

1 モードダイヤルをSCNに合わせる



2 撮影モードを選ぶ

1. コントローラーホイールを回して選ぶ





ポートレート

背景をぼかして人物を浮き立たせます。



風景

近景から遠景まで奥行きのあるシーンの撮影に最適です。



夜景

夕暮れや夜景をバックにした人物を撮影できます。人物にストロボ光をあて、遅いシャッタースピードで撮影するため、人物、背景ともきれいに撮影できます。



スポーツ

オートフォーカスをしながら連続撮影できます。動きのある被写体を撮影するのに適しています。



ナイトスナップ

夕暮れや夜景をバックに人物をスナップ撮影したいとき、三脚がなくても手ぶれを少なく撮影できます。



キッズ&ペット

よく動きまわる子供やペットを、シャッターチャンスを逃さずに撮影できます。



パーティー / 室内

蛍光灯や電球のもとで、手ぶれをおさえて被写体に忠実な色味で撮影できます。



新緑 / 紅葉

新緑、紅葉、桜など、木々や葉を色鮮やかに撮影できます。



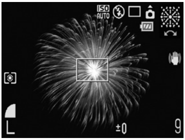
スノー

雪景色をバックにしても人物が暗くならず、青みも残らないで撮影できます。



ビーチ

太陽光の反射の強い海面や砂浜でも、人物などが暗くならずに撮影できます。



打上げ花火

打上げ花火を最適な露出で鮮やかに撮影できます。



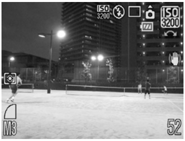
水族館

屋内の水槽内の魚などを撮影するのに適した感度、ホワイトバランス、色味に設定されます。



水中

ウォータープルーフケース WP-DC21（別売）を使った水中での撮影に最適です。水中に最適なホワイトバランスに設定され、青みをおさえた自然な色合いで撮影できます。



ISO 3200

ISO 感度が 3200 に設定されます。より高感度に設定したいときに使用します（ISO 1600 比で 2 倍）。被写体ぶれや手ぶれを抑えて撮影できます。

記録画素数は M3（1600 × 1200）に固定されます。



ワンポイントカラー

画面内の指定した色以外を白黒にして撮影できます（p. 141）。



スイッチカラー

画面内の指定した色を別の色に変更して撮影できます（p. 142）。

- 、では、シャッタースピードが遅くなります。手ぶれを防ぐために必ず三脚をお使いください。
- 、、、、、、、、では、撮影シーンによっては、ISO 感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。

水中で撮影する場合は、ウォータープルーフケース WP-DC21（別売）を装着してください。なお、雨天時や、海辺、スキー場などで撮影する場合も、装着をおすすめします。

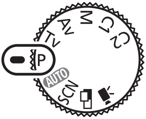
Pプログラム AE で撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード	AUTO SCN P Tv Av M

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り数値をカメラが自動的に設定します。ISO 感度、露出補正、ホワイトバランスなどの設定ができます。

1 モードダイヤルをPに合わせる



2 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに適正露出が得られないと、シャッタースピードと絞り数値が赤字で表示されます。次の方法で撮影すると、適正露出が得られ、白字で表示されることがあります。
  - ストロボを使用する（p. 74）
  - ISO 感度を変更する（p. 83）
  - 測光方式を変更する（p. 133）
  - ND フィルターを［入］にする（p. 129）
- 同じ露出でシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変えることができます（p. 126）。

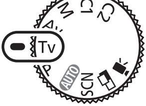
Tv シャッタースピードを決めて撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN Tv Av M

シャッタースピードを選ぶと、被写体の明るさに応じて、カメラが適正露出になる絞り数値を自動的に設定します。
シャッタースピードを速くすると、動きの速い被写体の瞬間をとらえることができ、シャッタースピードを遅くすると流動感を表現したり、暗いところでもストロボを発光せずに撮影できます。

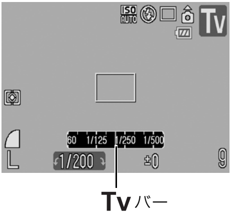
1 モードダイヤルをTvに合わせる



2 シャッタースピードを設定する

1. コントローラーホイールを回してシャッタースピードを変更する

・コントローラーホイールを回すとTvバーが表示され、シャッタースピードを確認しながら変更できます。



3 撮影する

・シャッターボタンを半押ししたときに絞り数値が赤字で表示される場合は、露出アンダー（露出不足）または露出オーバー（露出過多）です。白字で表示されるまで、コントローラーホイールを回してシャッタースピードを調節してください。

シャッタースピードが遅くなると、CCD の特性により撮影した画像にノイズが増えますが、シャッタースピードが 1.3 秒以上のときに、このノイズを除去する処理を行い、高画質が得られます（ただし、次の撮影までにしばらく時間がかかります）。

- ズームによって、絞り数値とシャッタースピードは次のように変わります。

	絞り数値	シャッタースピード(秒)
ワイド端	F2.8	15 ～ 1/1600
	F3.2 ～ 3.5	15 ～ 1/2000
	F4.0 ～ 8.0 *	15 ～ 1/2500
テレ端	F4.8	15 ～ 1/1600
	F5.6 ～ 6.3	15 ～ 1/2000
	F7.1 ～ 8.0 *	15 ～ 1/2500

＊ AUTO では、撮影状況によって、F11 まで設定される場合があります。

- ストロボ発光時に有効なシャッタースピードは、最高で 1/500 秒です。1/500 秒よりも高速のシャッタースピードを設定した場合は、自動的に 1/500 秒に再設定され、撮影されます。

シャッタースピードの表示

- 以下のシャッタースピードに設定できます。1/160 は 1/160 秒を表します。また、0"3は0.3秒を、2"は2秒を表しています。

15" 13" 10" 8" 6" 5" 4" 3"2 2"5 2" 1"6 1"3 1" 0"8 0"6 0"5 0"4 0"3 1/4 1/5 1/6 1/8 1/10 1/13 1/15 1/20 1/25 1/30 1/40 1/50 1/60 1/80 1/100 1/125 1/160 1/200 1/250 1/320 1/400 1/500 1/640 1/800 1/1000 1/1250 1/1600 1/2000 1/2500

- 同じ露出でシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変えることができます（p. 126）。

セーフティシフト

［ ］メニューの［セーフティシフト］を［入］にすると（p. 49）、シャッターボタンを半押ししたときに適正露出を得られない場合には、自動的にシャッタースピードまたは絞り数値をシフトして、適正露出で撮影できます。なお、ストロボ発光時は機能しません。

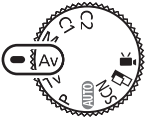
Av 絞りを決めて撮る

➔ 各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN P Tv **Av** M

絞りとは、レンズを通して入ってくる光の量を調節するものです。絞り数値を選ぶと、被写体の明るさに応じてカメラが適正露出になるシャッタースピードを自動的に設定します。
絞り数値を小さくする（絞りを開く）と、背景をぼかした美しいポートレートが撮影できます。
絞り数値を大きくする（絞りを閉じる）と、奥行きのある風景の手前から遠くまでが鮮明に写ります。数値を大きくするほど、鮮明に写る範囲が広くなります。

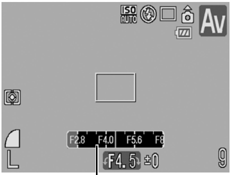
1 モードダイヤルをAvに合わせる



2 絞り数値を設定する

1. コントローラーホイールを回して変更する

・コントローラーホイールを回すと **Av** バーが表示され、絞り数値を確認しながら変更できます。



Av バー

3 撮影する

・シャッターボタンを半押ししたときにシャッタースピードが赤字で表示される場合は、露出アンダー（露出不足）または露出オーバー（露出過多）です。白字で表示されるまで、コントローラーホイールを回して絞り数値を調節してください。

ズーム位置によっては選べない絞り数値があります（p. 93）。

- ストロボ同調シャッタースピードは、1/60 ～ 1/500 秒になります。したがって、あらかじめ絞り数値を設定していても、ストロボ同調シャッタースピードに応じて絞り数値が自動的に変更されることがあります。

絞り数値の表示

- 表示された数値が大きくなるほど、レンズの絞り径は小さくなります

F2.8 F3.2 F3.5 F4.0 F4.5 F4.8 F5.0 F5.6 F6.3 F7.1 F8.0

- 同じ露出でシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変えることができます（p. 126）。

セーフティシフト

［ ］メニューの［セーフティシフト］を［入］にすると（p. 49）、シャッターボタンを半押ししたときに適正露出を得られない場合には、自動的にシャッタースピードまたは絞り数値をシフトして、適正露出で撮影できます。なお、ストロボ発光時は機能しません。

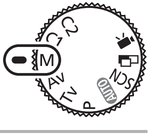
M 自由にシャッタースピード / 絞りを決めて撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

シャッタースピードや絞り数値を自分で決定し、撮影します。

1 モードダイヤルをMに合わせる

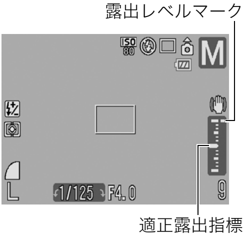


2 シャッタースピードと絞り数値を設定する

1. を押して、シャッタースピードまたは絞り数値を選ぶ
2. コントローラーホイールを回して変更する

・コントローラーホイールを回すとTvバーまたはAvバーが表示され、数値を確認しながら変更できます。

3 撮影する



・露出レベルマークが表示され、適正露出*からのずれを確認できます。このずれが±2段を超えると、露出レベルマークが赤で表示されます。

・シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターに適正露出*からのずれが数字で表示されます。このずれが±2段を超えると、液晶モニターに、「−2」または「+2」と赤字で表示されます。

＊設定されている測光方式をもとに測光を行って、適正露出を算出します。

・ボタンを押すと、自動的にシャッタースピードまたは絞り数値がシフトして適正露出に設定されます（MFアイコン選択時を除く）。このとき、シャッタースピードが選択されている場合は絞り数値が変更され、絞り数値が選択されている場合はシャッタースピードが変更されます。

- 数値設定後にズームを調節すると、ズーム位置に応じてシャッタースピードや絞り数値が変更される場合があります（p. 93）。
- 液晶モニターは、設定した絞り数値とシャッタースピードに応じた明るさで表示されます。速いシャッタースピードを設定した場合や、被写体が暗い場合、ストロボを（常時発光）にするか、外付けストロボを取り付けると、常に明るく表示されます。

パノラマ画像を撮る（スティッチアシスト）

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 270）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

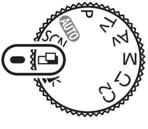
スティッチアシストは、撮影した画像をパソコンで合成（スティッチ）し、パノラマ画像を作るときに使います。





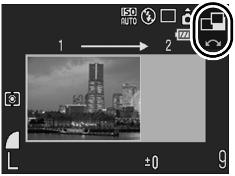
複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作成できます。

1 モードダイヤルをに合わせる



2 **撮影の方向を選ぶ**

1. コントローラーホイールを回して撮影する方向を選ぶ



次の 5 つの方向が選べます。
- → 左から右方向へ水平に撮影します。
- ← 右から左方向へ水平に撮影します。
- ↑ 下から上へ垂直に撮影します。
- ↓ 上から下へ垂直に撮影します。
- 左上を基点に時計回りに 4 画像撮影します。

3 **最初の画像を撮影する**

- 1 画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。



4 **最初の画像にオーバーラップさせて、次の画像を撮影する**

- ▲/▼ または◀/▶ ボタンを押すと、1 つ前の撮影済みの画像に戻り、撮影のやり直しができます。
- オーバーラップは多少ずれても、合成時に修正されます。

5 **同様の操作で 3 画像目以降を撮影する**

- 最大 26 画像まで撮影できます。

6 **最後の画像を撮影後、FUNC. SET を押す**

- 画像をテレビに表示しながらの撮影はできません。
- 2画像目以降の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。

- パソコンでの画像合成は、付属のソフトウェア「PhotoStitch」をお使いください。
- ボタンを押すと、以下のように設定できる項目が切り換わります。
  - 露出補正 / 撮影方向の選択

動画を撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

動画撮影には、次のモードがあります。
記録可能時間は、お使いのカードによって異なります（p. 255）。

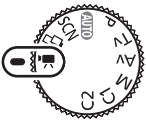
スタンダード	
	記録画素数を選び、カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます*1。また、撮影中にデジタルズームが使えます（p. 70）。
	・1 回の最大記録容量：4GB *2
ラージ	
	パソコンのモニターで大きく見るときに使います。
	・1 回の最大記録容量：4GB *2
ライト	
	記録画素数が小さく容量が少ないため、メールに添付したり、カードの容量が少ないときなどに使うと便利です。
	・1 回の最長記録時間：3 分
ワンポイントカラー、スイッチカラー	
	画像の指定した色以外を白黒にしたり、指定した色を別の色に変えて撮影できます（p. 141、142）。スタンダードと同様に、記録画素数を選び、カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます*1。
	・1 回の最大記録容量：4GB *2

インターバル	
	撮影の間隔（1 秒または 2 秒）を選び、その間隔で 1 フレームずつ撮影します。2 時間撮影した場合は、8 分（撮影間隔 1 秒）または 4 分（撮影間隔 2 秒）に短縮して再生されます。開花する植物の観測などの定点観測を動画で記録でき、変化する様子を短時間で見ることができます。音声の記録はできません。
	・1 回の最長記録時間：2 時間

＊1 超高速のカード使用時（推奨カード：SDC-512MSH）

＊2 記録容量が 4GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止します。カードの容量、データ書き込み速度により、4GB または 1 時間に満たなくても記録を停止する場合があります。

1 モードダイヤルを に合わせる



2 撮影モードを選ぶ

1. コントローラーホイールを回して選ぶ



3 撮影する

・シャッターボタンを半押しすると、露出、フォーカス、ホワイトバランスを自動設定します。
・シャッターボタンを全押しすると撮影が開始され、同時に音声も記録されます。
・撮影中は、液晶モニターに撮影時間と［●録画］が表示されます。のときは、ランプが緑色に点滅します。
・再度シャッターボタンを全押しすると、撮影が終了します。なお、以下の場合は自動的に撮影が終了します。
 - 最長記録時間や最大記録容量を超えたとき
 - カメラ内部のメモリーやカードの容量がいっぱいになったとき
・を再生するとき、液晶モニターには録画開始から終了までの経過時間が表示されますが、実際の再生時間は表示時間より短縮されます。

- 動画を撮影するときは、このカメラで初期化したカードをお使いください（p. 69）。付属のカードはそのままお使いになれます。
- 撮影中は、次のことに注意してください。
  - マイク（p. 42）に触れないでください。
  - ボタンなどを押すとその音も記録されてしまいます。
  - 撮影状況に応じて、カメラが自動的に適切な露出、ホワイトバランスを調整します。カメラが自動的に露出を調整する音が、一緒に記録される場合もあります。
- フォーカス、光学ズームは、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。

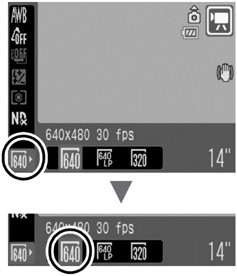
- 動画撮影前に、以下の操作ができます。
  - AF ロック：MF ボタンを押すと、その状態で AF ロックします。液晶モニターに MF と MF インジケーターが表示され、被写体までの距離を確認できます。もう一度MF ボタンを押すと解除できます。
  - マニュアルフォーカス（p. 121）
  - AE ロック、露出シフト：✱ボタンを押すと、その状態で AE ロックします。液晶モニターに露出シフトバーが表示され、コントローラーホイールを回して露出を変更できます。もう一度✱ボタンを押すと解除できます。また、MENU ボタンを押したり、ホワイトバランス、マイカラー、撮影モードを変更すると解除されます。
- のときは、節電の設定（p. 45）に応じて液晶モニターが消えます。電源スイッチとシャッターボタン以外を操作すると、液晶モニターがつきます。
- 動画（タイプ：AVI、圧縮方法：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime が必要です (Windows 2000 のみ)。

記録画素数を変更する

（スタンダード）または（ワンポイントカラー）、（スイッチカラー）のときは、記録画素数を変更できます。

1 記録画素数を選ぶ

1. FUNC./SET を押す
2. ↑/↓ で 640 を選び、←/→ で変更する
3. FUNC./SET を押す



記録画素数 / フレームレートについて

フレームレートは、1 秒間に撮影 / 再生するフレーム数を表します。フレームレートが高いほど滑らかな動きになります。

スタンダード ワンポイントカラー スイッチカラー	640 *1	640 × 480 画素、30 フレーム / 秒
	640 LP *2	640 × 480 画素、30 フレーム / 秒 LP
	320	320 × 240 画素、30 フレーム / 秒
ラージ	1024	1024 × 768 画素、15 フレーム / 秒
ライト	160	160 × 120 画素、15 フレーム / 秒
インターバル	640	640 × 480 画素、15 フレーム / 秒*3

*1 初期設定
*2 画質より撮影時間を優先したい場合は、[LP]（Long Play）の表示がある方を選んでください。同じファイル容量で約 2 倍の時間撮影ができます。
*3 再生時のフレームレートです。

- カードの種類と記録可能画像数 / 時間（目安）（p. 255）
- 1 画像の容量（目安）（p. 256）

撮影の間隔を変更する（[icon]（インターバル））

1 **[icon]を選ぶ**

1. コントローラーホイールを回して[icon]を選ぶ



2 **撮影間隔を選ぶ**

1. (FUNC. SET)を押す
2. ▲/▼で[1"]を選び、◀/▶で撮影間隔（1 秒 /2 秒）を選ぶ
3. (FUNC. SET)を押す

・撮影可能時間が表示されます。



撮影可能時間

録音の機能を設定する

➔ 各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN 🎥 P Tv Av M

録音レベル（録音音量）とウィンドカットを変更できます。

1 [オーディオ]を選ぶ

1. MENU を押す
2. ←/→ で[🔧]メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[オーディオ]を選ぶ
4. FUNC. SET を押す



2 マイクを設定する

1. ↑/↓ で[マイク]を選ぶ
2. ←/→ で[オート]または[マニュアル]を選ぶ

・[マニュアル] の場合、↓ボタンを押して、←/→ボタンで録音レベル（録音音量）を設定します。



3 ウィンドカットを設定する

1. ↑/↓ で[ウィンドカット]を選ぶ
2. ←/→ で[入]または[切]を選ぶ
3. MENU を押す

・風が強いときは［入］にすることをおすすめします。





- ［オート］の場合、音割れを軽減するために、録音音量を自動的に調整します。
- ウィンドカットは、風が強いときに発生する雑音を低減できます。

C カスタム登録する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

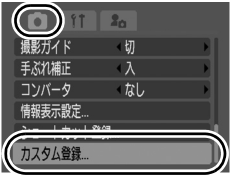
撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

よく使う撮影モードや撮影時のさまざまな設定を、あらかじめ**C**（カスタム）に登録しておくことができます。必要なときにモードダイヤルを**C1**または**C2**に合わせるだけで、事前に登録した設定内容で撮影できます。他の撮影モードに切り換えたり、電源を切ると解除されてしまう設定（連続撮影、セルフタイマーなど）も保持されます。

1 登録したい撮影モードにして内容を設定する

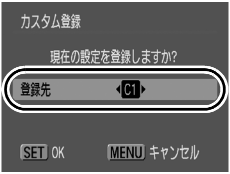
- **C1**/**C2**に登録できる機能
  - 撮影モード（**P**、**Tv**、**Av**、**M**）
  - **P**、**Tv**、**Av**、**M**で設定可能な項目（p. 91 ～ 97）
  - 撮影メニューの設定内容
  - ズーム位置
  - マニュアルフォーカス位置
- **C1**/**C2**に登録した設定の一部（撮影モード以外）を変更するときは、**C1**/**C2**を選びます。

2 ［カスタム登録］を選ぶ



1. MENU を押す
2. ［●］メニューから、▲/▼で［カスタム登録］を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

3 登録する



1. ←/→ で登録先［**C1**］または［**C2**］を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す
3. (MENU) を押す

- ISO 感度は登録できませんので、**C1**/ **C2** で撮影するときは、ISO ダイヤルで設定してください。
- 設定内容は、他の撮影モードには反映されません。
- 登録内容をリセットできます（p. 68）。

いろいろな撮影

連続して撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN*1 P Tv Av M

*1 では設定できません。

シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影できます。
なお、推奨カード*2をお使いの場合は、一定の撮影間隔でカードの容量がいっぱいになるまで連続して撮影（スムーズ連写）できます(p. 254)。

*2 推奨カード：
撮影の直前に物理フォーマット（p. 69）を行った超高速の SDC-512MSH（別売）
・当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。
・連続撮影が中断したときに、カードの容量が余る場合があります。

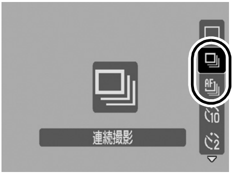
		撮影速度（画像 / 秒）	撮影中のフォーカス	液晶モニターの表示
	連続撮影 短い撮影間隔で連続撮影できます。	約 1.5 画像	固定*	撮影した画像
AF	AF 連続撮影 オートフォーカスしながら連続撮影できます。	約 0.7 画像	オートフォーカス	撮影直前の被写体
LV	LV (Live View) 連続撮影 マニュアルフォーカスで設定したピント位置を変えずに、被写体を確認しながら撮影できます。	約 0.8 画像	固定*	撮影直前の被写体

*1 画像目のピント位置で固定されます。

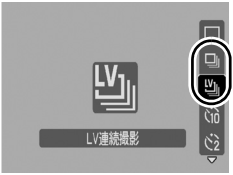
・ L（ラージ・ファイン）モード時

1 を押す

1. ▲/▼ でまたはを選ぶ



・、マニュアルフォーカス時はが選べます。



2 撮影する

・シャッターボタンを全押ししている間は、撮影が続きます。シャッターボタンを放すと、撮影が終了します。

解除のしかた：手順 1 でを選ぶ

- ではが初期設定になります。は設定できません。
- 、マニュアルフォーカス時は、は設定できません。
- フォーカスブラケット撮影および AEB 撮影では設定できません。
- 設定時、AF フレームは中央に固定されます。
- カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなります。
- 内蔵ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。

赤目緩和機能を設定する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN*1 P Tv Av M

*1 では設定できません。

ストロボ発光時、自動的に赤目緩和*2ランプを発光させるかどうかを設定します。

*2 ストロボの光が反射して目が赤く写るのを軽減する機能です。

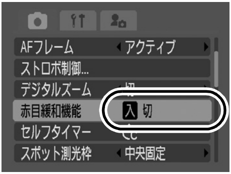
1 [赤目緩和機能]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ] メニューから、▲/▼ で[赤目緩和機能]を選ぶ



2 設定する

1. ◀/▶ で[入]または[切]を選ぶ
2. MENU を押す



スローシンクロを設定する

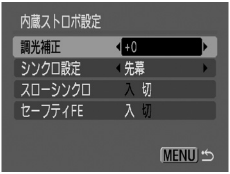
各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

遅いシャッタースピードで、ストロボを発光して撮影します。夜景や室内の照明を利用した撮影などで、背景だけが暗くなるのを軽減できます。

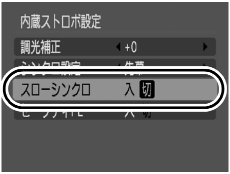
1 ストロボ設定画面を表示する

1. ⚡を長く(1 秒以上)押す



2 設定する

1. ▲/▼ で[スローシンクロ]を選び、◀/▶ で[入]または[切]を選ぶ
2. MENU を押す



- SCN モードの、、では［入］に固定されます。
- スローシンクロで撮影すると手ぶれしやすくなりますので、三脚をお使いになることをおすすめします。
- ［ ］メニューの［ストロボ制御］でも設定できます。

フォーカス設定を切り換えて撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN* P Tv Av M

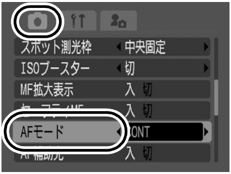
＊ では［CONT］に固定されます。
＊ 、 では［SINGLE］に固定されます。

AF フレームの設定を選択します。

CONT（コンティニュアス）	シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた位置へ常にピントを合わせます。とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。
SINGLE（シングル）	シャッターボタンを半押ししたときだけピントを合わせます。通常はピント合わせを行わないため、消費電力を抑えることができます。

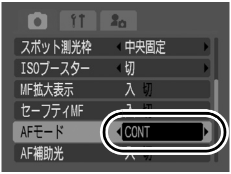
1 [AF モード]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ] メニューから、↑/↓ で[AF モード]を選ぶ



2 設定する

1. ←/→ で[CONT]または[SINGLE]を選ぶ
2. MENU を押す



AF フレームモードが［顔優先］［アクティブ］または［中央］のときに設定できます。［AiAF］のときは、［SINGLE］に固定されます（p. 113）。

AF フレームモードを選択する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN* P Tv Av M

* 、 では［中央］に固定されます。

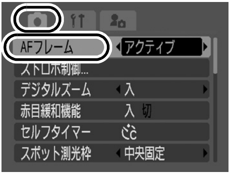
オートフォーカス枠（AF フレーム）は、ピントを合わせるための枠です。以下のように AF フレームを選択できます。

	顔優先	カメラが自動的に顔の位置を検出し、顔にピントと露出*を合わせた撮影ができます。またストロボ発光時は、顔の明るさが適正になるように調光します。 * 評価測光時のみ（p. 133）
	AiAF	撮影状況に応じて、9 つの AF フレームの中からカメラが自動的に AF フレームを選択してピントを合わせます。
□	中央	**撮影モード：AUTO/SCN** AF フレームが中央に固定されます。狙った被写体に確実にピントを合わせるときにおすすめします。
←□→	アクティブ	**撮影モード：P/Tv/Av/M** 任意の位置に AF フレームを移動してピントを合わせられます（アクティブフレームコントロール）。狙った被写体に確実にピントを合わせるときにおすすめします。

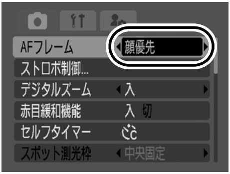
■［顔優先］を選ぶ

1 ［AF フレーム］を選ぶ

1. MENU を押す
2. ［ ］メニューから、▲/▼ で［AF フレーム］を選ぶ



2 設定する



1. ←/→ で[顔優先]を選ぶ
2. ◯(MENU) を押す

・カメラが顔と認識した位置に顔フレームが最大 3 つ表示されます。このとき、カメラが主被写体と判断した箇所に白色のフレーム、その他の箇所がグレーのフレームで表示されます。

・ピントを合わせたい人物を選ぶことができます（p. 115）。

3 撮影する

・シャッターボタンを半押しし、ピントが合った場合は、最大 9つまで緑色の AF フレームが表示されます。ただし、ピントが合いにくいときは、AF フレームが表示されません。

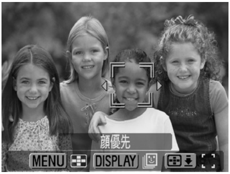
- 液晶モニター非表示時は、［顔優先］は設定できません。
- ボタンを押した後、MENU ボタン（または ボタン）で AF フレームモードを切り換えることもできます。再度 ボタンを押すと、設定が完了します。
- 白色のフレームが表示されずにグレーのフレームのみが表示された場合、または顔が検出されない場合は、AF モード（p. 112）の設定によって、ピントの合わせかたが次のように変わります。
  - ［SINGLE］選択時：9 つの AF フレームの中からカメラが自動的に AF フレームを選択してピントを合わせます。
  - ［CONT］選択時：中央の AF フレームでピントを合わせます。
- 人物以外の被写体を、カメラが誤って顔と検知することがあります。
- 顔が検出されない主な例は、次のとおりです。
  - 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るい
  - 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている

ピントを合わせたい人物を選ぶ（[顔優先]設定時）

指定した人物の顔にピントを合わせ、一定の範囲で追尾することができます（顔セレクト）。カメラが認識している顔にフレーム（最大 35 個）が表示されます。

1 **顔を認識している状態で ⊞ を押す**

・AF フレームが緑色の二重枠（[ ]）で表示されます。



2 **←/→ でピントを合わせたい人物を選ぶ**

・DISPLAY ボタンを押している間、カメラが認識している顔の数を確認できます。
・MENU ボタン（または ✱ ボタン）を押すたびに、AF フレームモードを切り換えられます。

3 **⊞ を押す**

・指定した顔に、AF フレームが白の二重枠（[ ]）で表示されます。
・シャッターボタンを半押しすると、緑色の AF フレームが表示されます。ただし、ピントが合いにくいときは黄色の AF フレームが表示されます。
・ ⊞ ボタンを押し続けると、顔の指定を解除します。

■ [AiAF]/[中央]/[アクティブ]を選ぶ

1 [AF フレーム]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ]メニューから、▲/▼ で[AF フレーム]を選ぶ



2 設定する

1. ◀/▶ で[AiAF]、[中央]、[アクティブ]のいずれかを選ぶ
2. MENU を押す

・AF フレームの大きさを変更する（p. 117）
・AF フレームを移動する（p. 118）



- ボタンを押した後、MENU ボタン（または ボタン）で AF フレームモードを切り換えることもできます。再度 ボタンを押すと、設定が完了します。
- 液晶モニター非表示時は、［アクティブ］は設定できません。［アクティブ］に設定していた場合は、［中央］に設定変更されます。
- シャッターボタンを半押ししたときの AF フレームの表示は、次のとおりです。
  - 緑色　：撮影準備完了
  - 黄色　：ピントが合いにくいとき（[中央]、[アクティブ] 設定時）
  - 非表示：ピントが合いにくいとき（[AiAF] 設定時）

AFフレームのサイズを変更する（[AiAF]または[アクティブ]設定時）

被写体に合わせて AF フレームの大きさを変更できます。狙った被写体が小さいときや、被写体の特定の部分にピントを合わせたいときに AF フレームを小さくすると、ピントを合わせたい範囲を絞り込めます。

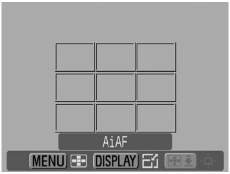
1 **を押す**

2 **DISPLAY を押す**

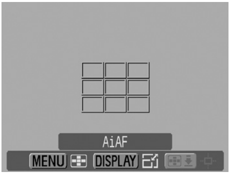
- DISPLAY ボタンを押すたびに、AF フレームの大きさが、標準↔小に切り換わります。
- シャッターボタンを半押ししたときにピントが合いにくい場合は、黄色の AF フレームが表示されます（AF フレームのサイズが小さい場合）。
- ボタンを押すと、設定が完了します。

画面例：[AiAF]設定時

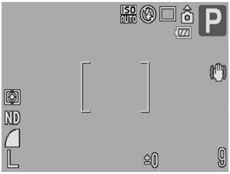
標準



小



- [AiAF] 設定時に AF フレームを小さくすると、液晶モニターの表示は右の画面のようになります。



デジタルズームやデジタルテレコン使用時、またはマニュアルフォーカス設定時は、標準のサイズに設定されます。

AFフレームの位置を変更する（[AiAF]または[アクティブ]設定時）

任意の位置に AF フレームを移動できます。狙った被写体に、より確実にピントを合わせることができます。

1 ⊞を押す

2 コントローラーホイールを回して AF フレームを移動し、⊞を押す

・▲/▼ または ◀/▶ ボタンを使うと、AF フレームの位置を微調整できます。
・⊞ ボタンを押し続けると、AF フレームが元の位置（中央）に戻ります。

- ［AiAF］設定時は、AF フレームを小さくしていると、AF フレームの移動ができます。
- 測光方式が［スポット測光］のときは、AF フレームをスポット測光枠と連動させることができます（p. 133）。
- マニュアルフォーカス中（p. 121）は、選択できません。
- 電源を切ると、AF フレームの位置は中央に戻ります。

ピントが合いにくい被写体を撮る(フォーカスロック、AF ロック、マニュアルフォーカス、セーフティMF)

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN* P Tv Av M

* では設定できません。

次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。
・コントラストが極端に低い被写体
・近いものと遠いものが混在する被写体
・画像中央部が極端に明るい被写体
・高速で移動する被写体
・ガラス越しの被写体：できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。

フォーカスロックで撮る

1 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、ファインダー中央または液晶モニターの AF フレームに収める

2 シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせる

3 そのままカメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しする

AF ロックで撮る

1 液晶モニターをつける

2 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、AF フレームに収める

3 シャッターボタンを半押ししながら、MF ボタンを押す

・MF と MF インジケーターが表示され、被写体までの距離を確認できます。

4 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：MF ボタンを押す

- AF ロックは、AUTO、[スポーツ]、[スティッチアシスト] では操作できません。なお、［ショートカット登録］に AF ロックを登録しておくと、[スティッチアシスト] で AF ロックをお使いになれます（p. 150）。
- [スティッチアシスト]、[動画] では AF フレームは表示されません。
- 液晶モニターを使って、フォーカスロックまたはAFロック撮影をする場合、［AF フレーム］を［中央］（p. 113）にすると、中央の AF フレーム 1 点だけが有効になるので、撮影しやすくなります。
- AFロックは、シャッターボタンを放して構図を決められるので便利です。また、撮影後も AF ロックされたままなので、同じピントですぐに次の撮影ができます。

マニュアルフォーカスで撮る

手動でピントを合わせて撮影します。

1 液晶モニターをつける

2 MF ボタンを押して、MFを表示する

MF インジケーター



・MF インジケーターが表示されます。
・［●］メニューの［MF 拡大表示］を［入］に設定すると、AF フレームを中心に画像が拡大表示*されます。なお、AF モード（p. 112）の設定が［CONT］の場合は、コントローラーホイールを回すと拡大表示されます。また、AF フレームモード（p. 113）の設定によって、拡大される位置が異なります。
　・［顔優先］、［AiAF］、［中央］のとき：液晶モニターの中央が拡大される
　・［アクティブ］のとき：マニュアルフォーカスを設定する直前に AF フレームを表示していた位置が拡大される

＊🎥、デジタルズーム時、デジタルテレコン時や、テレビに表示しているときは、拡大表示されません。
＊拡大表示しない設定にもできます（p. 49）。

・撮影モードによって、±ボタンを押すと、以下のように設定できる項目が切り換わります。

SCN	SCN モード / 露出補正* / MF
🎥	🎥 モード / 露出シフト / MF
P	露出補正 / MF
Tv	シャッタースピード / 露出補正 / MF
Av	絞り数値 / 露出補正 / MF
M	シャッタースピード / 絞り数値 / MF

＊ ISO 3200、A、S では設定できません。

3 **コントローラーホイールを回して、ピントを合わせる**

・MF インジケーターはピント位置の目安です。表示される数値を目安に撮影してください。

解除のしかた：MF ボタンを押す

AUTO、、 では操作できません。

マニュアルフォーカスと AF を組み合わせて撮る

初めにマニュアルフォーカスでおおよそのピントを合わせ、その位置の近傍を自動的にスキャンして、正確なフォーカス位置を検出できます。次の 2 つの方法があります。

■ ボタンで設定する

1 **マニュアルフォーカスでピントを合わせ、 ボタンを押す**

・最もピントの合う位置にフォーカスが微調整されます。

■ セーフティMF を設定する

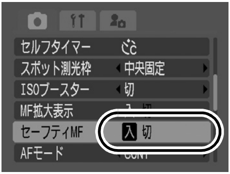
1 **[セーフティMF]を選ぶ**

1. MENU を押す
2. [ ] メニューから、▲/▼ で[セーフティMF]を選ぶ



2 設定する

1. ←/→ で[入]を選ぶ
2. MENU を押す



3 マニュアルフォーカスでピントを合わせてから、シャッターボタンを半押しする

・最もピントの合う位置にフォーカスが微調整されます。

4 そのままシャッターボタンを全押しして撮影する

AUTO、□□、(スポーツ)では操作できません。

フォーカスを自動的に変えて撮る（フォーカスブラケット撮影）

➔ 各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 270）

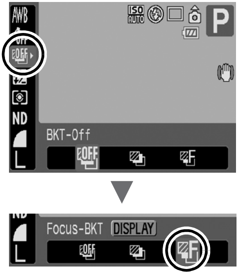
撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

マニュアルフォーカスで設定したピント位置を中心に、設定した後ろ寄りと前寄りのピント位置の順に自動的に 3 画像を撮影できます。3 画像は、連続撮影（p. 108）と同じ間隔で撮影されます。
後ろ寄り、前寄りのピント位置は、大・中・小の 3 段階で設定できます。

! ストロボ発光時はフォーカスブラケット撮影ができません。通常の 1 画像撮影になります。

1 フォーカスブラケットを選ぶ

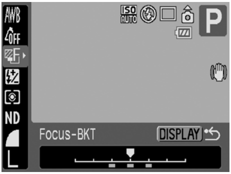
1. FUNC. SET を押す
2. ▲/▼ で BKT-Off を選び、◀/▶ で Focus-BKT を選ぶ
3. DISPLAY を押す



2 設定する

1. ◀/▶ でピント位置の変更量を設定する
2. FUNC. SET を押す

・▶ボタンを押すと間隔が広くなり、◀ボタンを押すと狭くなって、中心に近い位置でピントを合わせます。



3 マニュアルフォーカス（p. 121）で撮影する

解除のしかた：手順 1 で BKT-Off（BKT-Off）を選ぶ

✱露出を固定して撮る(AE ロック)

➔各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

露出とピントを別々に決めて撮影できます。被写体と背景のコントラストが極端に強いときや、逆光下での撮影などに有効です。

ストロボは必ず に設定し、ストロボを発光させないでください。ストロボ発光時は、FE ロックで撮影されます (p. 127)。

1 液晶モニターをつける

2 露出を固定したい被写体にカメラを向ける

3 シャッターボタンを半押しする

4 ✱ボタンを押す

・露出が固定されます。

5 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた:✱ボタン、コントローラーホイール、または ISO ダイヤル以外のボタンを操作する

AE ロック後に、露出を固定したまま ISO 感度を変更できます。

シャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変える

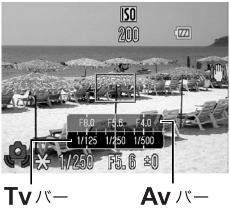
自動的に設定されたシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを、同じ露出のままで自由に変えて撮影できます（プログラムシフト）。

1 露出を固定したい被写体にカメラを向ける

2 シャッターボタンを半押しする

3 ✱ボタンを押す

・露出が固定されます。



4 コントローラーホイールを回して、シャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変える

5 構図を決め直して撮影する

・撮影が終了すると、設定は解除されます。

FE ロックで撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード	AUTO SCN P Tv Av M

被写体が構図のどこにあっても、適正な露出でストロボ撮影ができます。

1 液晶モニターをつける

2 を押して、(常時発光)を選ぶ

・外付けストロボをお使いの場合は、お使いのストロボの取扱説明書をご覧ください。

3 露出を固定したい被写体にカメラを向ける

4 シャッターボタンを半押しする

5 を押す

・ストロボがプリ発光し、露出が固定されます。

6 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：ボタンまたはコントローラーホイール以外のボタンを操作する

[発光モード]が[マニュアル]のときは、FE ロックできません。

露出を自動的に変えて撮る（AEB 撮影）

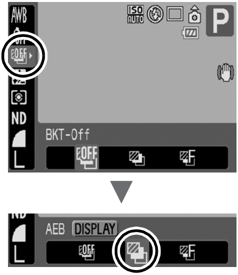
➔ 各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 270）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

設定した露出補正量の幅に従って、カメラが自動的に露出を変えながら、連続撮影（p. 108）と同じ間隔で 3 画像撮影します。標準露出、マイナス補正、プラス補正の順で撮影します。

1 AEB を選ぶ

1. FUNC./SET を押す
2. ▲/▼ で BKT-Off を選び、◀/▶ で AEB を選ぶ
3. DISPLAY を押す



2 露出の補正量を調整する

1. ◀/▶ で露出の補正量を調整する
2. FUNC./SET を押す

・補正量は、標準露出を中心に－ 2 ～＋ 2 段の範囲で 1/3 段ずつ設定できます。なお、すでに露出補正（p. 132）をしている場合は、その設定値を中心に設定できます。



解除のしかた：手順 1 で BKT-Off を選ぶ

ストロボ発光時は AEB 撮影ができません。通常の 1 画像撮影になります。

ND フィルターを使う

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 270）

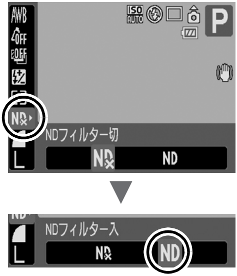
撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

光量を 1/8 に減少（3 段分）できるので、シャッタースピードを遅くしたり、絞り値を小さくしたりできます。

手ぶれを防ぐため、三脚を使って撮影してください。

1 ND を選ぶ

1. FUNC. SET を押す
2. ▲/▼ で ND を選び、◀/▶ で ND を選ぶ
3. FUNC. SET を押す



解除のしかた：ND を選ぶ

手ぶれを軽減して撮る(ISO ブースター)

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

撮影時に手ぶれ警告アイコン( )が表示されたとき、ISO 感度を上げ、手ぶれしにくいシャッタースピードで撮影することができます。

切	この機能を使用しません。
ボタン	変更前と変更後の ISO 感度やシャッタースピードを、液晶モニターで確認しながら撮影できます。
自動	手ぶれしにくい最適な感度に、自動的に設定されます。

- ISO HI、ISO 800、ISO 1600 のとき、およびストロボ発光時は動作しません。
- 撮影の状況によっては、ISO 感度を上げても、手ぶれ警告アイコン( )が消えないことがあります。

1 [ISO ブースター]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ]メニューから、▲/▼ で[ISO ブースター]を選ぶ



2 設定する

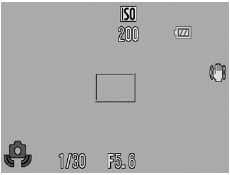
1. ◀/▶ で[ボタン]、[自動]、[切]を選ぶ
2. MENU を押す



■ 撮影する（[ボタン]のとき）

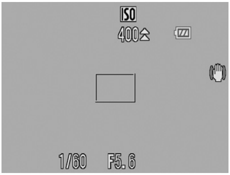
3 **シャッターボタンを半押しする**

・が表示されると、ボタンが青色に点灯します。



4 **シャッターボタンを半押ししたまま、を押す**

・変更後の ISO 感度が表示されます。
・シャッターボタンを半押しした状態で、再度ボタンを押すと、ISO 感度が元の設定に戻ります。
・ISO 感度が上がった後に AE ロック（p. 125）をすると、シャッターボタンを放しても、ISO 感度は元の設定に戻りません（このとき、ボタンは消灯します）。

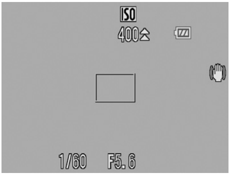


5 **そのままシャッターボタンを全押しして撮影する**

■ 撮影する（[自動]のとき）

3 **シャッターボタンを半押しする**

・撮影時の明るさに応じて、手ぶれしにくい最適な感度に設定されます。



4 **そのままシャッターボタンを全押しして撮影する**

露出を補正する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN* P Tv Av M

＊ では設定できません。

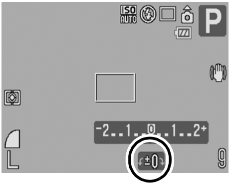
逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまう場合はプラス側に、夜景や背景が暗い場所での撮影で、被写体が明るくなってしまう場合にはマイナス側に露出を補正します。

1 液晶モニターをつける

2 を何回か押して、露出補正バーを表示する

3 補正する

1. コントローラーホイールを回して露出を補正する
2. を押す



・撮影モードによって、ボタンを押すたびに、以下のように設定できる項目が切り換わります。

SCN	SCN モード / 露出補正
	撮影方向 / 露出補正
Tv	シャッタースピード / 露出補正
Av	絞り数値 / 露出補正

解除のしかた：手順 3 で補正値を「0」に戻す

測光方式を切り換える

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

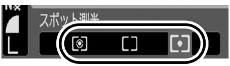
撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

評価測光アイコン	評価測光		逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を多分割して測光します。画面内の被写体の位置、明るさ、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主被写体を常に適正な露出で撮影します。
中央部重点平均測光アイコン	中央部重点平均測光		画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
スポット測光アイコン	スポット測光		「スポット測光枠」内を測光します。
		中央固定	スポット測光枠を液晶モニターの中央部に固定します。
		AF 枠連動	スポット測光枠を AF フレームに連動させます。AF フレームが［アクティブ］のときのみ設定できます（p. 113）。

1 測光方式を変更する

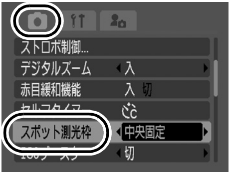
1. FUNC./SET を押す
2. ▲/▼ で 評価測光アイコン を選び、◀/▶ で変更する
3. FUNC./SET を押す





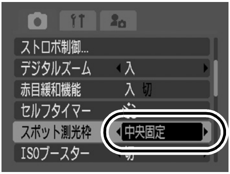
スポット測光枠を中央固定にする /AF フレームに連動させる

1 [スポット測光枠]を選ぶ



1. MENU を押す
2. [📷]メニューから、▲/▼ で[スポット測光枠]を選ぶ

2 設定する



1. ◀/▶ で[中央固定]または[AF 枠連動]を選ぶ
2. MENU を押す

・[中央固定] のときは、液晶モニター中央にスポット測光枠が表示されます。
・[AF 枠連動] のときは、選択している AF フレームの位置にスポット測光枠が表示されます。

色合いを調整する(ホワイトバランス)

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN * P Tv Av M

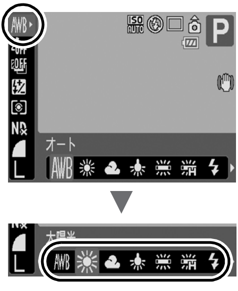
* 、 では設定できません。

通常は、AWB(オート) で最適なホワイトバランスが自動設定されます。AWB で自然な色合いにならないときは、ホワイトバランスを変更し、撮影時の光源に合った適正な色で撮影します。

AWB	オート	自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇天や日陰、薄暮
	電球	電球、電球色タイプ(3 波長型)の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ(3 波長型)の蛍光灯
	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ(3 波長型)の蛍光灯
	ストロボ	ストロボ使用時(では設定できません)
	水中	ウォータープルーフケース WP-DC21(別売)を使った水中での撮影に最適です。水中に最適なホワイトバランスに設定され、青みをおさえた自然な色合いで撮影できます。
	マニュアル	白い紙や布など白を基調としたものを取り込んで、最適な白データとしてカメラに記憶させてから撮影できます。

1 ホワイトバランスを選ぶ

1. FUNC. SET を押す
2. ▲/▼ で AWB を選び、◀/▶ で変更する
3. FUNC. SET を押す



マイカラーが Se BW の場合、ホワイトバランスは設定できません。

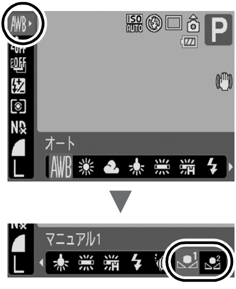
マニュアルホワイトバランスの使いかた

白い紙や布など、基準としたい白色をカメラに記憶させ、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定できます。
特に次のような場合、AWB（オート）では、ホワイトバランスが調整できないことがありますので、（マニュアル 1）または（マニュアル 2）で白データを取り込んでから撮影してください。

- ・至近距離（マクロ）で撮影するとき
- ・単一な色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき
- ・水銀灯などの特殊な光源で撮影するとき

1 または を選ぶ

1. FUNC. SET を押す
2. ▲/▼ で AWB を選び、◀/▶ で または を選ぶ



2 白い紙や布にカメラを向け、DISPLAY を押す



・液晶モニターを使用時は中央の枠いっぱいに、ファインダー使用時は、画面いっぱいに白い紙や布を表示させてください。ただし、デジタルズーム使用時やTが表示されているときは、中央の枠は表示されません。

3 FUNC. SET を押す

- 撮影モードをPにし、露出補正を± 0 にすることをおすすめします。適正露出でない場合（真っ黒や真っ白）は、白データを正しく取り込めないことがあります。
- 白データを取り込んだときと同じ条件で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスが設定できないことがあります。特に以下の条件は変更しないでください。
  - ISO 感度
  - ストロボ：常時発光または発光禁止にしておくことをおすすめします。オートで白データ取り込みの際にストロボが発光した場合は、撮影時もストロボを発光させてください。
- スティッチアシストでは、白データの取り込みはできません。あらかじめ他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。
- 取り込んだ白データは、電源を切っても記憶されます。

マイカラーで撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN * P Tv Av M

＊ 、 では設定できません。

画像の印象を変えて撮影できます。

OFF	マイカラー切	通常設定
V	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いにします。
N	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いにします。
Se	セピア	セピア色にします。
BW	白黒	白黒にします。
P	ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」・「あざやかグリーン」・「あざやかレッド」の効果を合わせたもので、青、緑、赤色をより鮮やかにします。ポジフィルムのようにナチュラルで色鮮やかな画像が撮影できます。
L	色白肌＊	人物の肌を色白にします。
D	褐色肌＊	人物の肌を褐色にします。
B	あざやかブルー	青色を強調します。空や海などの青い被写体をより鮮やかに撮影できます。
G	あざやかグリーン	緑色を強調します。山や新緑、草花、芝生などの緑の被写体をより鮮やかに撮影できます。
R	あざやかレッド	赤色を強調します。赤い花や赤い車などの赤い被写体をより鮮やかに撮影できます。
C	カスタムカラー	コントラスト / シャープネス / 色の濃さを調節したり、赤 / 緑 / 青 / 肌色＊のバランスを変更したりして撮影します。「青色をもう少し鮮やかに」や「顔色をもう少し明るく」といった微調整ができます。

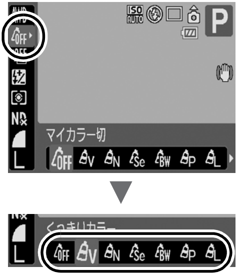
＊被写体に人物以外の肌色が含まれている場合は、その被写体の色も変更されることがあります。また、肌の色によっては、効果が現れない場合があります。

マイカラーを設定する（[C]以外）

1 マイカラーを設定する

1. [FUNC./SET] を押す
2. ▲/▼ で [OFF] を選び、◀/▶ で変更する
3. [FUNC./SET] を押す

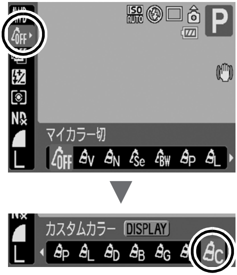
・撮影画面に戻り、撮影します。



マイカラーを設定する（[C]）

1 [C]を選ぶ

1. [FUNC./SET] を押す
2. ▲/▼ で [OFF] を選び、◀/▶ で [C] を選ぶ



2 調整する

1. DISPLAY を押す
2. ▲/▼ で[コントラスト]、[シャープネス]、[色の濃さ]、[赤]、[緑]、[青]、[肌色]のいずれかを選ぶ
3. ◀/▶ で調整する
   - ・調整結果が表示されます。
   - ・このとき、DISPLAY ボタンを押すと、マイカラーモードを選ぶ画面に戻ります。
4. FUNC. SET を押す
   - ・設定を終了します。



色を変えて撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 270）

撮影モード SCN

画像の色味を簡易的に変化させて撮影します。静止画だけでなく、動画でも利用でき、画像効果や映像効果を演出した撮影が楽しめます。ただし、撮影状況によっては、画像が粗くなったり、思い通りの色にならないことがあります。そのため、大切なシーンを撮影するときには、必ず事前に試し撮りすることをおすすめします。なお、静止画の場合には、［オリジナル保存］機能（p. 144）を［入］にすれば、撮影した画像だけでなく、オリジナル画像（元画像）も記録できます。

	ワンポイントカラー	画面内の指定した色のみを残し、それ以外を白黒にして撮影できます。
	スイッチカラー	画面内の指定した色を別の色に変更して撮影できます。別の色の取り込みは 1 色のみで、複数の色から選択はできません。

撮影シーンによっては、ISO 感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。

ワンポイントカラーモードで撮影する

1 **または を選ぶ**

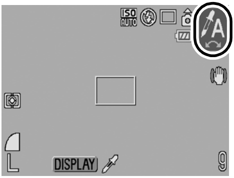
静止画のとき

1. モードダイヤルを**SCN**に合わせる
2. コントローラーホイールを回して を選ぶ

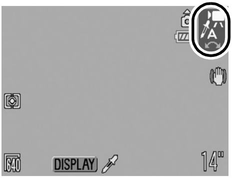
動画のとき

1. モードダイヤルを に合わせる
2. コントローラーホイールを回して を選ぶ

静止画時



動画時



2 **DISPLAY を押す**

・色取り込みモードになり、オリジナルの画像とワンポイントカラーの画像（前回設定した指定色が反映）が交互に表示されます。



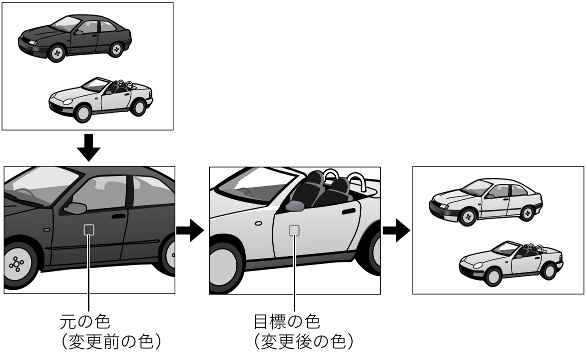
3 **液晶モニターの中央の枠内に、残したい色が入るようにカメラを向け、◆ボタンを押す**

・指定できるのは 1 色です。
・▲/▼ ボタンまたはコントローラーホイールで、残したい色の範囲を変更できます。
　－ 5：残したい色だけを取り込みます。
　＋ 5：残したい色に近い色も一緒に取り込みます。

4 **DISPLAY を押して設定を終了し、撮影する**

- 初期設定色は緑です。
- ストロボを発光して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色と色の取り込み範囲は、電源を切っても記憶されます。

スイッチカラーモードで撮影する



1 **または を選ぶ**

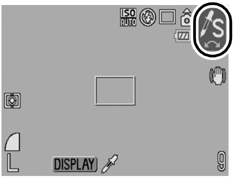
静止画のとき

1. モードダイヤルをSCNに合わせる
2. コントローラーホイールを回して を選ぶ

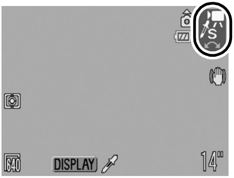
動画のとき

1. モードダイヤルを に合わせる
2. コントローラーホイールを回して を選ぶ

静止画時



動画時



2 DISPLAY を押す



・色取り込みモードになり、オリジナルの画像とスイッチカラーの画像（前回設定した指定色が反映）が交互に表示されます。

3 液晶モニターの中央の枠内に、元の色が入るようにカメラを向け、←ボタンを押す

・指定できるのは 1 色です。
・↑/↓ ボタンまたはコントローラーホイールを回して、変えたい色の範囲を変更できます。
　－ 5：変えたい色だけを取り込みます。
　＋ 5：変えたい色に近い色も一緒に取り込みます。

4 液晶モニターの中央の枠内に、目標の色が入るようにカメラを向け、→ボタンを押す

・指定できるのは 1 色です。

5 DISPLAY を押して設定を終了し、撮影する

- 初期設定色は、緑を白に変えて撮影するように設定されています。
- ストロボを発光して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色と色の取り込み範囲は、電源を切っても記憶されます。

オリジナル画像の保存方法を変更する

ワンポイントカラーやスイッチカラーで静止画を撮影するときは、色を変えた画像だけでなく、オリジナル画像（色を変える前の画像）も記録するかどうかを設定できます。

1 [オリジナル保存]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [📷]メニューから、▲/▼ で[オリジナル保存]を選ぶ



2 設定する

1. ◀/▶ で[入]または[切]を選ぶ
2. MENU を押す



・［入］の場合、画像番号は連番になります。オリジナル画像が早い番号、ワンポイントカラーやスイッチカラーで撮影した画像が後の番号です。

[オリジナル保存]を[入]に設定した場合

- 撮影時に液晶モニターに表示される画像は、ワンポイントカラーまたはスイッチカラーで設定している画像だけです。
- 撮影直後、液晶モニターには、ワンポイントカラーまたはスイッチカラーで撮影した画像が表示されます。このとき画像を消去すると、オリジナル画像も同時に消去されますので、十分に確認してから消去してください。
- 1 回の撮影で 2 画像記録されるため、液晶モニターに表示される記録可能画像数は、設定が［切］の場合の半分になります。

ストロボの自動調光設定を切り換える

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

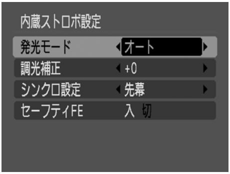
撮影モード AUTO SCN P* Tv Av M

＊外付けストロボ使用時のみ［マニュアル］を設定できます。

内蔵ストロボと外付けストロボ（スピードライト 220EX/430EX/580EX II/ トランスミッター ST-E2）は自動調光で発光しますが、自動調光しないように設定することもできます。

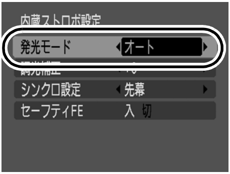
1 ストロボ設定画面を表示する

1. ⚡を長く(1 秒以上)押す



2 設定する

1. ▲/▼ で[発光モード]を選び、◀/▶ で[オート]または[マニュアル]を選ぶ
2. MENU を押す



［📷］メニューの［ストロボ制御］でも設定できます（p. 48)。

ストロボ調光量を補正する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

標準調光を中心に－2～＋2の範囲*で 1/3 段ずつ変更できます。カメラの露出補正と併用することにより、背景の露出も補正したストロボ撮影ができます。
撮影モードが**Tv**または**Av**のときは、あらかじめ［発光モード］を［オート］に設定してください（p. 145)。
＊外付けストロボの場合は－3～＋3の範囲

1 ストロボの調光量を補正する

1. FUNC./SET を押す
2. ▲/▼ で を選び、◀/▶ で変更する
3. FUNC./SET を押す



・ボタンを長く（1 秒以上）押しても設定を変更できます。
また、［ ］メニューの［ストロボ制御］▶［調光補正］でも設定できます（p. 48)。

外付けストロボの設定をする場合は、ストロボの電源を入れてから行ってください。

ストロボ発光量を設定する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

ストロボの発光量をフル発光まで3段階で制御して撮影できます。外付けストロボ装着時は、外付けストロボの発光量を制御（1/1（フル発光）から1/64 *まで、1/3段ずつ）できます。撮影モードが**Tv**または**Av**のときは、あらかじめ［発光モード］を［マニュアル］に設定してください（p. 145）。

＊スピードライト 580EX II の場合は 1/128

1 ストロボの発光量を設定する



1. FUNC./SET を押す
2. ▲/▼ で ［ストロボ発光量］ を選び、◀/▶ で変更する
3. FUNC./SET を押す

- ボタンを長く（1秒以上）押しても設定を変更できます。
  また、［ ］メニューの［ストロボ制御］▶［発光量］でも設定できます（p. 48）。

外付けストロボの設定をする場合は、ストロボの電源を入れてから行ってください。

ストロボ発光のタイミングを切り換える

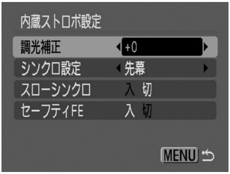
各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

先幕	シャッタースピードにかかわらず、シャッターが開いた直後にストロボが発光します。通常はこちらで撮影します。
後幕	シャッターが閉じる直前にストロボが発光します。ストロボ発光のタイミングが先幕発光より遅くなり、車のライトが後方に流れるような画像を撮影できます。

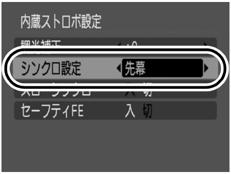
1 ストロボ設定画面を表示する

1. ⚡を長く(1 秒以上)押す



2 設定する

1. ▲/▼ で[シンクロ設定]を選び、◀/▶ で[先幕]または[後幕]を選ぶ
2. MENU を押す





先幕設定で撮影した画像



後幕設定で撮影した画像

［📷］メニューの［ストロボ制御］でも設定できます（p. 48)。

ストロボ撮影時の露出を補正する（セーフティFE）

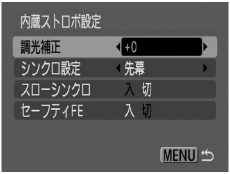
各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 270）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られない場合、自動的に絞り数値やシャッタースピードがシフトして白とびを軽減し、適正露出で撮影できます。撮影モードがTvまたはAvのときは、あらかじめストロボの［発光モード］を［オート］に設定しておいてください（p. 145）。

1 ストロボ設定画面を表示する

1. ⚡を長く（1 秒以上）押す



2 設定する

1. ▲/▼ で［セーフティFE］を選び、◀/▶ で［入］または［切］を選ぶ
2. MENU を押す



［📷］メニューの［ストロボ制御］でも設定できます（p. 48）。

S ボタンに機能を登録する

➔ 各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 270）

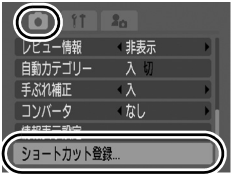
撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

撮影時によく使う機能を、S（ショートカット）ボタンに1つだけ登録できます。登録できる機能は以下のとおりです。

項目	参照先
無効	－
測光方式	p. 133
ND フィルター	p. 129
ホワイトバランス	p. 135
マニュアルWB1、WB2（ホワイトバランス）	p. 136
デジタルテレコン	p. 73
AF ロック	p. 119
ディスプレイオフ	p. 51

1 [ショートカット登録]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [●] メニューから、▲/▼ で[ショートカット登録]を選ぶ
3. FUNC. SET を押す



2 設定する

1. ▲/▼ または ◀/▶ で登録したい機能を選ぶ
2. FUNC. SET を押す



・アイコンの右下に⊘が表示されていても、機能の登録はできますが、撮影モードまたは設定によっては、S ボタンを押してもお使いになれません。
・MENU ボタンを押すと、設定を終了します。

解除のしかた：手順2で 無効 を選ぶ

S ボタンを使う

1 **S を押す**

・S ボタンを押すたびに、登録されている機能の設定が切り換わります。

- 、ND、WB は設定画面が表示されます。
- 、 は、S ボタンを押すたびに白データを取り込みます。なお、このとき枠は表示されないので、白い紙や布の中央が液晶モニターの中央になるようにして、S ボタンを押してください。一度この機能を使うと、ホワイトバランスの設定はマニュアルホワイトバランスに変更されます。
- AFL は、S ボタンを押すたびに AF ロックを行います。

縦横自動回転を設定する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

このカメラには SI（Super Intelligent）センサーが装備されており、縦位置で撮影した画像は、再生時に正しい縦位置に回転して表示されます。

1 **[縦横自動回転]を選ぶ**

1. MENU を押す
2. ←/→ で [ ] メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[縦横自動回転]を選ぶ



2 設定する

1. ←/→ で[入]または[切]を選ぶ
2. MENU を押す



・撮影時に縦横自動回転を［入］にすると、液晶モニターに（情報表示ありのとき）、(通常)、(右が下)、または(左が下）が表示されます。

- カメラを真上や真下に向けて撮影すると、正しく機能しない場合があります。アイコン（）を確認し、正しく天地を判断しない場合は、［切］にしてお使いください。
- 縦横自動回転の設定が［入］のときに縦位置で撮影した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては、回転結果が反映されないことがあります。

このカメラは、SI センサーにより、縦位置で構えて撮影する場合、上側を「天」、下側を「地」と判断し、縦位置に最適なフォーカス、露出、ホワイトバランス制御を行います。この機能は、縦横自動回転の入 / 切に関係なく有効です。

画像の保存先（フォルダ）を作成する

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 270）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

任意のタイミングで新しいフォルダを作成できます。撮影した画像は、そのフォルダ内に自動的に保存されます。

新規作成	次回撮影時に新しいフォルダを作成します。また新しいフォルダを作成したい場合には、再度チェックマークをつけてください。
自動作成	指定した日時以降の撮影時に、新しいフォルダを作成したい場合、日時を指定します。

次回撮影時にフォルダを作成する

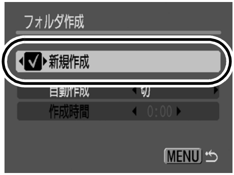
1 [フォルダ作成]を選ぶ

1. MENU を押す
2. ←/→ で [設定] メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[フォルダ作成]を選ぶ
4. FUNC. SET を押す



2 設定する

1. ←/→ で[新規作成]にチェックマークをつける
2. MENU を押す



・撮影時、液晶モニターに が表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。

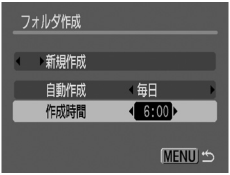
指定した日時にフォルダを作成する

1 [フォルダ作成]を選ぶ



1. MENU を押す
2. ←/→ で [ ] メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[フォルダ作成]を選ぶ
4. FUNC. SET を押す

2 設定する



1. ↑/↓ で[自動作成]を選び、←/→ で作成日を選ぶ
2. ↑/↓ で[作成時間]を選び、←/→ で時刻を設定する
3. MENU を押す

・指定した日時になると、液晶モニターに が表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。

ひとつのフォルダに最大 2000 画像まで保存されます。新規にフォルダを作成しなくても、2000 画像を超えると、新しいフォルダが自動的に作成されます。

画像番号をリセットする

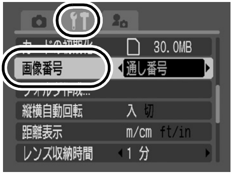
各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

撮影した画像には、自動的に画像番号がつきます。その画像番号の設定方法を選択します。

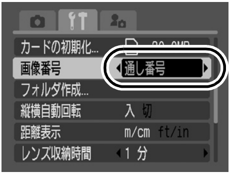
通し番号	最後に撮影した画像の続き番号が次の画像につけれらます。そのため、フォルダを変更したり、カードを交換*したりしても、画像番号が重複しません。パソコンで画像をまとめて管理する場合に便利です。 * 新規のカードに交換時。記録済みのカードを入れたときは、最後に撮影した画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた 7 桁の番号を比べ、大きいほうの番号を引き継ぎます。
オートリセット	フォルダ番号、画像番号が初期値（100-0001）に戻ります*。フォルダ単位で管理する場合に便利です。 * 新規のカードに交換時。記録済みのカードを入れたときは、そのカードに記録されている画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた 7 桁の番号の続きの番号になります。

1 [画像番号]を選ぶ



1. MENU を押す
2. ←/→ で [ ] メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[画像番号]を選ぶ

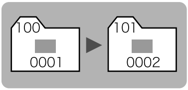
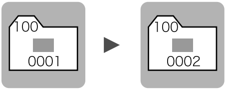
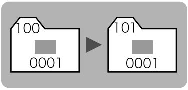
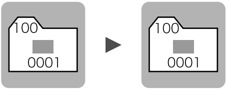
2 設定する



1. ←/→ で[通し番号]または[オートリセット]を選ぶ
2. MENU を押す

画像番号およびフォルダ番号について

撮影した画像には、0001 ～ 9999 までの画像番号が割り振られ、各フォルダには、100 ～ 999 までの番号が割り振られます。
ひとつのフォルダには、2000 画像ずつ保存されます。

<table>
<tr><th></th><th>フォルダを
新規に作成した場合</th><th>他のカードに
交換した場合</th></tr>
<tr><td>通し番号</td><td>カード 1
</td><td>カード 1　カード 2
</td></tr>
<tr><td>オートリセット</td><td>カード 1
</td><td>カード 1　カード 2
</td></tr>
</table>

- 次の設定で撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、2000 画像に満たなくても、十分な空きがない場合には、新しいフォルダに保存される場合があります。
  - ・連続撮影　・セルフタイマー（カスタムの場合）　・スティッチアシスト
  - ・フォーカスブラケット撮影　・AEB 撮影
  - ・静止画のワンポイントカラー / スイッチカラー（[オリジナル保存] が [入] の場合）
- 同じフォルダ番号や、フォルダ内に同じ画像番号が複数あるときは、再生できません。
- フォルダの構造や画像のタイプについては、ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。

再生 / 消去する

拡大して見る

再生モードでは、コントローラーホイールを回しても画像を選べます。反時計回りで前の画像、時計回りで次の画像を表示できます。「静止画を見る」（p. 19）もご確認ください。

1 **ズームレバーを 側に押す**

・拡大表示になります。

・最大約 10 倍まで拡大できます。



表示位置の目安

2 **▲/▼ または ◆/◆ で表示位置を変更する**

・拡大再生中にコントローラーホイールを回すと、拡大したまま前または次の画像を表示できます。

・ズームレバーで倍率を変更できます。

解除のしかた：ズームレバーを 側に押す（MENU ボタンを押すと、すぐに解除できます。）

動画は拡大表示できません。

9 画像ずつまとめて見る（インデックス再生）

1 ズームレバーを側に押す

- 9 画像ずつ表示されます。
- ▲/▼ または ◀/▶ ボタンで選択画像を切り換えます。



解除のしかた：ズームレバーを 側に押す

9 画像ずつ表示を切り換える

インデックス再生中に ボタンを押すと、ジャンプバーが表示され、9 画像ずつ表示の切り換えができます。

- ズームレバーを側に押しても切り換えができます。◀/▶ ボタンで前または次の 9 画像を表示します。
- FUNC./SET ボタンを押しながら ◀/▶ ボタンを押すと、最初または最後の 9 画像を表示します。



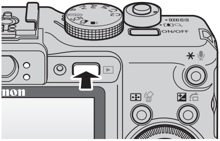
解除のしかた： ボタンを押す

ピントや人物の表情を確認する（フォーカスチェッカー表示）▶

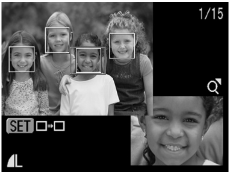
フォーカスチェッカー表示にすると、ピントや人物の表情が確認できます。また、表示倍率の変更や画像の切り換えもできるため、顔の表情や目を閉じていないかなどもかんたんに確認できます。

表示する

1 ▶を押す



2 フォーカスチェッカー表示になるまで、DISPLAY を数回押す



・画像に枠が次のとおりに表示されます。

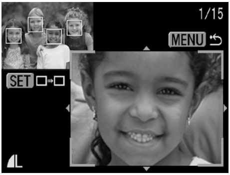
枠の色	内容
橙	右下に表示された画像の範囲を表示します。
白	ピントの合った位置に表示されます（AF フレーム）。
グレー	再生時に検出された顔の位置に表示されます（顔フレーム）。

・橙色の枠は、表示倍率の変更、表示位置の移動、表示フレームの切り換えができます（p. 160）。

表示倍率を変更する

3 **ズームレバーを Q 側に押す**

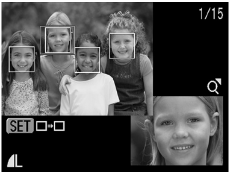
- 画面右下が大きく表示されます。



フレームを切り換える

3 **(FUNC./SET) を押す**

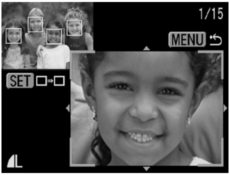
- ピントの合った複数のフレームが表示されたときや、複数の顔が検出されたときは、FUNC./SET ボタンを押すごとに、橙色の枠の位置が切り換わります。なお、表示倍率を変更したまま、カメラが検出した顔位置にフレームを切り換えると、橙色の枠は顔のサイズになります。



表示位置を変更する

3 **ズームレバーを Q 側に押す**

- 画面右下が大きく表示されます。



4 **▲/▼ または ◀/▶ で表示位置を変更する**

- FUNC./SET ボタンを押すと、橙色の枠が元の位置に戻ります。複数のフレームが表示されている画像のときは、橙色の枠の位置が切り換わります。



解除のしかた：MENU ボタンを押す

目的の画像にジャンプする

カードにたくさんの画像を記録しているときは、次の検索キーでジャンプしながら目的の画像を探し出すと便利です。

	日付	各撮影日の先頭画像を表示する
	マイカテゴリー	各カテゴリーの先頭画像を表示する
	フォルダ	各フォルダの先頭画像を表示する
	動画	動画を表示する
	10 枚	画像を 10 枚ずつ飛ばして表示する
	100 枚	画像を 100 枚ずつ飛ばして表示する

1 シングル再生時に、を押す

・検索ジャンプモードになります。

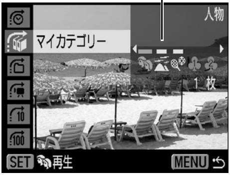
2 ▲/▼ で検索キーを選ぶ

・検索キーによって、画面例は若干異なります。
・DISPLAY ボタンで、画像情報の表示 / 非表示の切り換えができます。

画像情報



3 画像を表示する



- 🎞/🔟/💯のとき

1. ◆/◆ を押す
・MENU ボタンを押すと解除します。

- ⏲/📁/📂のとき

1. ◆/◆ で再生したい日付、カテゴリー、フォルダ、動画を選ぶ
   ・コントローラーホイールを回すと、絞り込む対象の画像を確認できます。
   ・MENU ボタンを押すと解除します。
2. (FUNC. SET) を押す
   ・絞り込み再生モードに変わり、検索キーで指定した画像を再生できます。
   ・ボタンを押すと、絞り込み再生モードを解除します。

- 以下の場合には、絞り込み再生モードは解除されます。
  - カテゴリーを変更したとき（マイカテゴリーで絞り込み中のとき）
  - 画像を範囲で指定するとき
  - 画像を加工や編集して新規に保存したとき
  - ［▶］メニューの［消去］から、画像を消去したとき

カテゴリーに分けて管理する(マイカテゴリー)

画像を、あらかじめ用意されているカテゴリー（人物、風景、イベント、カテゴリー 1 ～ 3、作業用）に分類し、カテゴリー単位で管理することができます。[自動カテゴリー] で記録された（p. 49）、カテゴリー情報も編集できます。カテゴリー単位に次の操作が行えます。

・画像検索（p. 161）　・スライドショー（p. 172）
・プロテクト（p. 188）　・消去（p. 191）　・印刷指定（p. 194）

1 画像ずつ指定する

1 [マイカテゴリー]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶]メニューから、▲/▼ で マイカテゴリー を選ぶ
3. FUNC./SET を押す



・再生モードのとき 印刷/共有 ボタンを押すと、すぐに手順 3 の画面を表示できます。

2 [画像指定]を選ぶ

1. ▲/▼ で[画像指定]を選ぶ
2. FUNC./SET を押す



3 設定する



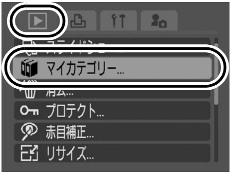
1. ←/→ でカテゴリーで分類する画像を選ぶ
2. ↑/↓ でカテゴリーの種類を選ぶ
3. (FUNC./SET) を押す
4. (MENU) を押す

・1 つの画像を複数のカテゴリーに分類することができます。
・インデックス再生にしても設定できます。
・再度 FUNC./SET ボタンを押すと設定を解除できます。

まとめて指定する

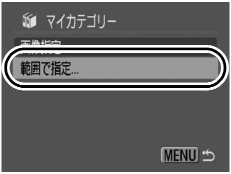
連続する画像の範囲を指定して、まとめて画像をカテゴリー分けできます。［終点］には、［始点］より大きいファイル番号の画像を指定してください。500 画像まで指定できます。

1 [マイカテゴリー]を選ぶ



1. (MENU) を押す
2. [▶]メニューから、↑/↓ で (マイカテゴリー) を選ぶ
3. (FUNC./SET) を押す

2 [範囲で指定]を選ぶ



1. ↑/↓ で[範囲で指定]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

3 カテゴリーを選ぶ

1. ▲/▼ でカテゴリーの欄を選び、◀/▶ で分類するカテゴリーを選ぶ



4 画像を選ぶ

1. ▲/▼ で左側の画像を選ぶ
2. (FUNC/SET) を押す



3. ◀/▶ で始点（最初）の画像を選ぶ
4. (FUNC/SET) を押す



5. ◀/▶ で右側の画像を選ぶ
6. (FUNC/SET) を押す



7. ◀/▶ で終点（最後）の画像を選ぶ
8. (FUNC/SET) を押す



5 設定する

1. ▲/▼ で[設定]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す
3. (MENU) を 2 回押す

・[解除]を選ぶと、選択した範囲のカテゴリー分けを解除します。



消去や印刷、スライドショーなどの画像を管理するときは、[作業用]に分類すると便利です。

動画を見る（動画再生パネルの操作）

インデックス再生時は、動画は再生できません。

1 動画を表示する

1. ◀/▶ で動画を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

・SET の表示されている画像が動画です。



2 再生する

1. ←/→ で ▶ を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す



- 再生中に FUNC./SET ボタンを押すと、再生が一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
- 再生が終了すると、最終フレームが表示されたままで停止します。FUNC./SET ボタンを押すと、動画再生パネルが表示されます。
- 動画再生中に DISPLAY ボタンを押すと、再生バーの表示 / 非表示の切り換えができます。
- 前回、再生を中断した場合は、最後に再生したフレームから表示されます。

動画再生パネルの操作

(戻る)	シングル再生に戻ります。
(印刷)	動画を印刷します（プリンター接続時にアイコンが表示されます。詳細はダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください）。
▶	再生します。
(スロー再生)	スロー再生します（スロー再生の速度は、←ボタンで遅く、→ボタンで速くできます）。
⏮	先頭フレームを表示します。
(フレーム戻し)	フレームを戻します (FUNC./SET ボタンを押し続けると早戻しします)。
(フレーム送り)	フレームを送ります (FUNC./SET ボタンを押し続けると早送りします)。
⏭	最終フレームを表示します。
✂	編集をします（動画編集モードに切り換えます）。(p. 168)

- テレビで動画を再生するときの音量は、テレビで調節してください（p. 200）。
- スロー再生中、音声は再生されません。

動画を編集する

撮影した動画の一部分を削除できます。

- 実際の編集位置は、編集時に液晶モニターで確認した位置と若干ずれる場合があります。
- 編集前の長さが 1 秒以上の動画を 1 秒単位で編集できますが、プロテクトされている動画、撮影時間が 1 秒（のときは15秒*1または30秒*2)未満の動画は編集できません。

  *1［撮影間隔］が 1 秒のとき。
  *2［撮影間隔］が 2 秒のとき。

1 動画を表示する

1. ←/→ で動画を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す

・ SET の表示されている画像が動画です。



2 (編集)を選ぶ

1. ←/→ で を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す



3 編集する

1. ▲/▼ で (前部を削除)または (後部を削除)を選ぶ
2. ◆/◆ で削除する位置( )を指定する

・仮編集した動画を確認するときは、 (再生) を選んで FUNC./SET ボタンを押します。
・ (終了) を選ぶと動画編集を中止し、動画再生パネルに戻ります。

動画編集パネル



動画編集バー

4 保存する

1. ▲/▼ で を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す
3. ◆/◆ で[新規保存]または[上書き保存]を選ぶ
4. (FUNC. SET) を押す

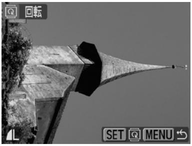


・[新規保存]：新しいファイル名をつけて保存します。編集前のデータは残ります。保存中に FUNC./SET ボタンを押すと、保存を中止できます。
・[上書き保存]：編集前の画像と同じファイル名で保存されます。編集前のデータは残りません。
・カードの空き容量が足りないときは、上書き保存しかできません。

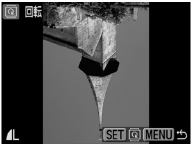
編集した動画を保存するとき、ファイルの容量によっては時間がかかる場合があります。途中でバッテリーがなくなると、編集した画像が保存できないことがありますので、動画を編集するときは、フル充電したバッテリーあるいは AC アダプターキット ACK-DC20(別売)のご利用をおすすめします(p. 230)。

回転して表示する

時計方向に 90 度、270 度に回転して表示します。



元画像



90 度



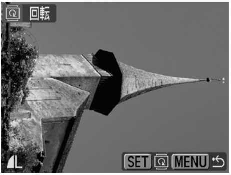
270 度

1 [回転]を選ぶ



1. MENU を押す
2. [▶] メニューから、▲/▼ で 回転 を選ぶ
3. FUNC./SET を押す

2 回転する



1. ◀/▶ で回転する画像を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

- FUNC./SET ボタンを押すごとに、90 度→270 度→元画像が表示されます。
- インデックス再生にしても設定できます。

カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

効果をつけて再生する

画像の切り換え時に使用する効果を選択できます。

	効果なし
	表示中の画像が暗くなり、次の画像が徐々に明るく表示されます。
	◆ボタンを押すと左側から前の画像が、◆ボタンを押すと右側から次の画像が表示されます。

1 [再生効果]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ] メニューから、▲/▼ で を選ぶ



2 設定する

1. ◆/◆ で 、 、 のいずれかを選ぶ
2. MENU を押す



画像を自動再生する（スライドショー）

カード内の画像を自動再生します。

＊スライドショーの画像指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています（p. 194）

	全画像	カード内のすべての画像を順に再生します。
	日付	指定した日付の画像を順に再生します。
	マイカテゴリー	指定したカテゴリー内の画像を順に再生します。
	フォルダ	指定したフォルダ内の画像を順に再生します。
	動画	動画のみを順に再生します。
	静止画	静止画のみを順に再生します。
～	カスタム 1 ～ カスタム 3	カスタム 1 ～ 3 でマークされている画像を順に再生します（p. 175）。

1 [スライドショー]を選ぶ



1. MENU を押す
2. [ ] メニューから、▲/▼ で を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

2 再生する画像の指定方法を選ぶ



1. ▲/▼ または ◀/▶ で、、、、、、 ～ のいずれかを選ぶ

・、、 のとき：再生する日付、カテゴリーまたはフォルダを選びます（p. 174）。
・ ～ のとき：再生する画像を選びます（p. 175）。
・効果をつけて再生する場合は、▲ ボタンで［効果］を選び、◀/▶ ボタンで種類を選びます（p. 173）。

3 再生する



1. ▲/▼ または ◀/▶ で[スタート]を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す

・自動再生中は、次のことができます。
- スライドショーの一時停止 / 再開：FUNC./SET ボタンを押す
- 画像の送り / 戻し：◀/▶ ボタンを押す（ボタンを押し続けると早送りします）。
- スライドショーの中止：MENU ボタンを押す

効果の種類

画像の切り換え時に使用する効果を選択できます。

	効果なし
*	次の画像が徐々に明るくなりながら、画面の下から上方向に表示されます。
	初めに十字型に画像が表示され、徐々に画像全体が表示されます。
	画像の一部が横方向に動きながら、徐々に画像全体が表示されます。

＊初期設定

シングル再生時、FUNC./SET ボタンを押しながら 印刷/共有 ボタンを押すと、表示中の画像からスライドショーを開始できます。なお、最後に撮影した画像を表示中のときは、その画像と同じ日付の先頭の画像から開始されます。

再生する日付 / マイカテゴリー/ フォルダを選ぶ（、、）

1 、またはを選ぶ



1. ▲/▼ または ◀/▶ で選ぶ
2. FUNC./SET を押す

2 再生する日付、カテゴリーまたはフォルダを選ぶ



1. ▲/▼ で選ぶ
2. FUNC./SET を押す
   - 再度FUNC./SETボタンを押すと選択を解除できます。
   - 日付、マイカテゴリー、フォルダは複数選択できます。
   - 選択した順に再生されます。
   - ◀/▶ ボタンを押すと、各日付、カテゴリー、またはフォルダの画像を確認できます。
3. MENU を押す

再生する画像を選ぶ（★1～★3）

スライドショーで再生したい画像だけをマークし、［カスタム 1］から［カスタム 3］に保存します。最大 998 画像まで指定でき、選択した順番に自動再生されます。

1 ★1～★3 のいずれかを選ぶ



1. ▲/▼ または ◀/▶ で ★1～★3 のいずれかを選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

・初めは、★1 だけが表示されます。
★1 を設定すると、表示が ★1√ に変わり、★2 が表示されます。
★2 ★3 も、同じように表示が変わっていきます。

2 再生する画像を選ぶ



1. ◀/▶ で再生する画像を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押して、選択する
   ・再度、FUNC./SET ボタンを押すと選択を解除できます。
   ・インデックス再生にしても選択できます。
3. (MENU) を押す

すべての画像を指定するとき

1 手順 1 で、★1～★3 のいずれかを選んだ後、▲ ボタンで［全画像］を選び、FUNC./SET ボタンを押す

2 ▲ ボタンで［全画像指定］を選び、FUNC./SET ボタンを押す

3 ▶ ボタンで［OK］を選び、FUNC./SET ボタンを押す

設定後に解除する場合には、［リセット］を選びます。

再生間隔やリピート設定をする

再生間隔

スライドショーで 1 画像を表示する時間を指定します。3 *～ 10 秒、15 秒、30 秒を指定できます（画像によって再生間隔は多少異なります）。

＊初期設定

リピート

スライドショーが一巡したら終了するか、繰り返し再生するかを設定します。

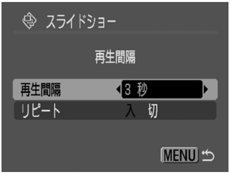
1 [設定]を選ぶ

1. ▲/▼ または ◀/▶ で[設定]を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す



2 設定する

1. ▲/▼ で[再生間隔]または[リピート]を選ぶ
2. ◀/▶ で設定したい内容を選ぶ
3. (MENU) を押す



赤目を補正する

目が赤く写ってしまった画像の赤目の部分を補正できます。

画像によっては赤目が自動的に検出されなかったり、思い通りに補正されない場合があります。

<主な例>

- 顔が画面の端にある、または画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るい
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている

1 [赤目補正]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから、▲/▼ で 赤目補正 を選ぶ
3. FUNC. SET を押す



2 画像を選ぶ

1. ◀/▶ で赤目を補正する画像を選ぶ
2. FUNC. SET を押す



・赤目を検出した位置に、自動的に枠が表示されます。
・赤目が自動的に検出されなかった場合は、◀/▶ ボタンで［補正枠の追加］を選び、FUNC./SET ボタンを押します（p. 179）。
・補正枠を削除するには、［補正枠の削除］を選び、FUNC./SET ボタンを押します（p. 180）。

3 補正する

1. ◀/▶ で[補正実行]を選ぶ
2. FUNC. SET を押す



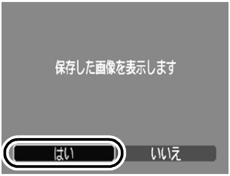
4 保存する



1. ←/→ で[新規保存]または[上書き保存]を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す

・[新規保存]：新しいファイル名をつけて保存します。補正前の画像は残ります。新規に保存された画像は、撮影した画像の一番最後に保存されます。
・[上書き保存]：補正前の画像と同じファイル名で保存されます。補正前の画像は残りません。
・[新規保存］の場合は、手順 5 へ進みます。

5 保存した画像を表示する



1. (MENU) を押す
2. ←/→ で[はい]を選ぶ
3. (FUNC. SET) を押す

・[いいえ］を選んだ場合は再生メニューに戻ります。

- 動画、RAW 画像は赤目補正できません。なお、[RAW + L 記録］で撮影した JPEG 画像は赤目補正ができますが、上書き保存はできません。
- プロテクトされている画像は、上書き保存できません。

- カードの空き容量が足りないときは、赤目補正はできません。
- 何度でも赤目補正を行うことができますが、画質が低下することがあります。
- 一度赤目補正を行った画像は、自動的に補正枠は表示されません。［補正枠の追加］を選択してください。

補正枠を追加する

1 [補正枠の追加]を選ぶ



1. ←/→ で[補正枠の追加]を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す
・緑色の枠が表示されます。

2 補正枠の位置を調整する



1. ←/→ または ↑/↓ で調整する
・ズームレバーで枠の大きさを変更できます。

3 補正枠を追加する

1. (FUNC. SET) を押す
・補正枠が追加され、枠が白色に変わります。
・さらに枠を追加したいときは、位置を調整して FUNC./SET ボタンを押します。
・枠は 35 個まで追加できます。
・補正枠の追加を終了するには、MENU ボタンを押します。

赤目を正しく補正するために、以下の点にご注意ください(手順 2 の画面例を参照)。
- なるべく赤目の部分だけを囲むように補正枠の大きさを調整してください。
- 赤目の人が複数いる場合、必ず 1 人ずつ補正枠を設定してください。

補正枠を削除する

1 [補正枠の削除]を選ぶ

1. ←/→ で[補正枠の削除]を選ぶ
2. FUNC./SET を押す



2 削除する補正枠を選ぶ

1. ←/→ で削除したい枠を選ぶ
・選択中の枠が緑色で表示されます。



3 補正枠を削除する

1. FUNC./SET を押す

・選択した枠が削除されます。
・続けて枠を削除したいときは、手順2から操作を繰り返します。
・補正枠の削除を終了するには、MENU ボタンを押します。

レタッチマイカラーで効果をつける

撮影した画像に、レタッチマイカラーで効果をつけることができます（静止画のみ）。レタッチマイカラーの種類は次のとおりです。効果の詳細はp. 138をご覧ください。

V	くっきりカラー	L	色白肌
N	すっきりカラー	D	褐色肌
Se	セピア	B	あざやかブルー
BW	白黒	G	あざやかグリーン
P	ポジフィルムカラー	R	あざやかレッド

1 [レタッチマイカラー]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから、▲/▼ で を選ぶ
3. FUNC.SET を押す



2 画像を選ぶ

1. ◀/▶ で効果をつける画像を選ぶ
2. FUNC.SET を押す



3 設定する

1. ←/→ でレタッチカラーの種類を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す



・レタッチマイカラーで効果をつけた画像が表示されます。
・ズームレバーを Q 側に押すと、拡大して確認できます。拡大表示中は、FUNC./SET ボタンでレタッチマイカラーで効果をつけた画像と効果がついていない元画像の切り換えができます。

4 保存する

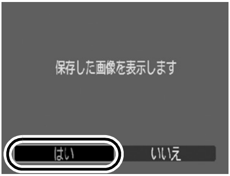
1. ←/→ で[OK]を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す



・新規に保存されたレタッチマイカラーで効果をつけた画像は、撮影した画像の一番最後に保存されます。
・引き続き、他の画像に効果をつけたい場合は、手順 2 から操作を繰り返します。

5 保存した画像を表示する

1. (MENU) を押す
2. ←/→ で[はい]を選ぶ
3. (FUNC. SET) を押す



・[いいえ] を選んだ場合は再生メニューに戻ります。

RAW 画像にレタッチマイカラーで効果をつけることはできません。

- カードの空き容量によっては、レタッチマイカラーで効果をつけることができません。
- レタッチマイカラーで効果をつけた画像に、何度でもレタッチマイカラーで効果をつけることができますが、画質は徐々に低下したり、思いどおりの色にならないことがあります。
- マイカラーで撮影した画像（p. 138）と、再生時にレタッチマイカラーで効果をつけた画像は、画像の色味が若干異なる場合があります。

画像の記録画素数を変更する（リサイズ）

大きな記録画素数で撮影した画像を、小さな記録画素数で新規保存できます。

M3	1600 × 1200 画素
S	640 × 480 画素
XS	320 × 240 画素

1 [リサイズ]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから、▲/▼ で リサイズ を選ぶ
3. FUNC/SET を押す



2 画像を選ぶ

1. ◀/▶ でリサイズしたい画像を選ぶ
2. FUNC/SET を押す

・リサイズできない画像は、FUNC./SET ボタンを選択できません。



3 記録画素数を選ぶ

1. ←/→ で M3、S、XS のいずれかを選ぶ
2. FUNC. SET を押す



4 保存する

1. ←/→ で[OK]を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

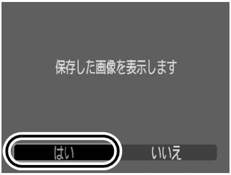
・リサイズした画像が新規に保存されます。
・カードの空き容量によっては、選択できない記録画素数があります。



5 保存した画像を表示する

1. MENU を押す
2. ←/→ で[はい]を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

・[いいえ] を選んだ場合は再生メニューに戻ります。



動画、W または RAW で撮影した画像は、リサイズできません。

音声メモをつける

画像の再生中に、最長 1 分の音声メモをつけることができます。音声データは WAVE タイプで保存されます。

1 **画像の再生中に 🎙 を押す**

・音声メモパネルが表示されます。

2 **録音する**

1. ←/→ で ● を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す



・録音時間と録音可能時間が表示されます。
・FUNC./SET ボタンを押すと録音を一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
・1 画像につき、合計が 1 分に達するまで音声メモを追加できます。
・録音の機能を設定できます（p. 105）。
・←/→ ボタンで ↩ を選び、FUNC./SET ボタンを押すと再生メニューに戻ります。

音声メモパネルの操作

←/→ ボタンで選んで、FUNC./SET ボタンを押します。

↩	操作を終了します。
●	録音を開始します。
■	録音または再生を停止します。
▶	再生します。
🗑	消去します（表示される画面で［消去］を選び、FUNC./SET ボタンを押します）。
音量	音量を ↑/↓ ボタンで調節します。

- 動画には音声メモをつけられません。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません。

音声を記録する(サウンドレコーダー)

画像を記録せず、音声だけを最長約 2 時間連続して録音できます。

1 [サウンドレコーダー]を選ぶ



1. MENU を押す
2. [▶] メニューから、▲/▼ で 🎙 を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

2 録音する



1. ◀/▶ で ● を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

・録音時間が表示されます。
・▲/▼ ボタンでサンプルレートを変更できます。[11.025kHz]、[22.050kHz]、[44.100kHz] の順に音質は良くなりますが、記録されるファイル容量は大きくなります。
・FUNC./SET ボタンを押すと録音を停止します。再度ボタンを押すと新しく録音が開始されます。
・シャッターボタンを半押しすると録音を停止し、撮影モードに切り換わります。
・録音の機能を設定できます（p. 105）。

音声操作パネルの操作

←/→ボタンで選んで、FUNC./SET ボタンを押します。

↩	操作を終了します。
●	録音を開始します。
■	録音または再生を停止します。
▶	再生します（↑/↓ ボタンで再生したい音声を選んでから、FUNC./SET ボタンを押します）。
◀◀	早戻しします（FUNC./SET ボタンを押し続けると早戻しします。音声は再生されません）。
▶▶	早送りします（FUNC./SET ボタンを押し続けると早送りします。音声は再生されません）。
消去	消去します（表示される画面で［消去］または［全消去］を選び、FUNC./SET ボタンを押します）。
プロテクト	プロテクトします（誤って消去しないように、プロテクト（保護）します。FUNC./SET ボタンで設定、設定解除します）。
音量	音量を ↑/↓ ボタンで調節します。

録音する前に、［オーディオ］の設定（p. 105）が適切かご確認ください。

- サウンドレコーダーの音声サイズと記録時間（目安）（p. 255）。
- カードの容量がいっぱいになった時点で自動的に録音を終了します。
- 再生中に 🎙ボタンを押し続けても、手順 2 の画面を表示できます（短く押すと音声メモパネル（p. 185）が表示されます）。

画像をプロテクト(保護)する

大切な画像や動画を誤って消去しないように、プロテクトの設定ができます。

画像指定	画像を見ながら 1 画像ずつプロテクトの設定ができます。
範囲で指定	連続する画像の範囲を指定して、まとめてプロテクトの設定ができます。
日付で指定	指定した日付の画像にプロテクトの設定ができます。
マイカテゴリーで指定	指定したカテゴリー内のすべての画像にプロテクトの設定ができます。
フォルダで指定	指定したフォルダ内のすべての画像にプロテクトの設定ができます。
全画像	カード内のすべての画像にプロテクトの設定ができます。

1 [プロテクト]を選ぶ

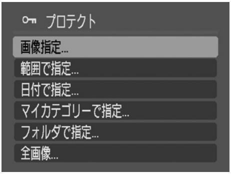
1. MENU を押す
2. [▶] メニューから、▲/▼ で ⊶ を選ぶ
3. FUNC. SET を押す



2 画像の指定方法を選ぶ

1. ▲/▼ で選ぶ
2. FUNC. SET を押す

・[全画像] の場合は、手順 3 の 4 (p. 190) へ進みます。



3 画像を選んでプロテクトする

● [画像指定]のとき

1. ←/→ でプロテクトしたい画像を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す
3. (MENU) を押す



プロテクトマーク

・再度 FUNC./SET ボタンを押すとプロテクトを解除できます。
・引き続き他の画像をプロテクトしたいときは、操作を繰り返します。
・インデックス再生にしても設定できます。

● [範囲で指定]のとき

画像の選択方法は、「カテゴリーに分けて管理する（マイカテゴリー）」の「まとめて指定する」の手順 4（p. 165）を参照してください。
画像の選択後、次の操作を行います。



1. ↑/↓ で[プロテクト]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す
3. (MENU) を押す

- **[日付で指定][マイカテゴリーで指定][フォルダで指定]のとき**



1. ▲/▼ で日付、カテゴリーまたはフォルダを選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す
3. (MENU) を押す
   - ・すでに一部の画像がプロテクトされている場合は、🔑がグレーで表示されます。
   - ・再度 FUNC./SET ボタンを押すと選択を解除できます。
   - ・日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
   - ・◀/▶ ボタンを押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダ内の画像を確認できます。
4. ▲/▼ で[プロテクト]を選ぶ
5. (FUNC./SET) を押す
6. (MENU) を押す



・[解除] を選ぶと選択した画像のプロテクトを解除し、手順 2 に戻ります。
・[中止] を選ぶと、プロテクト画像の選択を取り消し、手順 2 に戻ります。
・プロテクト中に FUNC./SET ボタンを押すと、中止できます。

画像を消去する

カード内の画像を消去します。

- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。

画像指定	1 画像ずつ選択した後にまとめて消去します。
範囲で指定	連続する画像の範囲を指定して、まとめて消去します。
日付で指定	指定した日付の画像を消去します。
マイカテゴリーで指定	指定したカテゴリーのすべての画像を消去します。
フォルダで指定	指定したフォルダのすべての画像を消去します。
全画像	カード内のすべての画像を消去します。

1 [消去]を選ぶ

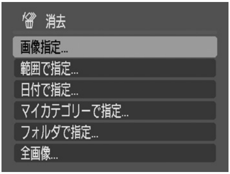
1. MENU を押す
2. [▶] メニューから、▲/▼ で 消去アイコン を選ぶ
3. FUNC./SET を押す



2 画像の指定方法を選ぶ

1. ▲/▼ で選ぶ
2. FUNC./SET を押す

・[全画像] の場合は、
手順 3 の 4 (p. 193) へ進みます。



3 画像を選んで消去する



● **[画像指定]のとき**

1. ←/→ で消去する画像を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す
3. (MENU) を押して、設定を終了する
   ・再度 FUNC./SET ボタンを押すと選択を解除できます。
   ・インデックス再生にしても選択できます。
4. ←/→ で[OK]を選ぶ
5. (FUNC./SET) を押す

● **[範囲で指定]のとき**



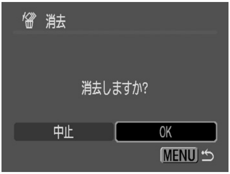
画像の選択方法は、「カテゴリーに分けて管理する（マイカテゴリー）」の「まとめて指定する」の手順 4（p. 165）を参照してください。
画像の選択後、次の操作を行います。

1. ↑/↓ で[消去]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

- **[日付で指定][マイカテゴリーで指定][フォルダで指定]のとき**



1. ▲/▼ で日付、カテゴリーまたはフォルダを選ぶ
2. FUNC./SET を押す
3. MENU を押す
   - ・再度 FUNC./SET ボタンを押すと、指定を解除できます。
   - ・日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
   - ・◀/▶ ボタンを押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダ内の画像を確認できます。
4. ◀/▶ で[OK]を選ぶ
5. FUNC./SET を押す



・消去を中止したいときは、[キャンセル]を選びます。
・消去中に FUNC./SET ボタンを押すと、中止できます。

画像データだけでなく、カードの記録内容をすべて消去したいときは、カードを初期化してください(p. 69)。

印刷指定 / 送信指定する

印刷指定(DPOF)

カードに記録されている画像の中から、印刷する画像や枚数をあらかじめカメラ側で指定できます。なお、この指定は、DPOF に準拠しています。カメラダイレクト対応プリンターで一括して印刷するときや、プリント取り扱い店に注文するときに大変便利です。

DPOF 対応の他のカメラで印刷指定されたカードの場合、⚠ が表示されることがあります。このカメラでそれらの印刷指定を変更すると、設定済みの印刷指定は、すべて書き換えられます。

印刷スタイルを設定する

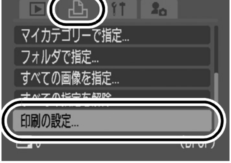
印刷スタイルを設定してから、印刷する画像を選んでください。次の内容を設定できます。

＊初期設定

印刷タイプ	スタンダード＊	用紙 1 枚に 1 画像を印刷します。
	インデックス	画像を縮小してインデックス形式で印刷します。
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷します。
日付（入 / 切＊）		日付を入れて印刷します。
画像番号（入 / 切＊）		画像番号を入れて印刷します。
印刷後指定解除（入＊ / 切）		印刷後、画像の印刷指定をすべて解除します。

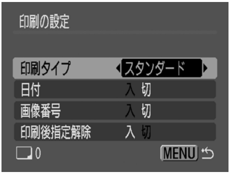
1 [印刷の設定]を選ぶ

1. ▶ を押す
2. MENU を押す
3. ←/→ で [ ] メニューを選ぶ
4. ↑/↓ で[印刷の設定]を選ぶ
5. FUNC. SET を押す



2 設定する

1. ▲/▼ で[印刷タイプ]、[日付]、[画像番号]、[印刷後指定解除]のいずれかを選ぶ
2. ◀/▶ で設定したい内容を選ぶ
3. ◯(MENU) を押す



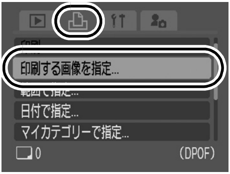
- 印刷タイプによって、日付と画像番号の設定は次のようになります。
  - [インデックス] のとき
    [日付] と [画像番号] を同時に設定できません。
  - [スタンダード] または [両方] のとき
    [日付] と [画像番号] を同時に [入] に設定できます。ただし、お使いのプリンターによって、印刷できる情報が異なることがあります。
- 日付は、[日付 / 時刻] で設定した日付スタイルで印刷されます (p. 52)。

画像の指定方法

印刷する画像を指定	画像を見ながら 1 画像ずつ印刷指定します。
範囲で指定	連続する画像の範囲を指定して、まとめて印刷指定します。
日付で指定	指定した日付の画像を印刷指定します。
マイカテゴリーで指定	指定したカテゴリー内の画像を印刷指定します。
フォルダで指定	指定したフォルダ内の画像を印刷指定します。
すべての画像を指定	すべての画像に対して印刷指定します。
すべての指定を解除	画像の印刷指定をすべて解除します。

指定した画像に対して、1 枚ずつ印刷指定されます。[印刷する画像を指定] で印刷タイプ (p. 194) が [スタンダード] / [両方] の場合のみ、印刷枚数を指定できます。

1 画像の指定方法を選ぶ



1. [▶] を押す
2. MENU を押す
3. ←/→ で [印刷] メニューを選ぶ
4. ↑/↓ で画像の指定方法を選ぶ
5. FUNC./SET を押す

・[すべての画像を指定] の場合は、手順 2 の 4（p. 197）へ進みます。

2 画像を選んで印刷指定する

● [印刷する画像を指定]のとき

印刷タイプの設定（p. 194）によって異なります。

スタンダード（スタンダード）/ 両方（スタンダード インデックス）のとき（p. 194）

印刷枚数表示



1. ←/→ で画像を選ぶ
2. FUNC./SET を押す
3. ↑/↓ で印刷枚数を指定する（最大 99 枚まで）
4. MENU を押す

インデックス（インデックス）のとき（p. 194）

インデックス印刷の選択



1. ←/→ で画像を選ぶ
2. FUNC./SET で指定、指定解除をする
3. MENU を押す

・インデックス再生にしても設定できます。
・MENU ボタンを押すと、設定を終了します。

● **[範囲で指定]のとき**

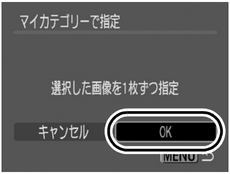
画像の選択方法は、「カテゴリーに分けて管理する（マイカテゴリー)」の「まとめて指定する」の手順 4（p. 165）を参照してください。
画像の選択後、次の操作を行います。

1. ▲/▼ で[画像指定]を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す
3. (MENU) を押す

● **[日付で指定][マイカテゴリーで指定][フォルダで指定]のとき**



1. ▲/▼ で日付、カテゴリーまたはフォルダを選ぶ
2. (FUNC. SET) ボタンを押す
3. (MENU) を押す
   ・再度 FUNC./SET ボタンを押すと、指定を解除できます。
   ・日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
   ・◀/▶ ボタンを押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダの画像を確認できます。
4. ◀/▶ で[OK]を選ぶ
5. (FUNC. SET) を押す



・キャンセルを選ぶと、印刷指定の選択を取り消し、手順 1 に戻ります。

- プリンターまたはプリント取り扱い店によっては、指定内容が反映されないことがあります。
- 動画、RAW は印刷指定できません。

- 画像番号の順に印刷されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。
- プリンターに接続している場合、画像が指定されると 〔印刷/共有〕ボタンが青色に点灯します。このとき、〔印刷/共有〕ボタンを押して、［印刷］が選択されていることを確認し、FUNC./SET ボタンを押すと、印刷が開始されます。

送信指定（DPOF）

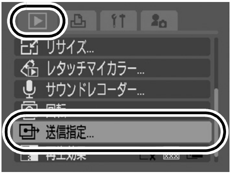
パソコンに取り込む画像をあらかじめカメラ側で指定できます。パソコンへの送信方法は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。なお、この指定は、DPOF に準拠しています。

DPOF 対応の他のカメラで送信指定されたカードの場合、⚠ が表示されることがあります。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

1 画像ずつ指定する

1 ［送信指定］を選ぶ

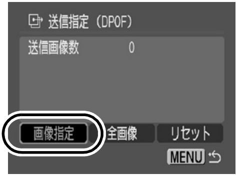
1. 〔▶〕を押す
2. 〔MENU〕を押す
3. ［▶］メニューから、▲/▼ で〔送信指定〕を選ぶ
4. 〔FUNC./SET〕を押す



2 ［画像指定］を選ぶ

1. ◀/▶ で［画像指定］を選ぶ
2. 〔FUNC./SET〕を押す

・［リセット］を選ぶと、送信指定をすべて解除します。



3 画像を選ぶ

1. ←/→ で送信する画像を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す
   - ・再度 FUNC./SET ボタンを押すと選択を解除できます。
   - ・インデックス再生にしても設定できます。
3. (MENU) を何回か押して、設定を終了する

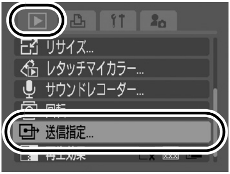
送信画像の選択



カード内のすべての画像を指定する

1 [送信指定]を選ぶ

1. (MENU) を押す
2. [▶] メニューから、↑/↓ で を選ぶ
3. (FUNC./SET) を押す



2 [全画像]を選ぶ

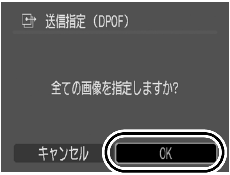
1. ←/→ で[全画像]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

・[リセット] を選ぶと、送信指定をすべて解除します。



3 [OK]を選ぶ

1. ←/→ で[OK]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す
3. (MENU) を押す



- 画像番号の順に送信されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。

テレビにつなぐ

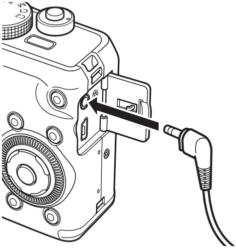
テレビを使って撮影 / 再生する

付属の AV ケーブルをお使いいただくと、テレビに画像を表示して撮影や再生ができます。ビデオ出力方式は、日本国内で採用している NTSC 方式が初期設定になっています。

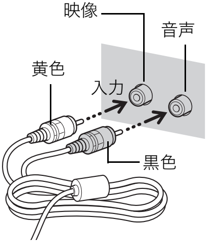
1 **カメラとテレビの電源を切る**

2 **カメラの A/V OUT 端子に AV ケーブルを接続する**

・カメラの端子カバーを開き、AV ケーブルを奥まで差し込みます。



3 **テレビの映像入力端子と音声入力端子に AV ケーブルを接続する**



4 **テレビの電源を入れ、入力切り換えをビデオ入力にする**

5 **カメラの電源を入れる**

ビデオ出力方式の設定方法（p. 47、52）

カメラを自分好みにする（マイカメラ機能）

カメラの起動画面や起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を「マイカメラコンテンツ」と呼びます。これらを変更したり登録して、カメラを自分好みの設定に変えることができます。

マイカメラコンテンツを変更する

1 メニュー項目を選ぶ



1. MENU を押す
2. ←/→ で [マイカメラ] メニューを選ぶ
3. ↑/↓ でメニュー項目を選ぶ

・すべて同じコンテンツに設定したいときは、［セット］を選びます。

2 設定する



1. ←/→ で設定したいコンテンツを選ぶ
2. MENU を押す

［シャッター音］を 1 または 2 に設定すると、シャッタースピードに応じたシャッター音が鳴ります。

マイカメラコンテンツを登録する

各コンテンツの［ ］には、カードに記録してある画像や新たに録音した音声を、マイカメラコンテンツとしてその場ですぐに登録できます。また、付属のソフトウェアを使うと、パソコンにある画像や音声、CANON iMAGE GATEWAY からダウンロードしたコンテンツをカメラに登録することもできます。

マイカメラコンテンツを初期設定に戻すには、パソコンが必要です。付属のソフトウェア(ZoomBrowser EX/ImageBrowser)を使い、初期設定のコンテンツをカメラに登録してください。

1 メニュー項目を選ぶ



1. ▶ を押す
2. MENU を押す
3. ←/→ で [ ] メニューを選ぶ
4. ↑/↓ で登録したいメニュー項目を選ぶ

・すべて同じコンテンツに設定したいときは、[セット] を選びます。

2 を選ぶ



1. ←/→ で を選ぶ
2. DISPLAY を押す

3 登録したい画像を選択、または音声を録音する

- **起動画面のとき**

1. ←/→ ボタンで登録したい画像を選ぶ
2. (FUNC/SET) ボタンを押す



- **起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッターのとき**

1. ←/→ で ●(録音)を選ぶ
2. (FUNC/SET) を押す
3. 録音後、←/→ で (登録)を選ぶ
4. (FUNC/SET) を押す



・録音時間が経過すると、自動的に録音が終了します。
・再生するときは、▶(再生)を選びます。
・マイカメラメニューに戻るときは、(終了)を選びます。

4 登録する

1. ←/→ で[OK]を選ぶ
2. (FUNC/SET) を押す



- 以下は、マイカメラコンテンツに登録できません。
  - 動画
  - 音声メモ機能(p. 185)やサウンドレコーダー(p. 186)で録音した音声
- 新しいマイカメラコンテンツを登録すると、以前に登録されていたコンテンツは消去されます。

マイカメラコンテンツの登録、作成についての詳細は、付属のソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

こんなときには

カメラ全般

カメラが動作しない	
電源が入っていません。	●電源スイッチを押してください（p. 42）。
メモリーカードスロット / バッテリーカバーが開いています。	●カバーがしっかりと閉じていることを確認してください（p. 11）。
バッテリーの残量が少なく動作不能です（「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されます）。	●十分に充電されたバッテリーをカメラに入れてください（p. 10）。 ●AC アダプターキット ACK-DC20（別売）を使用してください（p. 230）。
カメラとバッテリーの接触不良です。	●バッテリーの電極を先の細いやわらかい綿棒などで乾拭きしてください（p. 225）。
カメラ内部で音がする	
カメラの縦・横の向きが変わりました。	●カメラの向きを検出する機構が働いています。カメラの故障ではありません。

電源を入れたとき

「ライトプロテクト」が表示された

SD メモリーカード、SDHC メモリーカードの「ライトプロテクト（書き込み禁止）」スイッチが、「書き込み禁止」になっています。	●書き込み、消去、初期化したいときは、ライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください（p. 228）。

日付 / 時刻の設定画面が表示された

内蔵のリチウム電池の容量がなくなっています。	●ただちに充電してください（p. 10）。

液晶モニター

表示されない

液晶モニターが非表示の設定になっています。	●DISPLAY ボタンを押して液晶モニターをつけてください（p. 55）。

撮影中に液晶モニターが消える

で撮影中は、［節電］の［ディスプレイオフ］の設定に応じて節電機能が働きます。電源スイッチとシャッターボタン以外を操作すると、液晶モニターが表示されます。

カメラの起動時に画面が黒くなる

マイカメラ機能の起動画面に、互換性のない画像が設定されています。	●マイカメラ機能で起動画面を変更するか（p. 201）、付属の ZoomBrowser EX や ImageBrowser を使って初期設定に戻します。詳細は、ZoomBrowser EX/ImageBrowser のソフトウェアガイド（PDF）をご覧ください。

表示が黒くなる

太陽や強い光が当たると黒くなることがあります。	● これはCCD特有の現象で、カメラの故障ではありません（動画にはこの画像が記録されますが、静止画には記録されません）。

画面がちらつく

蛍光灯の下で撮影しています。	● カメラの故障ではありません（動画には記録されますが、静止画には記録されません）。

赤紫などの帯が表示された

太陽や照明などの明るい被写体を撮影するときに表示されることがあります。	● これはCCD特有の現象で、カメラの故障ではありません（動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません）。 ● ND フィルターを［入］にすると軽減されることがあります（p. 129）。

が表示された

光量不足で、シャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。	● 手ぶれ補正を［切］以外に設定してください（p. 81）。 ● ISO 感度を上げてください（p. 83）。 ● ISO ブースターを設定してください（p. 130）。 ● ストロボを（発光禁止）以外に設定してください（p. 74）。 ● セルフタイマーを設定し、三脚などでカメラを固定して撮影してください（p. 76）。

⚠が表示された

DPOF 対応の他のカメラで、印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定されたカードです。	● このカメラでそれらの印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定を変更すると、設定内容は、すべて書き換えられますので、ご注意ください（p. 194、198、172）。

ノイズが表示される / 被写体の動きがぎこちない	
暗い場所で撮影する場合、液晶モニターを見やすくするために、カメラが自動的に液晶モニターに映し出される画像を明るくしました（p. 56）。	●記録される画像に影響はありません。

撮影のとき

撮影できない	
再生モードになっています。	●撮影モードに切り換えてください（p. 54）。
ストロボが充電中です。	●充電が完了するとランプが橙色に点灯し、撮影できます（p. 44）。
カードの空き容量がありません。	●新しいカードを入れてください（p. 12）。 ●必要であれば、カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
カードが正しく初期化されていません。	●カードを初期化してください(p. 69)。 ●カードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。お客様相談センターにお問い合わせください。
SD メモリーカード、SDHC メモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています。	●ライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください（p. 228）。

ファインダーから見える範囲と、撮影された範囲にズレがある

通常はファインダーから見える範囲よりも広い範囲が撮影されます。	●実際に撮影される範囲は、液晶モニターで確認してください。マクロモードのときは、このズレが大きいので、必ず液晶モニターを使用してください（p. 75）。

画像がぼやけている、ピントが合いにくい

シャッターボタンを押したとき、カメラが動いています。	●「が表示された」（p. 206）でご確認ください。
AF 補助光が［切］になっています。	●暗い場所などでピントが合いにくいとき、AF 補助光が光ってピントを合いやすくします。AF 補助光が「切」だと機能しないので、「入」にして、AF 補助光を発光させてください（p. 49）。このとき、AF 補助光投光部に手がかからないように注意してください。
被写体がピントの合う範囲から外れています。	●正しい撮影距離範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 248）。 ●意図しない機能（例えばマクロやマニュアルフォーカスなど）が設定されている可能性がありますので、設定を解除してください。
ピントが合いにくい被写体です。	●フォーカスロック、AFロックまたはマニュアルフォーカスで撮影してください（p. 119）。

撮影した画像の被写体が暗すぎる

撮影時の光量が不足しています。	●内蔵ストロボを（常時発光）にしてください（p. 74）。 ●光量の大きな外付けストロボをお使いください。 ●ND フィルターを［切］にしてください（p. 129）。

周辺部が明るすぎるため、狙った被写体の露出がアンダー（露出不足）になっています。	●露出補正値をプラス側に設定してください（p. 132）。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください（p. 125、133）。
被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ調光範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 249）。 ●ISO 感度を上げて撮影してください（p. 83）。

撮影した画像の被写体が明るすぎる、または白飛びする

被写体が近すぎてストロボ光が強すぎます。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ調光範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 249）。 ●セーフティ FE を［入］にしてください（p. 149）。
周辺部が暗すぎるため、狙った被写体の露出がオーバー（露出過多）になっています。	●露出補正値をマイナス側に設定してください（p. 132）。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください（p. 125、133）。 ●ND フィルターを［入］にしてください（p. 129）。
照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	●被写体に対するカメラのアングルを変えてください。
ストロボが（常時発光）になっています。	●ストロボを（発光禁止）にしてください（p. 74）。

画像にノイズがある

ISO 感度が高すぎます。	● 高い ISO 感度や（高感度オート）を選ぶと、画像にノイズが増えることがあります。画質を優先する場合には、なるべく低い感度を選んでください（p. 83）。 ● SCN モードの、、、、、、、、では、ISO 感度が上がり、ノイズが発生しやすくなります。

画像に白い点などが写る

ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。特にワイド側や、Av モードで絞り数値を大きくして撮影したときに、目立ちやすくなります。	● デジタルカメラ特有の現象でカメラの故障ではありません。

目が赤く写る

暗い所でストロボを発光したため、ストロボの光が目に反射しました。	● 撮影メニューの［赤目緩和機能］を［入］に設定して撮影してください（p. 110）。写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るよう声をかけてください。「室内を明るくする」、「写したい人に近付く」とより効果があります。ただし、赤目緩和ランプが点灯するときに、効果を高めるため、約 1 秒間シャッターは切れませんのでご注意ください。 ● 赤目で撮影された画像は、［赤目補正］で修正できます（p. 176）。

連続撮影速度が遅くなった	
カードの性能が低下しました。	●連続撮影の性能を十分に発揮するため、撮影した画像をパソコンに保存してから、カメラで カードを物理フォーマットすることをおすすめします（p. 69）。

カードへの画像の記録時間が長い	
違う機器で初期化したカードが入っています。	●このカメラで初期化したカードをお使いください（p. 69）。

レンズが出たままで収納されない	
電源を入れたまま、メモリーカードスロット / バッテリーカバーを開けました。	●メモリーカードスロット / バッテリーカバーを閉じた後、電源を切ってください。

動画撮影のとき

正しい撮影時間が表示されない、または中断される	
以下のようなカードをお使いです。 - 書き込み速度が遅い - 他のカメラやパソコンで初期化した - 撮影 / 消去を繰り返した	●撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。カードをこのカメラで初期化すると、正しい時間が表示されます（書き込み速度の遅いカードを除く）（p. 69）。

液晶モニターに「！」が赤く表示され、撮影が自動的に終了した	
カメラの内部メモリーが少なくなりました。	●以下の方法をお試しください。 - 撮影する前にカードを物理フォーマットする（p. 69） - 記録画素数を小さくする（p. 103） - 高速のカード（SDC-512MSH など）を使用する

ズームできない	
動画撮影中にズームレバーを押しました。	●撮影前にズームを操作してから、動画を撮影してください (p. 70)。ただし、デジタルズームは撮影中もお使いになれます（スタンダードのみ）。

再生のとき

再生できない	
他のカメラで撮影した画像やパソコンで編集した画像を再生しようとしました。	●付属の ZoomBrowser EX や ImageBrowser を使って、再生できない画像をパソコンからカメラに追加すると、再生できることがあります。 詳細は、ZoomBrowser EX / ImageBrowser のソフトウェアガイド（PDF）をご覧ください。
ファイル名をパソコンで変更したり、ファイルの場所を変更しました。	●ファイル名およびフォルダ番号は、カメラの形式にあったファイル名にしてください。詳細は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

編集できない
他のカメラで撮影した画像は、編集できない場合があります。

動画を正しく再生できない
大きな記録画素数で撮影した動画を、読み込み速度の遅いカードで再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声が途切れる場合があります。

カードからの画像の読み出しが遅い	
違う機器で初期化したカードが入っています。	●このカメラで初期化したカードをお使いください（p. 69)。

バッテリー/バッテリーチャージャー

バッテリーの消耗が早い	
バッテリーの性能が十分に発揮されていません。	●バッテリーの取り扱いを､「取り扱い上の注意」（p. 225）でご確認ください。
常温（23 ℃）で使用しているときに消耗が早い場合は、バッテリーの寿命です。	●新しいバッテリーと交換してください（p. 11）。

バッテリーが充電できない	
バッテリーの寿命です。	●新しいバッテリーと交換してください（p. 11）。

テレビ出力

テレビに出力できない / 画面が乱れる	
お使いの地域のビデオ出力方式に合っていません。	●正しいビデオ出力方式（NTSC または PAL）に合わせてください（p. 52）。日本国内の出力方式は、「NTSC」です。
スティッチアシストで撮影しています。	●スティッチアシストではテレビに出力できません。他の撮影モードで撮影してください（p. 97）。

カメラダイレクト対応プリンターで印刷するとき

印刷ができない

カメラとプリンターが正しく接続されていません。	●指定されたケーブルでカメラとプリンターを正しく接続してください。
プリンターの電源が入っていません。	●プリンターの電源を入れてください。
印刷接続方式が正しくありません。	●［ (設定)］メニューの［印刷接続方式］で［自動］を選択してください(p. 52)。

メッセージ一覧

撮影または再生中に液晶モニターに表示されるメッセージには以下のものがあります。
プリンターを接続しているときに表示されるメッセージについては、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

処理中 ...

撮影した画像をカードに記録しています。または、再生モードを起動中です。

カードがありません

カードをカメラに入れずに、電源を入れました。または、カードが正しい向きに入っていません（p. 12）。

ライトプロテクト

SD メモリーカード、SDHC メモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています（p. 228）。

記録できません

カードがカメラに入っていない、または正しい向きに入っていないのに撮影しようとしました。または、動画に音声メモをつけようとしました。

カードが異常です

カードに異常がある可能性があります。異常のあるカードは、本製品で初期化するとお使いになれる場合があります（p. 69）。ただし、本製品付属のカードをお使いになっても、このエラーメッセージが表示される場合には、カメラの故障が考えられますので、修理受付窓口にお問い合わせください。

カードがいっぱいです

カードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上記録や保存はできません。また、これ以上、画像指定、サウンドレコーダーや音声メモの録音はできません。

ファイル名が作成できません

カメラが作成しようとするフォルダと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでに画像番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。設定メニューで［画像番号］を［オートリセット］に設定してください。または、必要な画像をパソコンに取り込んだ後、カードを初期化してください。なお、初期化すると、カード内の画像およびデータはすべて消去されます。

バッテリーを交換してください

バッテリーの残量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに充電されたバッテリーに交換するか、バッテリーを充電してください。

画像がありません

カードに画像が記録されていません。

画像が大きすぎます

5616 × 3744 画素より大きな記録画素数の画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしました。

互換性のない JPEG です

互換性のない JPEG 圧縮の画像（パソコンで編集した画像など）を再生しようとしました。

RAW

異なる形式の RAW 画像を再生しようとしました。

認識できない画像です

データが破壊されている画像、互換性がない画像（他社カメラ特有の記録タイプなど）、パソコンで編集した画像、または別のカメラで撮影した動画を再生しようとしました。

拡大できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を拡大しようとしました。

回転できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、またはパソコンに取り込んで加工した画像を回転させようとしました。

互換性のない WAVE です

録音済みの音声のタイプが正しくないので、この画像に追加録音できません。また、音声の再生もできません。

登録できない画像です

このカメラ以外で撮影した画像、RAW 画像または動画を起動画面に登録しようとしました。

処理できない画像です

動画や RAW 画像またはこのカメラ以外で撮影した画像に、レタッチマイカラーで効果をつけたり、赤目補正やリサイズをしようとしました。または、W で撮影した画像をリサイズしたり、XS にリサイズした画像を、再度リサイズしようとしました。

処理できません

このカメラ以外で撮影した画像をカテゴリー分けしようとしました。

処理できませんでした

赤目を検知しなかったため、赤目補正処理ができませんでした。

転送できません

ダイレクト転送画面で画像をパソコンへダイレクト転送するとき、RAW 画像、データが破壊された画像、別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像を指定しようとしました。または、［パソコンの背景］を選び、動画を指定しようとしました。

プロテクトされています

プロテクトされている画像や動画、音声メモを、消去または編集しようとしました。

指定が多すぎます

印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像が多すぎます。これ以上指定できません。

指定完了できませんでした

印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定を一部保存できませんでした。

指定できない画像です

JPEG 以外の画像を印刷指定しようとしました。

指定できません

［範囲指定］で画像を選択するとき、［始点］に［終点］より大きなファイル番号の画像、または［終点］に［始点］より小さなファイル番号の画像を指定しようとしました。または、500 画像以上を指定しようとしました。

通信エラー

カードに大量の画像（1000 画像程度）があるため、パソコンに画像が取り込めませんでした。USB カードリーダーや PC カードアダプターを使って画像を取り込んでください。

レンズエラーを検知しました

レンズ駆動中にカメラがエラーを検知して、自動的に電源を切りました。レンズ駆動中にレンズを押さえたり、ほこり / 砂ぼこりの立つ場所などでカメラを起動すると、発生する恐れがあります。いったん電源を入れ直して、撮影または再生してください。頻繁にこのメッセージが表示されるときは、レンズの故障が考えられますので、修理受付窓口へお持ちください。

Exx

カメラがエラーを検知しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示されるときは、故障ですので「xx」の数値を控えて修理受付窓口へお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

付録

安全上のご注意

- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本機器：カメラ、バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプター（別売）、カーバッテリーチャージャー（別売）
- バッテリー：バッテリーパック

⚠ **警告** この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠ **注意** この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

⚠ △記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。

🚫 ⃠記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。（左図：分解禁止）

❗ ●記号は、必ず守っていただきたいことがらを示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

⚠警告

本機器

●カメラを太陽や強い光源に向けないでください。

・撮像素子（CCD）が損傷する場合があります。

・視力障害の原因となります。

●お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。

・ネックストラップ：誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

・カード：誤って飲み込むと危険です。
万一､飲み込んだ場合には、ただちに医師にご相談ください。

●分解、改造しないでください。

●落下などで、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。

●煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。

●内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。水滴がかかったり、潮風にさらされたときは、吸水性のあるやわらかい布で拭いてください。

火災、感電の原因となります。

機器本体の電源を切り、その後必ずバッテリーを外すか、バッテリーチャージャーあるいはコンパクトパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げになった販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

●アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤で手入れしないでください。

●電源コードに重いものを載せたり、傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。

●本機器専用以外の電源は使用しないでください。

●電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

火災、感電の原因となります。

バッテリー

●火に近付けたり、火の中に投げ込まないでください。

●水や海水に濡らさないでください。

●分解、改造したり、加熱しないでください。

●落とすなどして強い衝撃を与えないでください。

●指定外のバッテリーを使用しないでください。

バッテリーの破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。万一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。

●テーブルクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま充電しないでください。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

●バッテリーを充電する場合は、指定されたバッテリーチャージャー以外は使用しないでください。

●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターの出力端子は本機器専用です。他のバッテリーや製品には、お使いにならないでください。

発熱、変形して、火災、感電の原因となります。

●廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。

廃却の際、他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となります。

その他

●ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。

特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。視力障害の原因となります。

●カメラのスピーカーに磁気の影響を受けやすいもの（クレジットカードなど）を近付けないでください。

それらのデータが壊れて、使用できなくなることがあります。

●別売のワイドコンバーター、テレコンバーター、コンバージョンレンズアダプターを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。

緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。

⚠注意

本機器

●ネックストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えないでください。

●レンズの先端を強く押しつけたり、ぶつけたりしないでください。

けがや本体の故障の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。

●電源プラグや充電端子部に金属製のピンやゴミを付着させないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。

●**直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。**

●**コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしないでください。また、電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが不十分なまま使用しないでください。**

●**風通しの悪いところで使用しないでください。**

液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。また、機器外装が熱により変形することがあります。

●**使用しないときは、バッテリーを取り出し、保存してください。**

カメラに、バッテリーを入れたままにしておくと、バッテリーが消耗します。

ストロボ

●**発光部分にゴミやほこりなど異物がついたまま発光しないでください。**

●**発光部分を手や布などで覆ったまま発光しないでください。**

煙や音が出て、故障の原因となったり、発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因となることがあります。

●**連続発光後、発光部分に触れないでください。**

やけどの原因となることがあります。

故障を防ぐためのご注意

電磁波による誤作動、破壊を防ぐために

●**カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。**

電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

結露を防ぐために

●**カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。**

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露 (水滴) が発生することがあります。

結露が発生したときは

●**カメラを使用しないでください。**

故障の原因になります。
カメラを使う場合は、カード、バッテリー、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまでお待ちください。

バッテリーの取り扱い

バッテリー残量の確認

以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

表示	内容
	バッテリーは十分にあります。
	長時間お使いになる場合は、早めに充電してください。
（赤点滅）	バッテリー残量が低下しています。充電をおすすめします。
バッテリーを交換してください	バッテリーの残量が少なく、動作不能です。ただちにバッテリーを充電してください。

取り扱い上の注意

●バッテリーの端子は、常にきれいにしておいてください。

汚れていると、接触不良の原因となります。充電や使用する前に、先の細いやわらかい綿棒などで乾拭きしてください。

●低温下では、バッテリーの性能が低下したり、バッテリーアイコン（）が早めに表示されることがあります。

使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、バッテリーの性能が回復することがあります。

●ポケットで温めるときは、キーホルダーなどの金属類と一緒に入れないでください。

バッテリーがショートするおそれがあります。

●キーホルダーなどの金属類でバッテリーの「⊕」と「⊖」の端子を接触（ショート）させないでください（図 A)。持ち運ぶときや、お使いにならないときは、必ず端子カバーを取り付けてください（図 B)

バッテリーパックの破損の原因となることがあります。

端子カバーの取り付けかたによって、バッテリーの充電状態を確認することができます（図 C、D)。

図 A

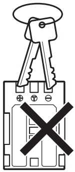


図 B

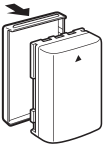
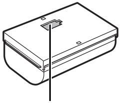


図 C
充電済
バッテリー



青地が窓から見える
ように取り付けます。

図 D
使い切った
バッテリー

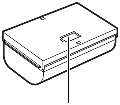


図 C の逆に取り
付けます。

●バッテリーを使い切ってから、湿度の低い室温（0 ～ 30 ℃）で保管してください。

フル充電の状態で長期間（1 年くらい）保管すると、バッテリーの寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがあります。また長期間使用しないときは、1 年に 1 回程度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。

充電する

●このバッテリーはリチウムイオン充電池のため、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。

●バッテリーを使い切った状態からフル充電になるまでの時間は、約 1 時間 45 分です。（当社測定基準による）

・5 ～ 40 ℃の範囲で充電することをおすすめします。

・充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。

●使用する当日または前日に充電してください。

充電しておいたバッテリーも、少しずつ自然に放電しています。

●規定の充電をしたにもかかわらず、著しく使用できる時間が低下するときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーと交換してください。

Li-ion

・この製品には充電式のリチウムイオン電池を使用しています。

・リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

・リチウムイオン電池の回収、リサイクルについては、下記のキヤノンホームページ上で確認できます。

・交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。

・リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします。

- 製品､リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
- 「有限責任中間法人 JBRC」および「キヤノン / キヤノンマーケティングジャパン」

有限責任中間法人 ＪＢＲＣ ホームページ

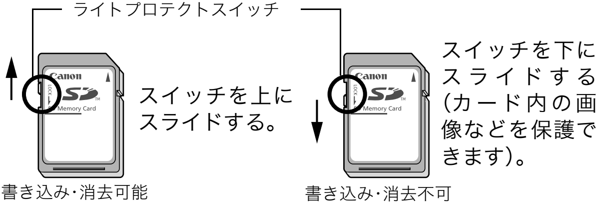
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

キヤノンサポートページ

canon.jp/support

カードの取り扱い

SDメモリーカード、SDHCメモリーカードのライトプロテクト(書き込み防止)スイッチについて



取り扱い上のご注意

- **曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。**
- **分解したり、改造しないでください。**
- **端子部にゴミや水、異物などを付着させたり、手や金属で触れたりしないでください。**
- **貼られているラベルをはがしたり、別のラベルやシールを貼ったりしないでください。**
- **文字を書くときは、鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ず油性ペンをお使いください。**
- **下記の場所で使用したり、保管しないでください。**
  - ・ほこりや砂ぼこりの立つ場所
  - ・高温多湿の場所
- **大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。**
  電気ノイズ、静電気、カメラやカードの故障などにより、カード内のデータが壊れたり、消失することがあります。

初期化

●初期化すると、プロテクトした画像も消去されます。

●このカメラで初期化したカードをお使いになることをおすすめします。

・付属のカードは、そのままお使いになれます。

・カメラが正しく動作しないときは、カードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。

・キヤノン製以外のカードで正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。

・他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。

●正しく初期化されないときは、電源を切ってから、カードを入れ直し、再度初期化してください。

●カード内のデータは、初期化や削除をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消去されません。譲渡・廃棄するときは、ご注意ください。廃棄するときは、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

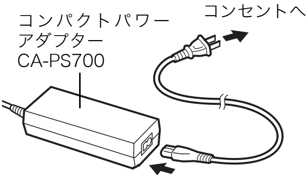
電源キット（別売）の使いかた

AC アダプターキット ACK-DC20 を使う

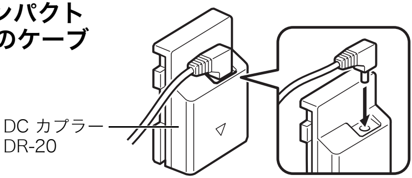
カメラを連続して長時間お使いになるときや、パソコンと接続するときは、AC アダプターキット ACK-DC20（別売）のご利用をおすすめします。

> カメラの電源を切って、コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しを行ってください。

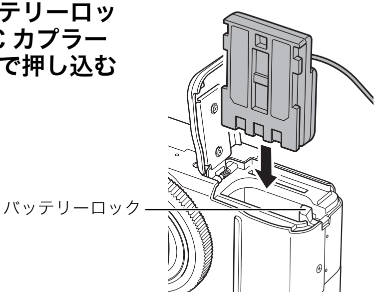
1 コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む



2 DC カプラーにコンパクトパワーアダプターのケーブルを接続する

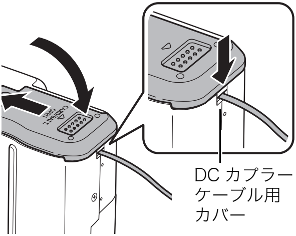


3 カバーを開き、バッテリーロックを押しながら DC カプラーを、ロックされるまで押し込む



4 **ケーブルで DC カプラーケーブル用カバーを押しながら、カバーを閉じる**

・使用後はコンパクトパワーアダプターを取り外してください。

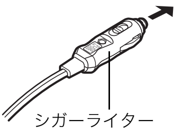


カーバッテリーチャージャー CBC-NB2 を使う

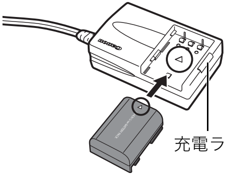
カーバッテリーチャージャー CBC-NB2（別売）をお使いになると、自動車のシガーライターソケットから電源を取って、バッテリーを充電できます。
カーバッテリーチャージャーをお使いになるときは、必ず自動車のエンジンをかけた状態にしてください。エンジンをかけないで使用すると、バッテリーあがりの原因となります。また、取り外すときも、必ず自動車のエンジンをかけたまま行ってください。

- エンジンを止めるときは充電を中止し、シガープラグをシガーライターソケットから抜いてください。
- 充電を再開するときは、エンジンをかけてからシガープラグをシガーライターソケットに差し込んでください。
- このカーバッテリーチャージャーはマイナス接地車専用です。プラス接地車ではお使いになれません。

1 **自動車のエンジンをかけた状態で、シガープラグを自動車のシガーライターソケットに接続する**



2 **バッテリーを図のように、バッテリーチャージャーの奥までしっかり押し込む**



・バッテリーは、バッテリーの矢印とカーバッテリーチャージャーの矢印を合わせて正しく入れてください。
・充電中は充電ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。
・充電終了後、バッテリーを取り出してから、カーバッテリーチャージャーをシガーライターソケットから抜きます。

レンズ(別売)の使いかた

別売のワイドコンバーター WC-DC58B、テレコンバーター TC-DC58C を取り付けるときは、別売のコンバージョンレンズアダプター LA-DC58H が必要です。

- ワイドコンバーター / テレコンバーター をお使いになるときは、カメラに確実に取り付けてください。緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。
- ワイドコンバーター / テレコンバーター は、絶対に太陽や強烈なライトに向けないでください。レンズをのぞくと失明の恐れがあります。

- 内蔵ストロボを使用すると、画像の周辺部(特に画面右下)が暗くなります。
- テレコンバーターは、テレ端の位置でお使いください。それ以外のズーム位置でお使いになると、画像が欠け(ケラレ)ることがあります。
- ワイドコンバーターは、ワイド端の位置でお使いください。
- ファインダーを使用すると、ファインダー内の一部が欠け(ケラレ)て見えます。液晶モニターをお使いください。

■ ワイドコンバーター WC-DC58B

広角撮影をするためのレンズで、焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の 0.75 倍になります（ねじ径 58mm）。

■ テレコンバーター TC-DC58C

望遠撮影をするためのレンズで、焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の 2 倍になります（ねじ径 58mm）。

ワイドコンバーターやテレコンバーターにフィルターやレンズフードは取り付けられません。

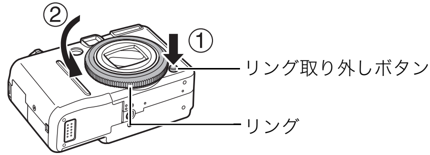
■ コンバージョンレンズアダプター LA-DC58H

ワイドコンバーターやテレコンバーターを取り付けるためのレンズアダプターです。

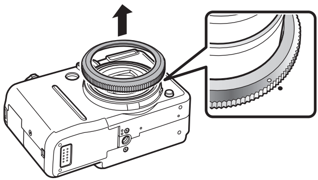
レンズを取り付ける

1 **電源が切れていることを確認する**

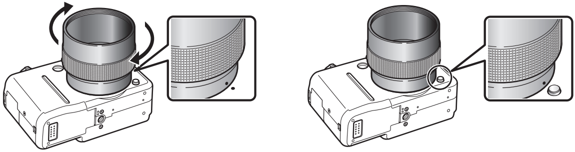
2 **リング取り外しボタンを押しながら（①）、リングを矢印の方向に回す（②）**



3 **リングの○とカメラの●が合ったら、リングを上に引き上げて外す**

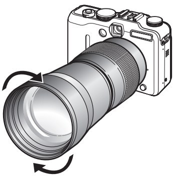


4 コンバージョンレンズアダプターの後部の●をカメラの●に合わせてから、ロックするまで矢印の方向に回して取り付ける



・コンバージョンレンズアダプターを取り外すときは、リング取り外しボタンを押しながら、反対方向に回します。

5 レンズを矢印の方向に回して確実に取り付ける



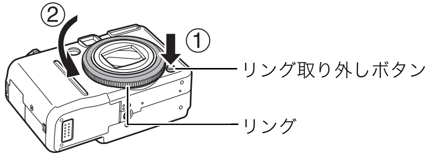
- ご使用前には、レンズ面のゴミをブロワーブラシなどで完全に取り除いてください。ゴミが付いていると、ゴミにピントが合ってしまいます。
- レンズには、指紋がつきやすいのでご注意ください。
- リングを外すときは、カメラやコンバージョンレンズアダプターを落とさないように注意してください。
- レンズを取り付けて で撮影した画像は、パソコンを使ってパノラマ画像合成ソフトウェア「PhotoStitch」で正しく合成できません。

リングの色を変える

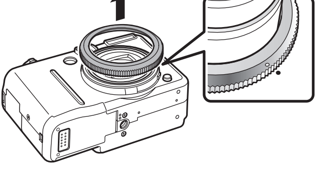
別売のリングアクセサリーキット RAK-DC1 で、リングの色を変えることができます。

1 電源が切れていることを確認する

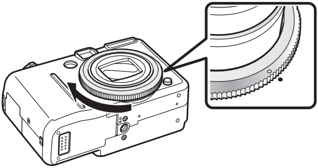
2 リング取り外しボタンを押しながら(①)、リングを矢印の方向に回す(②)



3 リングの○とカメラの●が合ったら、リングを上に引き上げて外す



4 交換するリングを載せて、リングの○とカメラの●を合わせ、リングを矢印の方向に回す

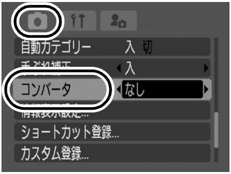


コンバーターを設定する

別売のワイドコンバーター WC-DC58B やテレコンバーター TC-DC58C をカメラに取り付けて、［手ぶれ補正］機能（p. 81）を使って撮影する場合に設定します。

1 [コンバータ]を選ぶ

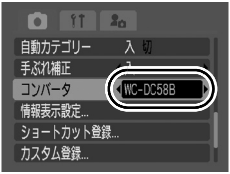
1. MENU を押す
2. [📷] メニューから、▲/▼ で[コンバータ]を選ぶ



2 設定する

1. ◀/▶ で［WC-DC58B]または[TC-DC58C]を選ぶ
2. MENU を押す

・取り付けたレンズを選びます。



レンズをカメラから取り外したときは、コンバータを［なし］の設定に戻してください。

外付けストロボ(別売)の使いかた

➔ 各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 270)

撮影モード AUTO SCN* □ 🎥 P Tv Av M

*🏃、🎆、ISO3200 では使用できません。

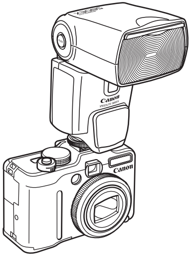
別売の外付けストロボを取り付けると、より自然で鮮明なストロボ撮影ができます。
キヤノンスピードライト 220EX、430EX、580EX II を取り付けると、自動調光で発光します（Mモードまたはストロボの［発光モード］が［マニュアル］のときを除く）。それ以外のストロボをお使いの場合、マニュアルで発光するか、または発光しない場合があります。
お使いのストロボの取扱説明書も併せてご覧ください。

*スピードライト 220EX、430EX、580EX II の取扱説明書に記載されている撮影機能の一部は、このカメラに取り付けたときに、お使いいただけません。このカメラでお使いになる場合は、最初に本書をお読みください。

AUTO、SCN モードで外付けストロボをお使いになる場合、自動調光で発光するので、設定を変更できません。

外付けストロボを取り付ける

1 カメラ上部のアクセサリーシューに取り付ける



2 外付けストロボの電源を入れ、カメラの電源を入れる

・液晶モニターに ⚡（赤色）が表示されます。

3 モードダイヤルを、撮影したいモードに合わせる

- スピードライト 220EX、430EX をお使いの場合*
  - ・ストロボ同調最高シャッタースピードは 1/250 秒です。
  - ・［発光モード］が［オート］のとき自動調光で発光します。
  - ・自動調光時は調光補正量を、マニュアル発光時は発光量を調節できます（p. 146）。
  - ・カメラ側とストロボ側（E-TTL モード時）の両方で調光補正を行った場合は、ストロボ側の設定が優先され、カメラ側の設定は機能しません（430EX のみ）。
  - ・撮影モードが**M**、またはストロボの［発光モード］が［マニュアル］のときは、カメラのストロボ発光量調整画面で(p. 147)、外付けストロボの発光量を調節できます。絞り数値と ISO 感度は、お使いのストロボの取扱説明書に記載されているガイドナンバーを参考に、被写体との距離から最適値を設定してください。スピードライト 430EX を取り付けているときは、ストロボ側とカメラ側の両方で調節できます（ストロボ側の設定が優先されます）。ストロボ側で調節するときは、ストロボをマニュアル発光モードにしてください。スピードライト 220EX の場合は、カメラ側でのみ調節できます。また、E-TTL 自動調光モードでも、調光補正値を変更すると発光量を変更できます。

＊380EX、420EX、550EX、580EX も同様にお使いになれます。

- **スピードライト 580EX II をお使いの場合**
  - ・ストロボ同調最高シャッタースピードは 1/250 秒です。
  - ・ストロボの［発光モード］が［オート］のとき自動調光で発光します。
  - ・ストロボの［発光モード］が［オート］のときは調光補正を、［マニュアル］のときは発光量を調節できます（p. 146、147）。
  - ・撮影モードが**M**、またはストロボの［発光モード］が［マニュアル］のときは、カメラのストロボ発光量調整画面で（p. 147）、外付けストロボの発光量を調節できます。ストロボ側からも調節できます。絞り数値と ISO 感度は、お使いのストロボの取扱説明書に記載されているガイドナンバーを参考に、被写体との距離から最適値を設定してください。
    また、E-TTL 自動調光モードでも、調光補正値を変更すると発光量を変更できます。
  - ・撮影モードが**M**のとき、ストロボ側がE-TTL自動調光モードに設定されていても、カメラ側でストロボの発光量を設定できます。なお、ストロボの表示は<E-TTL>のままですが、マニュアル発光します。
- **他のキヤノン製ストロボ（スピードライト EX シリーズ以外）をお使いの場合**
  - ・フル発光しますので、シャッタースピードと絞り数値を適切に設定してください。

4 シャッターボタンを半押しする

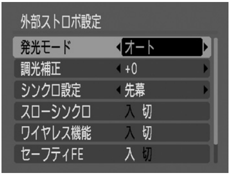
・ストロボのパイロットランプが点灯すると、充電が完了です。

5 シャッターボタンを全押しして撮影する

外付けストロボを設定する

1 ストロボ設定画面を表示する

1. ⚡を長く(1 秒以上)押す



2 設定する

1. ▲/▼ で設定したい項目を選ぶ
2. ◀/▶ 項目に応じた設定をする
3. ○(MENU) を押す

・設定できる項目はお使いのストロボによって異なります。設定項目の詳細は、お使いのストロボおよびスピードライトトランスミッターの取扱説明書をご覧ください。

＜スピードライト 220EX/430EX の場合の設定項目＞

＊：初期設定

項目	選択項目	撮影モード			
		P	Tv	Av	M
発光モード	オート	○＊	○＊	○＊	－
	マニュアル	○	○	○	○＊
調光補正 1)	－3～＋3	○	○	○	－
発光量 2)	1/64～1/1(1/3段ステップ)	○	○	○	○
シンクロ設定	先幕	○＊	○＊	○＊	○＊
	後幕	○	○	○	○
スローシンクロ	入	○	○＊	○	○＊
	切	○＊	－	○＊	－
セーフティ FE1)	入	○＊	○＊	○＊	－
	切	○	○	○	○＊

　:カメラの電源を切っても解除されません。
1)発光モードが［オート］のときに設定可能
2)発光モードが［マニュアル］のときに設定可能

＜スピードライト 580EX II の場合の設定項目＞

＊：初期設定

項目	選択項目	撮影モード			
		P	Tv	Av	M
発光モード	オート	○＊	○＊	○＊	ー
	マニュアル	○	○	○	○＊
調光補正 1)	ー3～＋3	○	○	○	ー
発光量 2)	1/128～1/1(1/3段ステップ)	○	○	○	○5)
シンクロ設定	先幕	○＊	○＊	○＊	○＊
	後幕	○	○	○	○
	ハイスピード	○	○	○	○
スローシンクロ	入	○	○＊	○	○＊
	切	○＊	ー	○＊	ー
ワイヤレス機能 3)	入	○	○	○	○
	切	○＊	○＊	○＊	○＊
セーフティ FE 1)	入	○＊	○＊	○＊	ー
	切	○	○	○	○＊
ストロボ設定初期化 4)	すべての設定を初期状態に戻します。	○	○	○	○

:カメラの電源を切っても解除されません。

1) 発光モードが［オート］のときに設定できます。
2) 発光モードが［マニュアル］のときに設定できます。
3) カメラ側では［入］/［切］のみ設定できます。その後の設定は、ストロボ側で設定します。
4) ［スローシンクロ］と［セーフティ FE］は、カメラの［ ］メニューの［初期設定］でも初期状態に戻ります（p. 68）。
5) ストロボが E-TTL 自動調光モードの場合は、カメラの電源を切っても解除されません。

［ ］メニューの［ストロボ制御］でも設定できます（p. 48）。

- 外付けストロボの電源が入っていないと、[ストロボ制御]は選択できません。外付けストロボの設定をするときは、外付けストロボの電源を入れてから行ってください。
- 外付けストロボを取り付けているときは、内蔵ストロボの設定はできません。
- カメラ側で調光補正を行う場合は、ストロボ側の調光補正を[＋0]に設定してください。
- ストロボ側でマルチ発光に設定されている場合は、ストロボの設定メニューは選択できません（580EX II のみ）。
- [ワイヤレス機能]を[入]に設定しているときは、[シンクロ設定]を[後幕]に設定することはできません。カメラ側で[後幕]に設定していても、[先幕]に変更されます。
- 連続撮影時、ストロボがクイック発光（パイロットランプが緑色点灯）の状態でも撮影できます。なお、フル発光（パイロットランプが赤色点灯）時に比べ、ストロボの発光量が少なくなることがあります。
- ストロボ発光時は、フォーカスブラケット撮影およびAEB撮影はできません。ストロボを発光して撮影した場合は、通常の1画像撮影になります。
- 他社のストロボ（特に高圧タイプのストロボ）やストロボ用付属品を使用すると、カメラが正常な機能を発揮しなかったり、故障の原因となることがありますのでご注意ください。

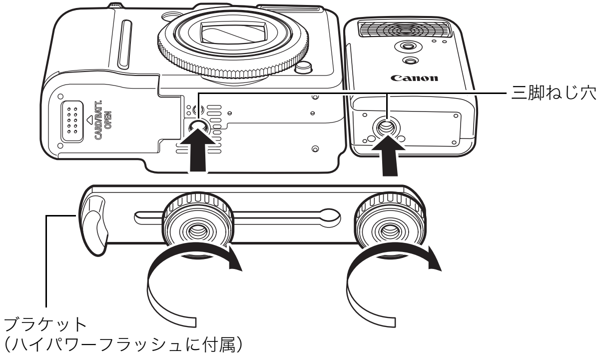
- スピードライト 220EX、430EX、580EX II で使用できる機能は、次のとおりです＊。
  - 自動調光（430EX/580EX II は、E-TTL モードでお使いください。）
  - FE ロック機能（**M**または［ストロボ発光モード］が［マニュアル］では使用できません。）
  - シンクロ設定（先幕 / 後幕）（430EX をお使いの場合、ストロボ側の後幕設定が優先されます。）
  - スローシンクロ機能
  - ストロボ調光補正
  - オートズーム機能（220EX には搭載されていません。）
  - マニュアル発光
  - ハイスピードシンクロ

＊380EX、420EX、550EX、580EX も同様にお使いになれます。

補助ストロボ(別売)の使いかた

ハイパワーフラッシュ HF-DC1

被写体が遠すぎて内蔵ストロボの光が届かないときに使用する外付け用補助ストロボです。次のようにカメラとハイパワーフラッシュをブラケットで固定して撮影してください。
ハイパワーフラッシュに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。



- 以下の場合、ハイパワーフラッシュは発光しません。
  - 撮影モードが**M**のとき
  -［シンクロ設定］が［後幕］のとき
  -［発光モード］が［マニュアル］のとき
- 電池が消耗するとハイパワーフラッシュの充電時間が長くなります。使用後はハイパワーフラッシュの電源 / 発光モードスイッチを必ず切ってください。
- 撮影中は、発光部や受光部を指でふさがないように注意してください。
- 撮影場所の周囲で他のカメラがストロボを使用していると、ハイパワーフラッシュが発光することがあります。
- 日中の野外や反射物がないときは、ハイパワーフラッシュが発光しないことがあります。

- 連続して撮影するときは、1画像目の撮影時は発光しますが、2画像目以降は発光しません。
- ブラケットの取り付けねじは、しっかり締め付けてください。カメラとハイパワーフラッシュが落下して故障の原因となります。

- ハイパワーフラッシュをブラケットに固定する前にリチウム電池（CR123A または DL123）が入れてあるか確認してください。
- 被写体に正しくストロボが当たるように、カメラとハイパワーフラッシュの前面が平行になるように固定してください。
- ハイパワーフラッシュを取り付けた状態でも三脚はお使いになれます。

電池について

● 電池の使用可能時間が著しく短いとき

電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。

● 寒冷地でお使いになるとき

予備として市販のリチウム電池（CR123A または DL123）を用意してください。使用直前までポケットなどに入れて温めてから交互にお使いになることをおすすめします。

● お使いにならないとき

電池をハイパワーフラッシュに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。ハイパワーフラッシュから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。

海外で使うとき

電源について

海外でもお使いになれます。

バッテリーチャージャーや AC アダプターキットは、AC100 ～ 240V 50/60Hz までの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1 つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。
変換プラグアダプターやコンセントの形状については、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーを海外旅行用の電子変圧器などに接続すると、故障、発熱、火災、感電、けがの原因となることがありますので、接続しないでください。

テレビでの再生

ビデオ出力方式は、初期設定では日本国内で採用している NTSC 方式に設定されていますが、海外の別方式（PAL 方式：主にヨーロッパ、オセアニア、アジア（一部地域を除く））に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください (p. 52)。

世界時計を設定する（p. 65）

カメラのお手入れ

絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

カメラ本体

やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。

レンズ

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払った後、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

カメラ本体やレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りの修理受付窓口（別紙でご確認ください）にご相談ください。

ファインダー、液晶モニター

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。

絶対に液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因となります。

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

PowerShot G9

(W):ワイド端　(T):テレ端

カメラ部有効画素数	：約 1,210 万画素
撮像素子	：1/1.7 型 CCD（総画素数 約 1,240 万画素）
レンズ	：7.4（W）－ 44.4（T）mm (35mm フィルム換算 35（W）－ 210（T）mm) F2.8（W）－ F4.8（T）
デジタルズーム	：約 4.0 倍（光学ズームと合わせて最大約 24 倍）
光学ファインダー	：実像式ズームファインダー 視野率：約 80%（代表値） アイポイント：15mm 視度調節：-3.0 ～ +1.0 1/m（dpt）
液晶モニター	：3.0 型低温ポリシリコン TFT 液晶カラーモニター（広視野角タイプ）約 23.0 万画素、視野率 100%
AF 方式	：TTL オートフォーカス AF ロックおよびマニュアルフォーカス可能 AF フレームモード：顔優先 /AiAF（9 点）/ 中央 / アクティブ
撮影距離 （レンズ先端より）	：通常撮影：50cm ～∞ マクロ撮影：1 ～ 50cm（W） マニュアルフォーカス撮影：1cm ～∞（W）/ 50cm ～∞（T） スポーツモード：1m ～∞（W）/3m ～∞（T） キッズ & ペット：1m ～∞
シャッター	：メカニカルシャッター ・電子シャッター
シャッタースピード	：15 ～ 1/2500 秒 ・撮影モードによって異なる ・シャッタースピードが 1.3 秒以上のときはノイズリダクション処理あり

手ぶれ補正	：レンズシフト式 入 / 撮影時＊ / 流し撮り＊ / 切 ＊静止画のみ
測光方式	：評価＊ / 中央部重点平均 / スポット＊＊ ＊ 顔優先 AF 時は顔の明るさを考慮 ＊＊ 中央固定 /AF 枠連動
露出補正	：± 2 段（1/3 段ステップ）
ISO 感度 （標準出力感度・推奨露光指数）	：オート＊、高感度オート＊、ISO 80/100/200/400/800/1600 ＊オート、高感度オート設定時は、カメラが最適値に自動設定
ND フィルター（内蔵）	：減光 3 段分（光量を 1/8 に減少）
ホワイトバランス	：オート / 太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯 H / ストロボ / 水中 / マニュアル 1/ マニュアル 2
内蔵ストロボ	：オート / 常時発光 / 発光禁止 ストロボ調光補正 ± 2 段（1/3 段ステップ）/ 赤目緩和 / 発光量（3 段階）/FE ロック / スローシンクロ / 後幕シンクロ / セーフティ FE 設定可能
内蔵ストロボ 調光範囲	：30cm ～ 4.0m（W）/50cm ～ 2.5m（T） （ISO 感度設定：オート）
外部ストロボ	：ストロボ調光補正± 3 段（1/3 段ステップ）/ 赤目緩和 / 発光量（19 段階＊）/FE ロック / スローシンクロ / 後幕シンクロ / ハイスピードシンクロ / セーフティ FE/ ワイヤレス機能（入 / 切）設定可能 ＊580EX II の場合は 22 段階
外部ストロボ接点	：アクセサリーシュー部シンクロ接点 （以下のストロボの使用を推奨） キヤノン スピードライト 220EX/430EX/580EX/580EX II

撮影モード	：オート クリエイティブゾーン： P プログラム、Tv シャッタースピード優先、Av 絞り優先、M マニュアル、C1 カスタム 1、C2 カスタム 2 イメージゾーン： スペシャルシーン*、スティッチアシスト、動画** * ポートレート、風景、夜景、スポーツ、ナイトスナップ、キッズ&ペット、パーティー / 室内、新緑 / 紅葉、スノー、ビーチ、打上げ花火、水族館、水中、ISO 3200、ワンポイントカラー、スイッチカラー ** スタンダード、ラージ、ライト、ワンポイントカラー、スイッチカラー、インターバル
連続撮影	：約 1.5 画像 / 秒（ラージ・ファインモードのとき） 約 0.7 画像 / 秒（AF 連続撮影、ラージ・ファインモードのとき） 約 0.8 画像 / 秒（LV 連続撮影、ラージ・ファインモードのとき）
セルフタイマー	：約 10 秒後 / 約 2 秒後 / カスタム
リモート撮影	：パソコン接続時、付属のソフトウェアで撮影可能
記録媒体	：SD メモリーカード /SDHC メモリーカード / マルチメディアカード /MMCplus カード / HC MMCplus カード
ファイルフォーマット	：DCF 準拠*、DPOF 対応 *DCF は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で、主として DSC 等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
データタイプ	：静止画：Exif 2.2（JPEG）* /RAW（CR2） ：動画：AVI（画像データ：Motion JPEG、音声データ：WAVE（モノラル）） ：音声メモ、サウンドレコーダー：WAVE（モノラル） *このデジタルカメラは、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Print は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print 対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷結果を得ることができます。
圧縮率	：スーパーファイン / ファイン / ノーマル

記録画素数（静止画）	：ラージ　：　4000 × 3000 画素 ミドル 1：　3264 × 2448 画素 ミドル 2：　2592 × 1944 画素 ミドル 3：　1600 × 1200 画素 スモール：　640 ×　480 画素 ワイド　：　4000 × 2248 画素 ロウ　　：　4000 × 3000 画素
（動画）	：スタンダード、ワンポイントカラー、スイッチカラー ：640 × 480 画素（30 フレーム / 秒） 640 × 480 画素（30 フレーム / 秒 LP） ：320 × 240 画素（30 フレーム / 秒） カードの容量がいっぱいになるまで撮影可能＊ ：（1 回の最大記録容量：4GB ＊＊） ラージ：1024 × 768 画素（15 フレーム / 秒） カードの容量がいっぱいになるまで撮影可能＊ ：（1 回の最大記録容量：4GB ＊＊） ライト：160 × 120 画素　（15 フレーム / 秒） ：1 回の最長記録時間：3 分 インターバル ：640 × 480 画素（1 フレーム / 秒（撮影間隔：1 秒）、0.5 フレーム / 秒（撮影間隔：2 秒）） （再生時　15 フレーム / 秒） 1 回の最長記録時間：2 時間 ＊ 超高速のカード使用時（推奨カード：SDC-512MSH） ＊＊ 記録容量が 4GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止します。カードの容量、データ書き込み速度により、4GB または 1 時間に満たなくても記録を停止する場合があります。
音声	：量子化ビット：16 ビット サンプリングレート 音声メモ、動画（ライト）：11.025kHz 動画（ライト以外）：44.100kHz サウンドレコーダー：11.025kHz/22.050kHz/44.100kHz

再生モード	：シングル再生（ヒストグラム表示可能）/ インデックス再生（サムネイル 9 画像）/ 拡大再生（液晶モニター上で最大約 10 倍に拡大可能、拡大した状態で画像送りが可能）/ 赤目補正 / マイカテゴリー / ジャンプ（日付 / マイカテゴリー / フォルダ / 動画 /10 枚 /100 枚。インデックス再生時は、9 画像ごとに再生）/ スライドショー / レタッチマイカラー / 音声メモ（最長 1 分まで記録 / 再生が可能）/ 動画再生（編集 / スロー再生可能）/ サウンドレコーダー（最長 2 時間まで記録 / 再生が可能）/ リサイズ
ダイレクトプリント方式	：PictBridge / CP ダイレクト / Bubble Jet ダイレクト対応
マイカメラ（カスタマイズ）機能	：起動画面 / 起動音 / 操作音 / セルフタイマー音 / シャッター音
インターフェース	：USB 2.0 Hi-Speed（mini-B）、PTP［Picture Transfer Protocol］ 映像 / 音声出力端子（NTSC または PAL 切換可能、モノラル音声）
通信プロトコル設定	：MTP、PTP
電源	：バッテリーパック NB-2LH（専用リチウムイオン充電池） AC アダプターキット ACK-DC20
動作温度	：0 〜 40 ℃
動作湿度	：10 〜 90%
大きさ（突起部を除く）	：106.4 × 71.9 × 42.5mm
質量（本体のみ）	：約 320g

バッテリー性能（バッテリーパック NB-2LH（フル充電）

撮影画像数		再生時間
液晶モニター表示時（CIPA 測定法準拠）	液晶モニター非表示時	
約 240 画像	約 600 画像	約 7 時間

- 撮影画像数は、撮影状況、撮影モードなどにより異なります。
- 動画データは除きます。
- 使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります。このような場合は、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、バッテリーの性能が回復することがあります。

＜測定条件＞

撮影：常温（23 ± 2 ℃）・常湿（50 ± 20%）で、2回に1回ストロボを発光させながら、30 秒間隔でワイド端とテレ端で交互に撮影し、10 画像撮影後に電源切。十分な時間*が経過した後、再び電源を入れて同様の方法で撮影を繰り返す。

・キヤノンブランドのメモリーカードを使用

＊バッテリーの温度が常温に戻るまでの時間

再生：常温（23 ± 2 ℃）・常湿（50 ± 20%）の環境において、1 画像あたり 3 秒間隔で連続再生。

バッテリーの取り扱い（p. 225）

カードの種類と記録可能画像数 / 時間（目安）

□：付属のカード

記録画素数	圧縮率	32MB（付属のカード）	SDC-128M	SDC-512MSH
L（ラージ）4000 × 3000 画素	スーパーファイン	5	23	91
	ファイン	9	39	**155**
	ノーマル	**20**	82	**321**
M1（ミドル 1）3264 × 2448 画素	スーパーファイン	8	35	**139**
	ファイン	**14**	59	**231**
	ノーマル	**30**	**123**	**479**
M2（ミドル 2）2592 × 1944 画素	スーパーファイン	**11**	49	**190**
	ファイン	**21**	87	**339**
	ノーマル	**42**	**173**	**671**
M3（ミドル 3）1600 × 1200 画素	スーパーファイン	**30**	121	**471**
	ファイン	**53**	**217**	**839**
	ノーマル	**102**	**411**	**1590**
S（スモール）640 × 480 画素	スーパーファイン	**114**	**460**	**1777**
	ファイン	**177**	**711**	**2747**
	ノーマル	**278**	**1118**	**4317**
W（ワイド）4000 × 2248 画素	スーパーファイン	7	31	**122**
	ファイン	**12**	53	**206**
	ノーマル	**27**	109	**425**
RAW（ロウ）4000 × 3000 画素	―	1	6	27
RAW + L 4000 × 3000 画素	―	1	5	23

■：スムーズ連写（p. 108）できます。（物理フォーマット時）
当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件により変わります。

動画

□ :付属のカード

	記録画素数 / フレームレート		32MB	SDC-128M	SDC-512MSH
スタンダード	640	640 × 480 画素 30 フレーム / 秒	14 秒	1 分 1 秒	3 分 57 秒
ワンポイントカラー	640 LP	640 × 480 画素 30フレーム/秒 LP	28 秒	1 分 56 秒	7 分 30 秒
スイッチカラー	320	320 × 240 画素 30 フレーム / 秒	40 秒	2 分 42 秒	10 分 29 秒
ラージ	1024	1024 × 768 画素 15 フレーム / 秒	14 秒	1 分 1 秒	3 分 57 秒
ライト	160	160 × 120 画素 15 フレーム / 秒	3 分 15 秒	13 分 2 秒	50 分 21 秒
インターバル	1" *	640 × 480 画素	7 分 45 秒	31 分 45 秒	2 時間 3 分 30 秒
	2" **		15分30秒	1 時間 3 分 30 秒	4 時間 7 分

＊ 1 フレーム / 秒(撮影間隔:1 秒)　＊＊ 0.5 フレーム / 秒(撮影間隔:2 秒)

・ 動画の 1 回の最長記録時間は、(ライト):3 分です。表中の数値は、繰り返し撮影した場合の最大記録可能時間です。
・ (インターバル)は 15 フレーム / 秒で再生されるため、記録可能時間と再生時間は異なります。

サウンドレコーダーの音声サイズと記録時間(目安)

□ :付属のカード

	音声サイズ	32MB	SDC-128M	SDC-512MSH
11.025kHz	22KB/ 秒	24 分 13 秒	1 時間 36 分 59 秒	6 時間 14 分 16 秒
22.050kHz	44KB/ 秒	12 分 6 秒	48 分 30 秒	3 時間 7 分 8 秒
44.100kHz	88KB/ 秒	6 分 3 秒	24 分 15 秒	1 時間 33 分 34 秒

1 画像の容量(目安)

記録画素数		圧縮率＊		
L	4000 × 3000 画素	5208KB	3084KB	1474KB
M1	3264 × 2448 画素	3436KB	2060KB	980KB
M2	2592 × 1944 画素	2503KB	1395KB	695KB
M3	1600 × 1200 画素	1002KB	558KB	278KB
S	640 × 480 画素	249KB	150KB	84KB
W	4000 × 2248 画素	3903KB	2311KB	1105KB
RAW	4000 × 3000 画素	17076KB		
RAW + L	4000 × 3000 画素	20160KB		

＊RAW および RAW ＋ JPEG 時は選択できません。

	記録画素数 / フレームレート		容量
スタンダード ワンポイントカラー スイッチカラー	640	640 × 480 画素 30 フレーム / 秒	1963KB/ 秒
	640 LP	640 × 480 画素 30 フレーム / 秒 LP	1003KB/ 秒
	320	320 × 240 画素 30 フレーム / 秒	703KB/ 秒
ラージ	1024	1024 × 768 画素 15 フレーム / 秒	1963KB/ 秒
ライト	160	160 × 120 画素 15 フレーム / 秒	131KB/ 秒
インターバル	1" ＊	640 × 480 画素	64KB/ 秒
	2" ＊＊		32KB/ 秒

＊ 1 フレーム / 秒(撮影間隔:1 秒)　＊＊ 0.5 フレーム / 秒(撮影間隔:2 秒)

マルチメディアカード

インターフェース	マルチメディアカード規格準拠インターフェース
大きさ	32.0 × 24.0 × 1.4mm
質量	約 1.5g

SD メモリーカード

インターフェース	SD メモリーカード規格準拠インターフェース
大きさ	32.0 × 24.0 × 2.1mm
質量	約 2g

バッテリーパック NB-2LH

形式	リチウムイオン充電池
公称電圧	DC 7.4V
公称容量	720mAh
充放電回数	約 300 回
使用温度	0 ～ 40 ℃
大きさ	33.3 × 45.2 × 16.2mm
質量	約 43g

バッテリーチャージャー CB-2LW

定格入力	AC100 ～ 240V（50/60Hz） 0.12A（100V）～ 0.065A（240V）
定格出力	DC 8.4V、0.55A
充電時間	約 1 時間 45 分（NB-2LH 充電時）
使用温度	0 ～ 40 ℃
大きさ	56.0 × 91.0 × 22.5mm
質量	約 68 g

コンパクトパワーアダプター CA-PS700
（別売の AC アダプターキット、ACK-DC20 に付属）

定格入力	AC100 ～ 240V（50/60Hz）
定格出力	DC7.4V、2.0A
使用温度	0 ～ 40 ℃
大きさ	45.0 × 112.0 × 29.0mm（本体のみ）
質量	約 185g（電源コードを除く）

カーバッテリーチャージャー CBC-NB2(別売)

定格入力	DC12V/24V
定格出力	DC8.4V、0.55A
充電時間	約 1 時間 30 分(NB-2LH 充電時)
使用温度	0 〜 40 ℃
大きさ	91.0 × 29.5 × 56.0mm
質量	約 145g(電源コードを除く)

ワイドコンバーター WC-DC58B(別売)

倍率	0.75 倍
焦点距離＊1	26.3mm 相当(35mm フィルム換算)
撮影距離＊1	30cm 〜∞(W)＊2
ねじ径	58mm 標準フィルターねじ＊3
最大径×長さ	97.0 × 49.5mm
質量	約 365g

テレコンバーター TC-DC58C(別売)

倍率	2 倍
焦点距離＊4	420mm 相当(35mm フィルム換算)
撮影距離＊4	1.8m 〜∞(T)＊2
ねじ径	58mm 標準フィルターねじ＊3
最大径×長さ	80.0 × 81.3mm
質量	約 335g

コンバージョンレンズアダプター LA-DC58H(別売)

ねじ径	58mm　標準フィルターねじ
最大径×長さ	63.5 × 50.6mm
質量	約 25g

(W):ワイド端(T):テレ端

＊1 PowerShot G9 装着時(ワイド端)
＊2 装着したコンバーターの先端より
＊3 PowerShot G9 に装着時は、コンバージョンレンズアダプター LA-DC58H が必要
＊4 PowerShot G9 装着時(テレ端)

CANON iMAGE GATEWAY を利用する

CANON iMAGE GATEWAY は、キヤノンのデジタルカメラを購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録（無料）されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

・バージョンアップなど、サポート情報の電子メール配信サービス
・オンラインアルバムサービス
・携帯電話アルバム通知・閲覧サービス
・ホームプリンティングサービス
・プリント注文サービス（有料）
・オリジナル写真集（フォトブック）作成サービス（有料）
・マイカメラコンテンツのダウンロード

http://www.imagegateway.net

・最新のサービス内容は、上記のサイトでご確認いただけます。
・会員登録方法は、上記のサイト、またはソフトウェアクイックガイドでご確認いただけます。

＊インターネットに接続できる環境（プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。
＊プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

索引

数字 / アルファベット

ア行

カ行

サ行

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド（本書）に従って正しい取り扱いをしてください。

各撮影モードで設定できる機能一覧

撮影モードによって設定が異なる機能のみ記載しています。

機能	撮影モード	M	Av	Tv	P	[スティッチアシスト]	AUTO	[動画：スタンダード]	[動画：1024]	[動画：コンパクト]	[動画：微速度]	[動画：A/S]
露出補正(p. 132)		－	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－
ISO 感度(p. 83)	オート	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	高感度オート	－	－	－	○	－	○	－	－	－	－	－
	ISO 80/100/200/400/800/1600	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－
ホワイトバランス(p. 135)	オート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ストロボ	○	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－
	太陽光/くもり/電球/蛍光灯/蛍光灯 H/水中/マニュアル1/マニュアル2	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	－
ドライブモード(p. 108、76)	1画像撮影	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	連続撮影	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－
	AF 連続撮影 2)	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－
	セルフタイマー2秒/10秒	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カスタムセルフタイマー	○	○	○	○	－	○	－	－	－	－	－
マイカラー(p. 138)		○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	－
ブラケット(p. 124)	AE	－	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－
	フォーカス	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－
ストロボ調光補正(p. 146)		－	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－
ストロボ発光量(内蔵)(p. 147)		○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－
ストロボ発光量(外部)(p. 240、241)		○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－
測光方式(p. 133)	評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中央部重点平均	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－
	スポット	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－
ND フィルター(入)(p. 129)		○	○	○	○	－	－	○	○	○	○	○
記録画素数･圧縮率選択(静止画)(p. 78)	L/M1/M2/M3/S/W	○	○	○	○	○3)	○	－	－	－	－	－
	RAW	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－
プログラムシフト(p. 126)		－	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－
AE/FE ロック(p. 125、127)		－	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－
AE ロック･露出シフト(p. 125、102)		－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	－
マクロ撮影(p. 75)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マニュアルフォーカス(p. 121)		○	○	○	○	－	－	○	○	○	○	○
AF フレームサイズ(p. 117)		○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－
ストロボ(p. 74)	オート	－	－	－	○	－	○	－	－	－	－	－
	常時発光	○	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－
	発光禁止	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	－
	外部	○	○	○	○	－	○	－	－	－	－	－
液晶モニターの表示状態(p. 55)	切	○	○	○	○	－	○	－	－	－	－	－
	情報表示なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	情報表示あり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

SCN															
													ISO 3200	A S	参照ページ
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	–	p. 132
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	○	p. 83
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–1)	–	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 135
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 108、76
○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	○	○	○	–	
○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	p. 138
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	p. 124
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	p. 146
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	p. 147
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	p. 240、241
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 133
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	p. 129
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–4)	○	p. 78
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	p. 126
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	p. 125、127
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	p. 125、102
○	–	–	○	–	○	○	○	○	○	–	○	○	○	○	p. 75
○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	–	○	○	○	○	p. 121
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	p. 117
○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	–	–	○	–	○	p. 74
○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	–	○	○	–	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	–	○	○	–	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	p. 55
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

機能		撮影モード	M	Av	Tv	P		AUTO	動画				
										1024			A S
AFフレーム (p. 113)	顔優先		○	○	○	○	–	○	–	–	–	–	–
	AiAF (9点)		○	○	○	○	–	○	○	○	○	○	○
	中央		○	○	○	○	○	○	–	–	–	–	–
	アクティブ		○[5]	○[5]	○[5]	○[5]	–	–	–	–	–	–	–
デジタルズーム (p. 70)	入		○	○	○	○	–	○	○	–	–	–	–
	デジタルテレコン		○	○	○	○	–	○	–	–	–	–	–
ストロボ制御	発光モード (p. 145)	オート	–	○	○	○	○	○	–	–	–	–	–
		マニュアル	○	○	○	–	–	–	–	–	–	–	–
	発光量(p. 147)		○	○	○	–	–	–	–	–	–	–	–
	調光補正(p. 146)		–	○	○	○	○	–	–	–	–	–	–
	シンクロ設定 (先幕/後幕)(p. 148)		○	○	○	○	–	–	–	–	–	–	–
	スローシンクロ(p. 111)		○[6]	○	○[6]	○	○	–	–	–	–	–	–
	セーフティFE(p. 149)		–	○	○	○	–	–	–	–	–	–	–
赤目緩和機能 (p. 110)			○	○	○	○	○	○	–	–	–	–	–
スポット測光枠 (p. 133)	中央固定		○	○	○	○	–	–	–	–	–	–	–
	AF枠連動		○	○	○	○	–	–	–	–	–	–	–
セーフティシフト(p. 93、95)			–	○	○	–	–	–	–	–	–	–	–
ISOブースター (p. 130)	ボタン/自動		–	○	–	○	–	○	–	–	–	–	–
	切		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MF拡大表示(p. 49)			○	○	○	○	–	–	–	–	–	–	–
セーフティMF(p. 122)			○	○	○	○	–	–	○	○	○	○	○
AFモード[7] (p. 112)	コンティニュアス		○	○	○	○	○	○	–	–	–	–	–
	シングル		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
AF補助光(p. 49)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
撮影の確認(レックレビュー)(p. 18)			○	○	○	○	○	○	–	–	–	–	–
レビュー情報 (p. 49)	通常		○	○	○	○	○	○	–	–	–	–	–
	詳細表示/ピント確認		○	○	○	○	–	○	–	–	–	–	–
自動カテゴリー(p. 49)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手ぶれ補正 (p. 81)	入		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	撮影時/流し撮り		○	○	○	○	○	○	–	–	–	–	–
カスタム登録 (登録先C1/C2) (p. 106)			○	○	○	○	–	–	–	–	–	–	–

○ :選択可、またはカメラが自動的に設定。ただし、では原則として1枚目のみ選択可
– :選択不可
:電源を切っても解除されません。

1) ISO 3200 固定
2) マニュアルフォーカス時、および打上げ花火は、LV 連続撮影になります。
3) ワイドは選択不可
4) 記録画素数は M3 に固定
5) 液晶モニター非表示時には［中央］に設定変更されます。
6) 常時入
7) AiAF 選択時はシングルに固定

SCN															
													ISO 3200		参照ページ
○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	p. 113
○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	p. 70
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	
○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	－	－	p. 145
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 147
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 146
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 148
－	○[6]	－	○[6]	－	－	○[6]	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 111
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 149
○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	－	○	p. 110
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 133
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 93、95
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 130
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	p. 49
○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	p. 122
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	p. 112
○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	p. 49
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 18
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 49
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 49
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 81
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 106

Canon

キヤノン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90005

受付時間：平日 9:00〜20:00
土・日・祝日 10:00〜17:00
(1月1日〜1月3日は休ませていただきます)

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノンデジタルカメラ製品情報
http://canon.jp/dc

キヤノンサポートページ
http://canon.jp/support

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

Li-ion

CDI-J323-XXX　XXXXNiXX　